太陽電池モジュール
太陽電池パワーコンディショナ
蓄電池本体／蓄電池モジュール
蓄電池パワーコンディショナ
エ コ キ ュ ー ト
マルチエネルギーモニタ JH-RWL6

住宅用太陽光発電システム
定置型リチウムイオン蓄電池システム
エコキュート

取 扱 説 明 書

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書および別冊の「取扱説明書 追補版（仕様）」「使いかたガイド」は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保管してください。

もくじ

はじめに

各部の名前とはたらき

太陽光発電・蓄電池システムを使う

お知らせアイコンが表示されたら？

エコキュートを使う

省エネで経済的にエコキュートを使いたい!

発電などの実績・履歴を見る

節約できた 電気代を知りたい！

各種の設定をする

目標を立てて 省エネしたい！

Web モニタリングサービスを使う

便利に使える サービスが知りたい！

このようなときは

太陽光発電システム・蓄電池システム

停電時に電気を使いたい！

こんな表示は故障かな？

エコキュート

こんな表示は故障かな？

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、アース工事実施の必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、やけど注意を表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

記号は、分解禁止を表しています。

太陽電池モジュール、太陽電池パワーコンディショナ、蓄電池パワーコンディショナ、蓄電池本体、蓄電池モジュール、マルチエネルギーモニタなどの取扱いについて

（以降、蓄電池本体と蓄電池モジュールを合わせて、蓄電池と表します。太陽電池パワーコンディショナと蓄電池パワーコンディショナを合わせて意味する場合は、パワーコンディショナと表します。）

⚠ 警告

異常状態のまま放置しない。

以下の場合には、ただちにパワーコンディショナの運転を緊急停止（☞ 137 ページ）して、お買い上げの販売店、または修理相談センターにご連絡ください。

- パワーコンディショナから煙が出たり、変な音やにおいがするなどした場合
- 太陽電池モジュールが飛来物などで破損や落下した場合
- 設置場所または隣接する建物で火災や浸水が発生した場合

なお、停止した後、パワーコンディショナ、蓄電池、太陽電池モジュールなどにはさわらないでください。感電・けがの恐れがあります。

自立運転用コンセントまたは専用コンセントに以下の製品をつながない。

- 人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
- 灯油やガスを用いた暖房機器
- デスクトップパソコン等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジ等の調理器具

自立運転用コンセント（☞ 141 ページ）は太陽光発電の電力を使用しますので、天候により供給できる電力が変動します。太陽光発電の発電量が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費量より小さいときは電力の供給を停止します。専用コンセント（☞ 139、140 ページ）は蓄電池からも電力を供給しますが、蓄電池残量がなくなると、電力の供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある上記の機器はご使用にならないでください。

自立運転出力を商用電力線につながない。

自立運転用コンセントや専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで接続しないでください。予期せぬ感電・発火・発煙の恐れがあります。

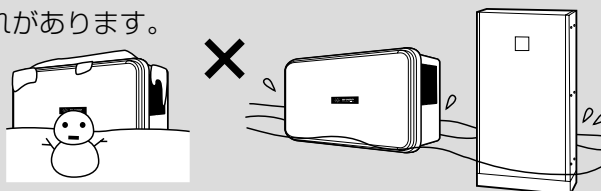
⚠ 警告

自立運転用コンセントには、自立運転時以外は電気機器を接続しない。

熱を発生する電気機器等のスイッチが ON の状態で接続されている場合、発火の恐れがあります。

積雪、浸水のおそれのある場所にパワーコンディショナ、蓄電池を設置しない。

万一、浸水した場合はただちにパワーコンディショナの専用ブレーカーを切り、お買い上げの販売店、または修理相談センターにご連絡ください。

発火・感電・けがの恐れがあります。

太陽電池モジュールの設置後、設置屋根の軒下に、落雪によって被害を受けるものを置かない。

太陽電池モジュールの表面は、滑らかなガラスで覆われており、一般の屋根材（瓦等）と比較すると積もった雪が滑り落ちやすい状態になっています。このため、気象条件によっては屋根の上から勢いよく落雪したり、予想以上に遠くに落雪したりする場合があります。物損の恐れがあります。また、けがの恐れがあるため通行時の落雪にご注意ください。

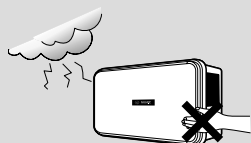
パワーコンディショナの正面・底面・側面のパネルを開けない。
パワーコンディショナ、マルチエネルギーモニタ、売買センサー、ケーブルの分解、改造、加工や、ご自身での修理をしない。

感電・けがの恐れがあります。

蓄電池の正面・側面のパネルを開けない。
蓄電池の分解､改造､加工や､ご自身での修理をしない。

感電･けが･電解液の漏液のおそれがあります。

雷が鳴り出したらパワーコンディショナ、蓄電池、ケーブルに触れない。

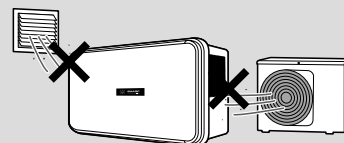
感電の恐れがあります。

太陽電池パワーコンディショナは、住宅用太陽光発電用以外には使用しない。

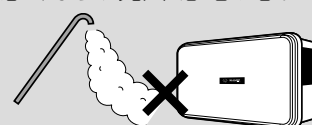
安全が保証できなくなり危険です。

蓄電池パワーコンディショナ、蓄電池は、蓄電池システム以外には使用しない。

安全が保証できなくなり危険です。

パワーコンディショナ､蓄電池付近に湯気､水蒸気、冷気、油煙、腐食性ガスを出す機器を置かない。

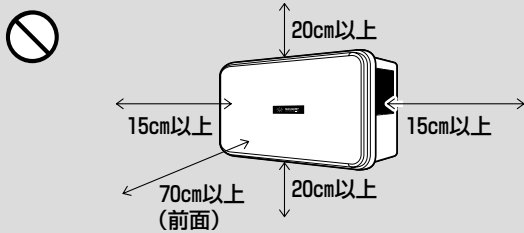
絶縁が悪くなり､発火･感電の恐れがあります。

太陽電池モジュール､パワーコンディショナ､蓄電池付近で薬剤散布をしない。

絶縁が悪くなり､発火･感電の恐れがあります。

太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、蓄電池に接続されているアース線は外さない。

発火・感電・けが・故障の恐れがあります。

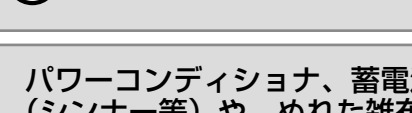
⚠注意

パワーコンディショナの周辺（上下20cm以内、左右15cm以内）に物を置かない。通気口をふさがない。

内部の放熱が不十分となり、発煙・発火の恐れがあります。また、点検時の作業のため、前面70cm以内に物を置かない。

パワーコンディショナが運転中、または運転停止後しばらくは、パワーコンディショナに触れない。

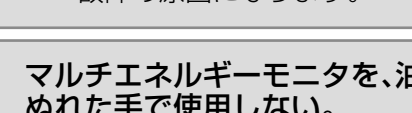
パワーコンディショナが高温になり、けがの恐れがあります。

パワーコンディショナ、蓄電池に火気を近づけない。

石油ストーブ等に排気の風があたると、炎が大きくなり危険です。

パワーコンディショナ、蓄電池を薬品（シンナー等）や、ぬれた雑布で拭かない。

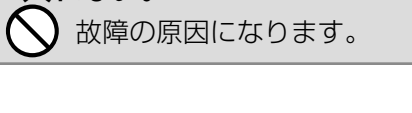
内部に水が入り、感電・漏電・焼損する恐れがあります。

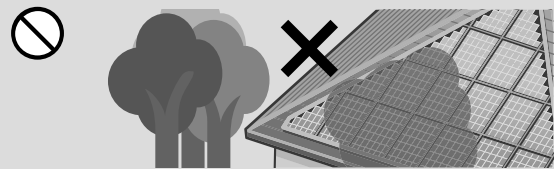
パワーコンディショナ、蓄電池を塗装しない。

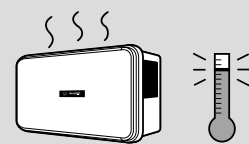
日射によりケース内温度が異常に上昇し故障の原因になります。

マルチエネルギーモニタを、油のついた手、ぬれた手で使用しない。

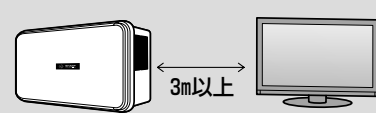
火災・感電・故障の原因となります。

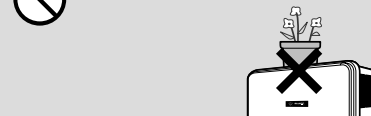
パワーコンディショナ、蓄電池の中に物を入れない。

故障の原因になります。

アンテナや木など太陽電池モジュールに影がかかるような状態にしない。

発電量低下の原因になります。

パワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタは、高温になる場所または、閉め切った狭い場所で使用するような状態にしない。

発電量低下・充放電の停止の可能性があるとともに、部品が劣化して発煙・焼損する恐れがあります。

ラジオ、テレビなど、電波を利用する機器はパワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタから3m以上離す。

機器への受信障害の原因になります。

パワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタの上に乗ったり、ぶらさがったり、物を置いたりしない。

落下・転倒・けがの恐れがあります。

マルチエネルギーモニタをアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤で拭かない。
マルチエネルギーモニタ付近で、エアゾール製品（消臭剤、ヘアスプレーなど）を使用しない。

変色・変形・変質や故障の原因になります。

太陽電池モジュールのケーブルを引張ったり、曲げたり等、ケーブルにダメージを与えない。

断線や漏電の恐れがあります。

⚠注意

太陽電池モジュールに物を接触させない。（布団をかけるなど）

発電量の低下や故障（発熱）の原因となります。可燃物の場合には焼損の原因となります。

太陽電池モジュールのガラス面に乗らない。雪かきをしない。

故障の原因になります。また、ガラスが割れて、感電・漏電・けがの恐れがあります。

次の場所では無線 LAN を利用しないでください。

- **医療機関（病院など）の中**
- **医療用電気機器の近く**
- **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器（火災報知器など）の近く**

電子機器が誤作動するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器、その他の医療用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器、その他の医療用電気機器をご使用される方は、当該の各医療用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

付属の microSD メモリーカードは乳幼児の手の届かない場所に保管する。

誤って飲み込んだり、けがの原因になることがあります。

※ microSD メモリーカードは蓄電池システムご購入時に付属されます。

蓄電池を次のような場所には設置しない。

- 海岸線から 500m 以内、または潮風の影響を受ける地域の屋外
- 標高 1,000m を超える場所
- 振動、衝撃を受ける場所

故障の原因になることがあります。

太陽電池モジュールのガラス面に物を投げたり、落としたりしない。

ガラスが割れたり、故障の原因になります。

パワーコンディショナのお手入れの際は、パワーコンディショナの運転を停止する。

感電の恐れがあります。またパワーコンディショナの運転停止後しばらくは、パワーコンディショナが高温になり、けがの恐れがあります。

起動中や動作中に、手や導電性異物（金属など）をマルチエネルギーモニタのディスプレイに接触させたままにしない。

ディスプレイの誤作動の原因となります。

マルチエネルギーモニタのディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先のとがったもので操作しない。

ディスプレイが破損する原因となります。

マルチエネルギーモニタのディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけない

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

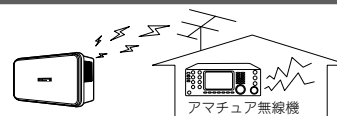
爪先でマルチエネルギーモニタのディスプレイの操作をしない

爪が割れたり、突き指などけがの原因となることがあります。

心臓の弱い方は、音量の設定に注意する。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

⚠ 注意

アマチュア無線のアンテナをパワーコンディショナの近くに設置すると、パワーコンディショナや配線から漏れる電気的雑音がアマチュア無線に受信障害を与える場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

長く上手にご使用いただく為に、定期点検されることをおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。

台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかサービス会社またはお買い上げの販売店にご相談ください。

エラーや誤操作によってパワーコンディショナが停止することがあります。定期的にマルチエネルギーモニタにエラー表示が出ていないかを確認することをおすすめします。

無線 LAN を利用する場合、下記の条件では、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがありますのでご注意ください。
・コンクリート、鉄筋、金属が使われている構造物での利用
・障害物の近くへの設置
・同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉がある場合
・電子レンジなどの機器からの磁場、静電気、電波障害が発生するところでの利用

当社の電力見える化システムは、ECHONET Lite 対応です。
他社製 ECHONET Lite 対応蓄電池システムの操作については、ご使用になる蓄電池システムの取扱説明書に従ってください。
他社製蓄電池システムの動作について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠
蓄電池システムはリチウムイオン電池を使用しております。
資源の有効活用のため、リチウムイオン電池は、リサイクルにご協力をお願いします。
リチウムイオン電池のリサイクル、その他蓄電池システム機器の取りはずしの際には、お買い上げの販売店、またはお客様相談センター (☞ 181 ページ) にお問い合わせください。

⚠ 付属のmicroSDメモリーカードご使用上のご注意

microSD メモリーカードは、蓄電池システムご購入時に付属されます。(☞ 15 ページ)
・microSD メモリーカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。故障の原因になります。
・端子はいつもきれいな状態でご使用ください。
・端子を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
・microSD メモリーカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になります。
・microSD メモリーカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因になります。
・microSD メモリーカードにラベルやシールを貼った状態で、使用しないでください。故障の原因になります。

エコキュートの取扱いについて

エコキュートの据付時・移設時・修理時のご注意

⚠ 警告

据え付けは販売店または工事店に依頼する。

ご自分で据付工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。

ヒートポンプユニットは屋内に設置しない。

万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。

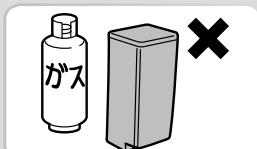
可燃性ガスや引火物の近くに設置しない。

発火や火災になることがあります。

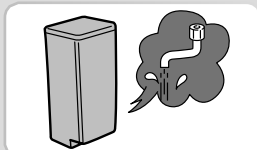
アース工事を確認する。

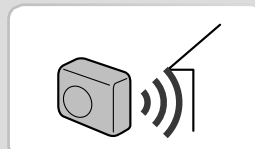
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。工事に不備があると、故障や漏電のとき感電の原因になります。

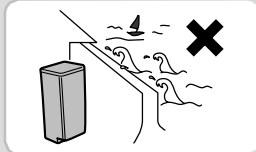
ご自分での修理・改造や再設置をしない。

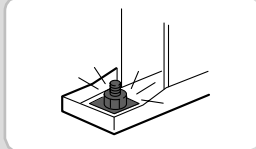
感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

⚠ 注意

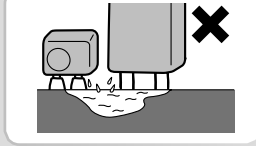
水道水を使用する。（温泉水・井戸水は使用不可）

水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。また、水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれていたり、酸性水質の地域ではエコキュートの使用を避けてください。
水経路の詰まり、腐食等により不具合となる場合があります。

設置は隣家に配慮した場所を選ぶ。

運転音や振動が伝わりにくい場所、隣家の迷惑にならない場所をお選びください。

塩害のおそれのある海岸付近や腐食性ガス発生のおそれのある温泉地等には設置しない。

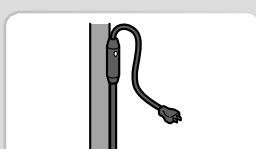
機器故障の原因になります。

貯湯ユニット脚部がアンカーボルトおよび角ワッシャーで固定されているか確認する。

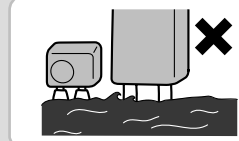
370Lタイプの場合、すべての脚が角ワッシャーを併用してアンカーボルトで固定されていることと、後脚が脚部前方の穴で固定されていることを確認してください。
460Lタイプの場合、すべての脚が脚部前方の穴で角ワッシャーを併用して、アンカーボルトで固定されていることを確認してください。

床面が防水・排水処理されているか確認する。

水漏れが起きたとき、大きな被害の原因になります。

キッチンの換気扇の近くには設置しない。

油煙の付着や排気により、性能低下や機器故障の原因になります。

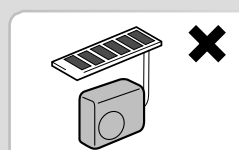
配管の凍結防止対策を確認する。

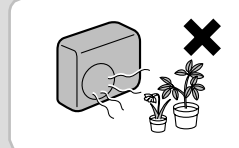
凍結すると機器が破損したり配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

浸水するところには設置しない。

浸水すると漏電や感電することがあります。

積雪地域ではヒートポンプ防雪カバー、屋根などの防雪対策をする。

機器に積雪すると誤作動や故障の原因になります。
吹雪でヒートポンプユニットに雪が付着するような場所に設置しないでください。

太陽熱温水器には接続しない。

機器故障の原因や異常運転によりやけどをすることがあります。

動植物に直接風が当たる場所に設置しない。

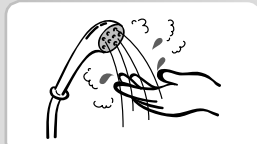
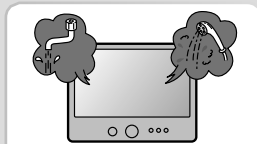
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

シャワー水栓は必ずサーモスタット付き湯水混合栓を使用する。

サーモスタット付き湯水混合栓を使用しないと、やけどの原因になります。

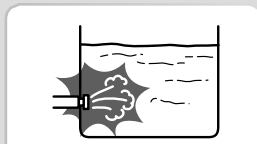
エコキュートの使用時のご注意

⚠ 警告

入浴するときやシャワー使用時は、湯温を確認する。
お湯を使う前には、湯温を確認する。

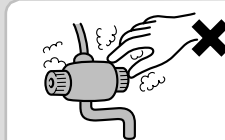
やけどをすることがあります。

給湯温度を変更するときは、他の湯水混合栓の使用状況を確認する。

やけどをすることがあります。

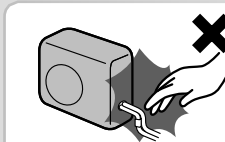
自動保温中、追いだきおよび高温さし湯のときに、ふろ循環口から熱いお湯が出るので、入浴するときはふろ循環口から離れる。
おふろにお湯がない場合は、追いだきスイッチを押さない。

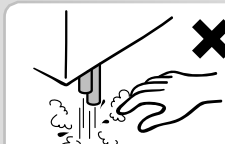
やけどをすることがあります。

ふろ循環口のカバーをはずしたまま使用しない。
子供の入浴に注意する。

ふろ循環口付近で、もぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。思わぬ事故の原因になります。

給湯時は湯水混合栓本体に手を触れない。

やけどをすることがあります。

ヒートポンプ配管および接続口には手を触れない。

やけどをすることがあります。

排水時および取水時にはお湯や排水ホースに手を触れない。
貯湯ユニットの内部配管および凍結防止ヒーターには手を触れない。

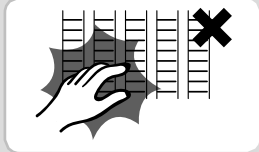
やけどをすることがあります。

逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。

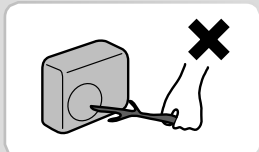
やけどをすることがあります。

近くに可燃性ガスや引火物を置かない。

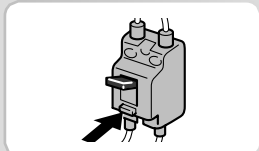
発火や火災になることがあります。

ヒートポンプユニットの熱交換器のフィンには触らない。

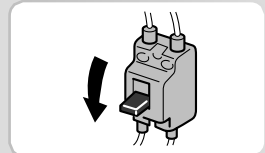
フィンでけがをすることがあります。

ヒートポンプユニットの空気吸込口・吹出口に棒や手を入れない。

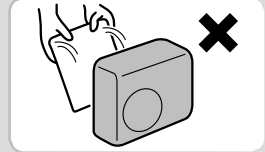
内部でファンが回転していますので、けがをすることがあります。

漏電ブレーカーのテストボタンを押して、動作を確認する。

故障のまま使用すると、感電することがあります。

漏電ブレーカーを操作するときは、ぬれた手でおこなわない。

感電することがあります。

異常時は漏電ブレーカーの電源レバーを下げて電源を切る。

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

取りはずす指定のないカバーは取りはずさない。

高温部によるやけどや感電することがあります。

ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの上に乗ったり、ぶらさがったり、物を置いたり、配管に力を加えない。

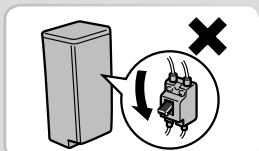
機器が転倒したり、配管が破損して、死亡または重傷事故（大けが・大やけど等）に至ることがあります。特に小さなお子様には注意してください。

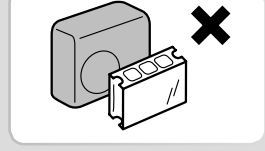
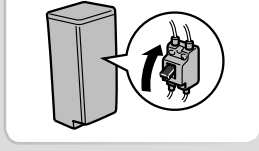
⚠注意

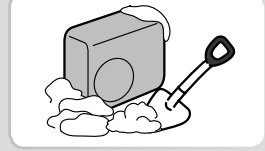
電源を「OFF」にしない。

冬期は凍結して機器が破損することがあります。電源を「OFF」にする場合は、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。

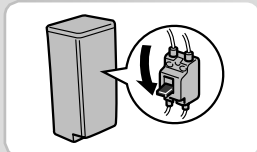
貯湯ユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる。

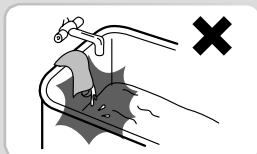
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない。

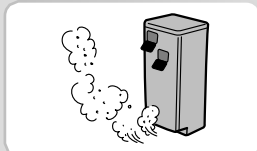
通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。

積雪時には除雪をする。

ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

旅行などの不在で使用しない場合は、1～15日間の沸きあげを休止できます。

16日間以上使用しないときは、漏電ブレーカーの電源レバーを下げて電源を切ってから、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をする。

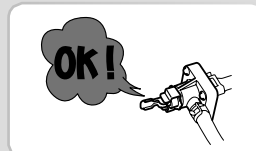
排水をしないと、水質が劣化することがあります。また冬期は凍結して機器が破損することがあります。

ふろ循環口はふさがない。

ふさぐと誤作動や故障の原因になります。

貯湯ユニットの操作カバーは閉じる。

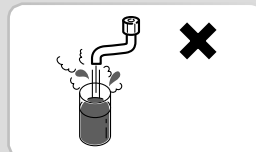
開けたままにしておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない。

貯湯ユニットや配管が故障し、水漏れすることがあります。
入浴剤や洗剤を使用するときは、その注意書きにしたがってください。

逃し弁の点検をする。

正しく作動しないと、貯湯ユニットや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

そのまま飲用に用いない。

長期間のご使用により、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化により、水質が変わることがあります。飲用される場合は次の点に注意し、必ず一度やかんなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色・にごり・悪臭などがあった場合は、飲用には使用せずに、直ちに修理相談センターへご連絡ください。

製品と取扱説明書について

・本マルチエネルギーモニタでは、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店またはもよりの修理相談センター (☞ 181 ページ) まで、ご連絡ください。
・お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・マルチエネルギーモニタのディスプレイは抵抗膜方式のタッチパネルを採用しているため、ディスプレイを同時に 2 箇所以上タップすると正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
・マルチエネルギーモニタのディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・本マルチエネルギーモニタは、Wind River Linux OS を搭載しております。Wind River Linux OS は、Wind River 社が開発した商品です。
・本マルチエネルギーモニタは、ECHONETLite 規格に準拠した製品として認証を取得しています。

FONT LC® 本マルチエネルギーモニタでは、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計した LC フォントが搭載されています。ただし、一部 LC フォントでないものも使用しています。

■ 取扱説明書について

・各システムには○印の取扱説明書、保証書などが付属します。

	住宅用太陽光発電システム	定置型リチウムイオン蓄電池システム	エコキュート
取扱説明書	○	○	○
取扱説明書 追補版（仕様）	○	○	○
使いかたガイド	○	○	○
電波干渉に関するご注意	○	○	○
マルチエネルギーモニタ保証書	○	○	○
太陽光発電システム保証書	○		
蓄電池パワーコンディショナ保証書		○	
定置型リチウムイオン蓄電池システム保証書		○	
microSD メモリーカード（保証対象外）		○	
補足説明書		○	
エコキュート保証書			○
設置工事説明書（エコキュート）			○
設置工事説明書（浴室リモコン）			○

・太陽光発電システム、蓄電池システム、エコキュートは日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書などはございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
・microSD メモリーカードの説明は、補足説明書をご覧ください。
・エコキュートには、機種によって取扱説明書（追補版）が同梱されていることがあります。本書とあわせてご確認ください。
・本書の記載内容、各種サービスなどの内容は、制作時点のものです。改良のため予告なく変更することがあります。
・本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
・本取扱説明書に記載されているイラストや画面例は説明用のものであり、実物とは異なることがあります。

■ システム構成

各システムは、以下の機器で構成されます。
マルチエネルギーモニタは、以下の 3 つのシステムで共用できます。

● 太陽光発電システム

・太陽電池モジュール
・太陽電池パワーコンディショナ
・マルチエネルギーモニタ
・売買センサー
・接続用ケーブル類など

● 蓄電池システム

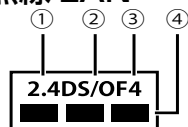
・蓄電池
・蓄電池パワーコンディショナ
・マルチエネルギーモニタ
・売買センサー
・RPR センサー
・接続用ケーブル類など
（売買センサーは太陽光発電システムと共用できます。）

● エコキュート

・貯湯ユニット
・ヒートポンプユニット
・マルチエネルギーモニタ
・浴室リモコン
・増設リモコン（別売部品）

■ 電波法に基づく適合証明について

・マルチエネルギーモニタは、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、日本国内のみ使用できます。
・技術基準適合証明を受けていますので、分解／改造をすると法律で罰せられることがあります。
・マルチエネルギーモニタが使用する周波数帯は、2.4GHz 帯です。
・マルチエネルギーモニタには、本体にも使用する周波数帯が記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

無線 LAN

①「2.4」	：使用する周波数帯域を表します。（2.4GHz 帯）
②「DS/OF」	：変調方式を表します。（OFDM 方式 /DS-SS 方式）
③「4」	：想定される与干渉距離（約 40m）
④「■■■」	：2.4GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能である　ことを表します。

■ 電波干渉に関するご注意

2.4GHz 機器使用上の注意事項

2.4GHz 使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにご使用中のルーターより使用チャンネルを変更するか、この機器の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
3. その他、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 電波障害に関するご注意

マルチエネルギーモニタは、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが､この装置がラジオやテレビに近接して使用されると､受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。
そのようなときには、次の点にご注意ください。
・ラジオ、テレビをマルチエネルギーモニタから十分に離してください。
・ラジオ、テレビをマルチエネルギーモニタとは別のコンセントに接続してください。
・使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

■ 登録商標、商標

・LC フォント /LCFONT 及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
・AOSS は株式会社バッファローの商標です。
・らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
・Wi-Fi Protected Setup　(WPS) は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
・JpGraph は Aditus Consulting 社の登録商標です。日本では、アシアル株式会社のもとに販売しています。
・Wind River は、Wind River Systems Inc. の登録商標または商標です。
・「ECHONETLite」はエコーネットコンソーシアムの商標です。
・その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

特長

この製品は太陽光発電システム、蓄電池システム、エコキュートを組み合わせて使用できるシステムです。

太陽光発電と組み合わせて、エネルギーを賢く使えます。

電力をつくる

太陽光発電システム

太陽光エネルギーから効率よく電気をつくり、各システムとの連携が可能です。
発電した電力で、使用する電力をまかなうとともに、余った電力は売電できます。

＋

電力を蓄える

蓄電池システム

停電時に備えて電力を蓄えます。
平常時は夜間の割安な電力を蓄え、発電量の少ない時間帯に使用することができます。

お湯をつくる

エコキュート

空気の熱を利用して、お湯をつくります。
夜間の割安な電力でつくったお湯を昼間に使用することができます。

太陽電池パワーコンディショナ
太陽電池モジュールが発電した電力（直流）を、ご家庭で使える電力（交流）に変換します。
また、発電システム全体の運転を管理します。

太陽電池モジュール
太陽光を受けて発電します。

屋内分電盤
発電した電力をご家庭の各コンセントに分配します。

マルチエネルギーモニタ
表示ディスプレイを兼ねた操作パネルです。

浴室リモコン
表示ディスプレイを兼ねた操作パネルです。

電力量計
売電用と買電用の２種類があり、電力会社に売った余剰電力と、電力会社から買った電力を計量します。

売買センサー
マルチエネルギーモニタに表示する売電量／買電量を計量します。

エコキュート
大気から熱を吸収し、その熱でお湯を沸かすヒートポンプ式の給湯機です。

蓄電池パワーコンディショナ
蓄電池の充放電を管理します。蓄電池に蓄えた電力（直流）をご家庭で使える電力（交流）に変換します。

蓄電池
リチウムイオン蓄電池に電力を蓄えて使用します。

※イラストは設置の一例です。

太陽光発電システム、蓄電池システム、エコキュートを組み合わせることで、太陽光発電、蓄電池システム、エコキュートをより便利に、より楽しく活用することができます。

太陽光発電システム、蓄電池システム、エコキュートのリモコン機能を搭載

マルチエネルギーモニタ 1 台で、太陽光発電システム、蓄電池システム、エコキュートも操作することができます。

停電時に大活躍

太陽光発電と蓄電池を組み合わせると、長時間の停電時にも、電気製品を使いながら、蓄電池に充電することができます。

しっかり省エネをお手伝いする、おすすめ機能

ご家庭のお湯の使用状況に合わせて、エコキュートの運転モードをアドバイスしたり、昼間の沸きあげを抑制する「サマーモード」をおすすめしたりします。

「ソーラー発電アシスト」で、発電を有効活用

太陽光発電とエコキュートを組み合わせると、エコキュートの沸きあげを、発電が開始する前に完了します。日の出の早い季節でも、ソーラーの発電実績に合わせて調整するので、早朝に発電した電力を有効に使うことができます。

Web モニタリングサービス（☞ 112 ～ 134 ページ）

ご家庭とモニタリングセンターの間で自動通信をおこない、定期的なシステムチェックや、ネットワークを利用したサービスが受けられる「Web モニタリングサービス」をご提供しています。
サービスをご利用いただくと、パソコンや「AQUOS.jp」対応テレビの画面で詳細な履歴を見る、携帯電話で外出先から発電量をチェックする、お好きな画像をマルチエネルギーモニタの待ち受け画像にするなど、この製品の楽しみかたが広がります。万一の故障などにも、すばやい対応が受けられます。
ご利用には、別途サービス加入のお申し込みが必要です。
なお、蓄電池・蓄電池パワーコンディショナ・周辺機器、エコキュートは、Web モニタリングサービスの対象外です。

メモ

- 蓄電池システムをご使用になる場合には、売買センサーが必要です。
- 電力量計は有効期限があり、定期的に交換が必要です。お住まいの地域によっては売電電力量計の交換費用がお客様負担の場合があります。交換に関しては、電気工事店または電力会社にお問い合わせください。電力量計と売買センサーの計量値は、製品ごとに計測精度が違うため、表示が異なる場合があります。
- 太陽電池モジュール、太陽電池パワーコンディショナ、マルチエネルギーモニタ、ケーブル等の周辺機器を同じ製品でシステム構成した場合でも、設置条件、各機器の個体差により若干発電量がばらつきます。そのため総発電量にも若干の差が出ることをあらかじめご了承ください。
- 太陽電池モジュールが薄膜太陽電池モジュールのとき、出荷直後は最大出力が公称値より 20%程度大きくなります。約 1 ヶ月ほどで公称値へ収束します。
- 当社の電力見える化システムに接続できます。

各部の名前とはたらき

マルチエネルギーモニタ

マルチエネルギーモニタは、表示ディスプレイとパワーコンディショナのコントローラを兼ねています。発電履歴の閲覧、各種の設定などのおもな操作は、マルチエネルギーモニタでおこないます。

◆ 前　面

リセットボタン
マルチエネルギーモニタの再起動をします。

ディスプレイ（タッチパネル）
（☞ 28 ～ 29 ページ）
運転状態、発電状態、貯湯量、給湯温度などを表示するとともに、画面をタップすることで操作ができます。

運転切換ボタン
パワーコンディショナの連系運転 / 自立運転、運転 / 停止の操作をおこないます。

実績 / ふろ自動ボタン
エコキュートが接続されていない場合、今日の実績（☞ 78 ページ）を表示します。
エコキュートが接続されている場合、ふろ自動運転（あらかじめ設定している温度、湯量で湯張り）をおこないます（☞ 47 ～ 50 ページ）。

実績 / ふろ自動ボタンの LED	運転状態
青色点灯	ふろ自動運転中
消灯	上記以外の状態

ホームボタン
設定したソーラーまたはエコキュートのトップ画面（☞ 28、36 ページ）に戻ります。

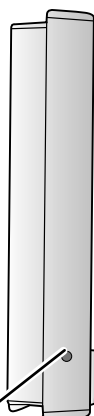
ホームボタン周辺部の LED	運転状態
青色点灯	売電中 / 自立運転中
橙色点灯	買電中
橙色点滅	パワーコンディショナの点検
消灯	上記以外の状態

ホームボタン周辺部の LED は太陽電池パワーコンディショナの運転状態を表示します。蓄電池パワーコンディショナのみが接続されている場合は消灯します。ただし、自立運転中は青色点灯し、点検時には橙色点滅します。

運転状態表示ランプ
パワーコンディショナの運転状態を表示します。

運転状態表示ランプ	太陽電池パワーコンディショナ運転状態	蓄電池パワーコンディショナ運転状態
青緑色点灯	連系運転中	連系運転中 （充電中、放電中）
青緑色点滅	連系準備中 連系手動停止中	連系運転中 （待機中）
赤色点灯	自立運転中	
赤色点滅	自立運転準備中、自立手動停止中、点検	
消灯	自動停止中	連系準備中 連系手動停止中

左側から 1 台目、2 台目、3 台目のパワーコンディショナの状態を表示しています。表示パターンは各ランプ共通です。

◆ 左側面

リセットボタン

マルチエネルギーモニタの再起動をします。
※リセットによる再起動中は通話機能が使用できなくなりますが、ソーラーとエコキュートの他の機能は継続されます。

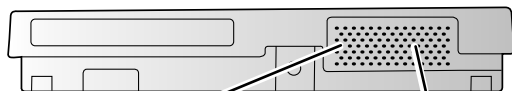
◆ 右側面

運転切換ボタン（☞ 137、142 ページ）

パワーコンディショナ運転状態（運転 / 停止）、運転モード（連系運転 / 自立運転）の切り替えをおこないます。

[運転切換ボタンロック機能]

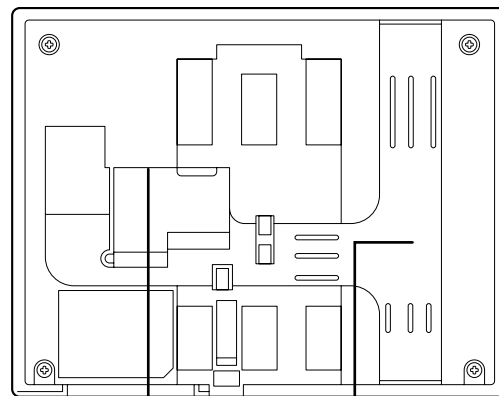
このボタンを 5 秒以上長押しすると、運転切換ボタンはロック状態となります。運転切換ボタンのロック状態を解除するためには、このボタンを 5 秒以上長押しすると、解除されます。運転切換ボタンがロック状態でも、他の操作は可能です。

◆ 底面

マイク

通話中、浴室リモコンにこちらの声を伝えます。

スピーカー

操作音などが聞こえます。

◆ 背面

LAN コネクタ

Web モニタリングサービスをご利用になるときに、LAN ケーブルを接続します。無線 LAN でネットワークに接続する場合は、LAN ケーブルは必要ありません（☞ 114 ページ）。

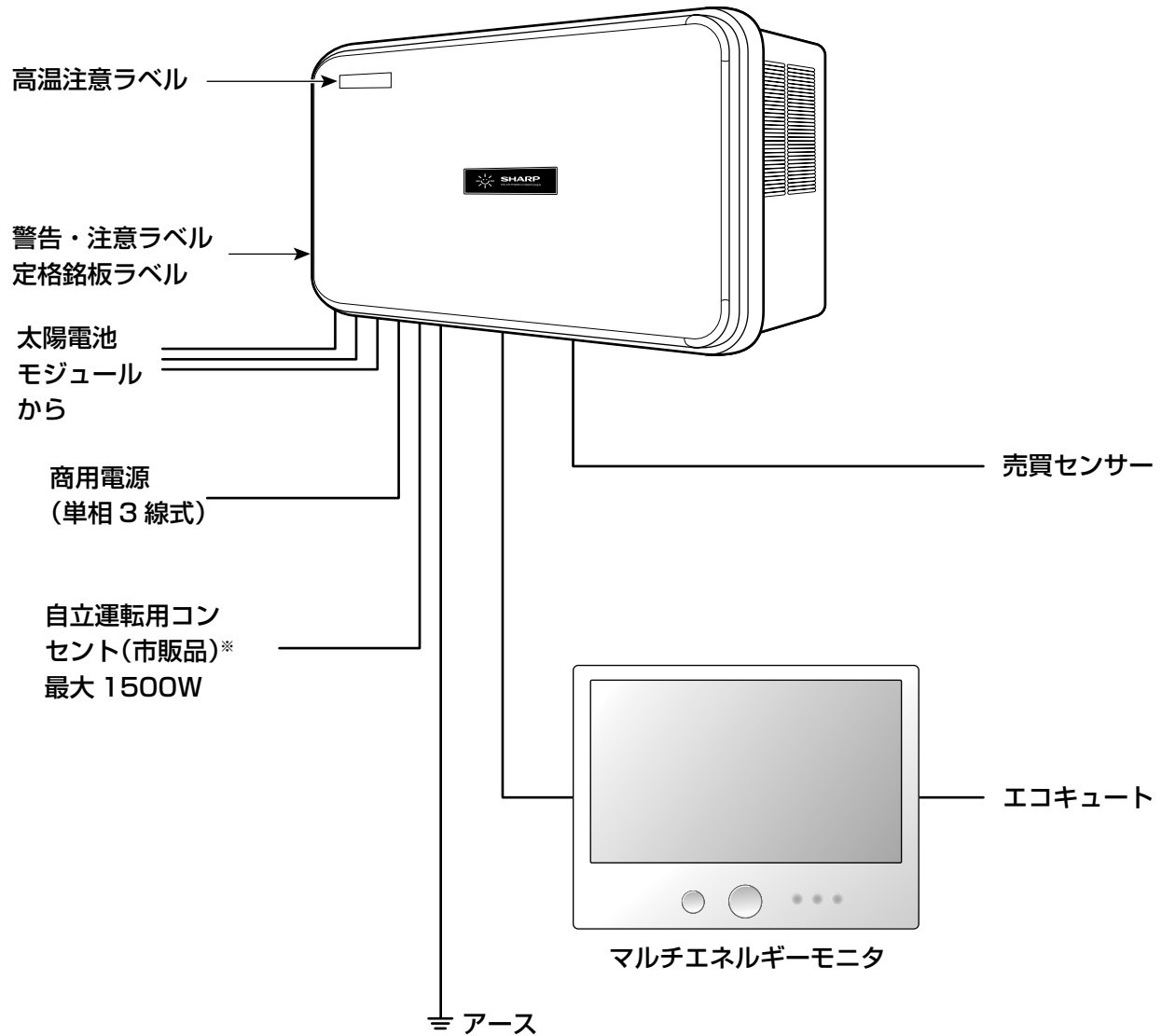
配線用溝

パワーコンディショナおよびエコキュートとの通信ケーブルを通す溝です。また、Web モニタリングサービス用の LAN ケーブル（☞ 114 ページ）もここに通します。

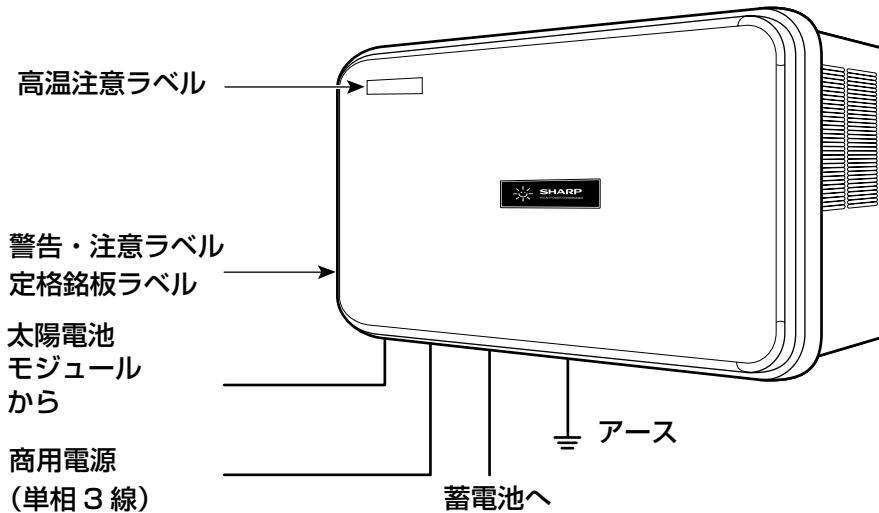
お願い

- マルチエネルギーモニタは水のかからない所に取り付け、水をかけないでください。
  また、油などついた汚れた手、水で濡れた手でさわらないでください。
  防水タイプではありませんので、故障の原因になります。
- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先のとがったもので操作しないでください。
  タッチパネルが破損する原因となります。

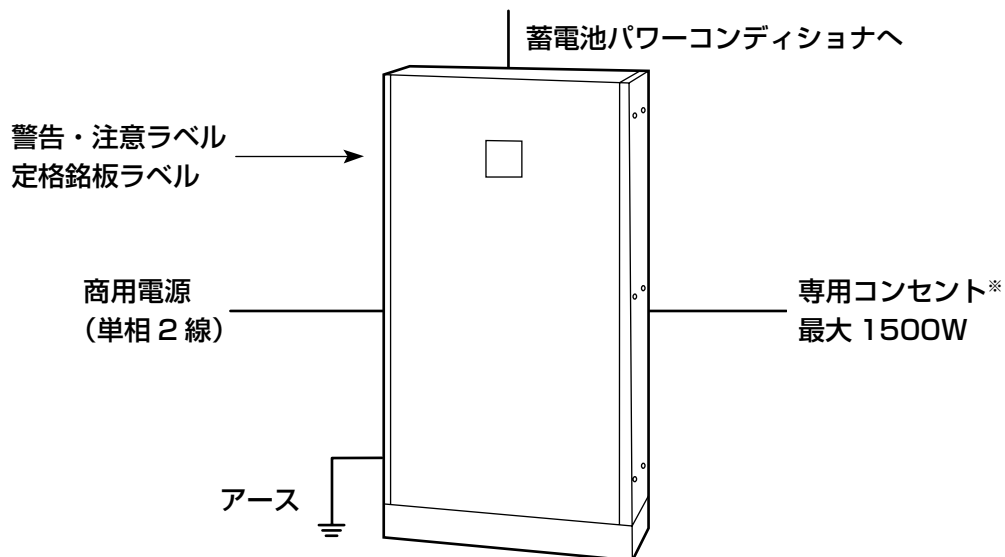
■ 太陽電池パワーコンディショナ

太陽電池パワーコンディショナは、太陽電池モジュールで発電された直流の電力を、ご家庭で使える交流に変換します。

※図は一例です。
※太陽電池パワーコンディショナが設置されていて蓄電池パワーコンディショナが設置されていない場合、または、すべての太陽電池モジュールが蓄電池システムと連携せずに、直接太陽電池パワーコンディショナに接続されている場合には、自立運転用コンセントを設置することができます。

蓄電池パワーコンディショナ

蓄電池パワーコンディショナは、蓄電池の充放電を管理します。蓄電池に蓄えた直流の電力を、ご家庭で使える交流に変換します。

※図は一例です。マルチエネルギーモニタは蓄電池パワーコンディショナに接続する場合もあります。

蓄電池

蓄電池に内蔵のリチウムイオン蓄電池に電力を蓄えて使用します。

※専用コンセントは平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により、蓄電池に蓄えた電力が供給されます。
※図は一例です。

浴室リモコン

浴室リモコンは、浴室に設置し、エコキュートに関する表示とおふろの操作などができます。

表示部（☞38ページ）
一定時間スイッチ操作や給湯しないときは、自動的に消灯します（スイッチ操作や給湯をすると、再び表示します）。初期設定では、1分で消灯します。（☞107ページ）

通話スイッチ／ランプ（☞58ページ）
マルチエネルギーモニタと通話ができます。

浴室優先スイッチ（☞43ページ）
「浴室優先」にすると浴室リモコンで給湯温度を設定できます。

スピーカー

表示消灯ランプ
表示部が消灯中に点灯します。

メニュー／決定スイッチ（☞61ページ）
メニューの設定や情報を見ることができます。
1. **ふろ温度の設定**（☞51ページ）
   おふろの湯張り温度を設定します。
2. **ふろ湯量の設定**（☞52ページ）
   おふろの量を設定します。
3. **保温時間の設定**
   ふろ自動運転の保温時間を設定します。
4. **シャワー可能時間**
   シャワーが使える時間の目安を表示します。

▼／▲スイッチ
給湯温度を変更します。（「浴室優先」点灯時）（☞43ページ）
ふろ温度を変更します。（「浴室優先」消灯時）（☞51ページ）
選んだ設定の内容を変更します。

ふろ自動スイッチ／ランプ（☞47〜50ページ）
おふろにお湯をはり、完了後は保温とたし湯を自動でおこないます。

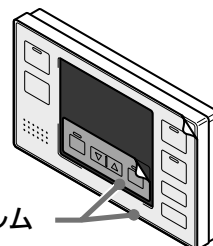
追いだきスイッチ／ランプ（☞53〜54ページ）
おふろのお湯をあつくします。

たし湯スイッチ（☞56ページ）
おふろにお湯をたします。

マイク

さし水スイッチ（ふろ配管洗浄）（☞55ページ）
おふろのお湯をぬるくします。スイッチを3秒以上長押しすると、ふろ配管に水（お湯）を流してふろ配管を洗浄します。（☞157ページ）

タンク湯増しスイッチ／ランプ（☞44ページ）
貯湯ユニット内のお湯を湯増しします。

おしらせ
- **リモコンには保護フィルムが貼ってあります。ご使用の際ははがしてください。**

保護フィルム

お願い
●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
故障の原因になります。

増設リモコン（別売部品）

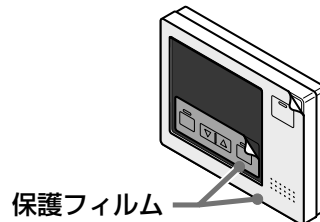
増設リモコンは、エコキュートに関する表示と操作ができます。

メニュー／決定スイッチ（☞ 72ページ）
メニューの設定や情報を見ることができます。

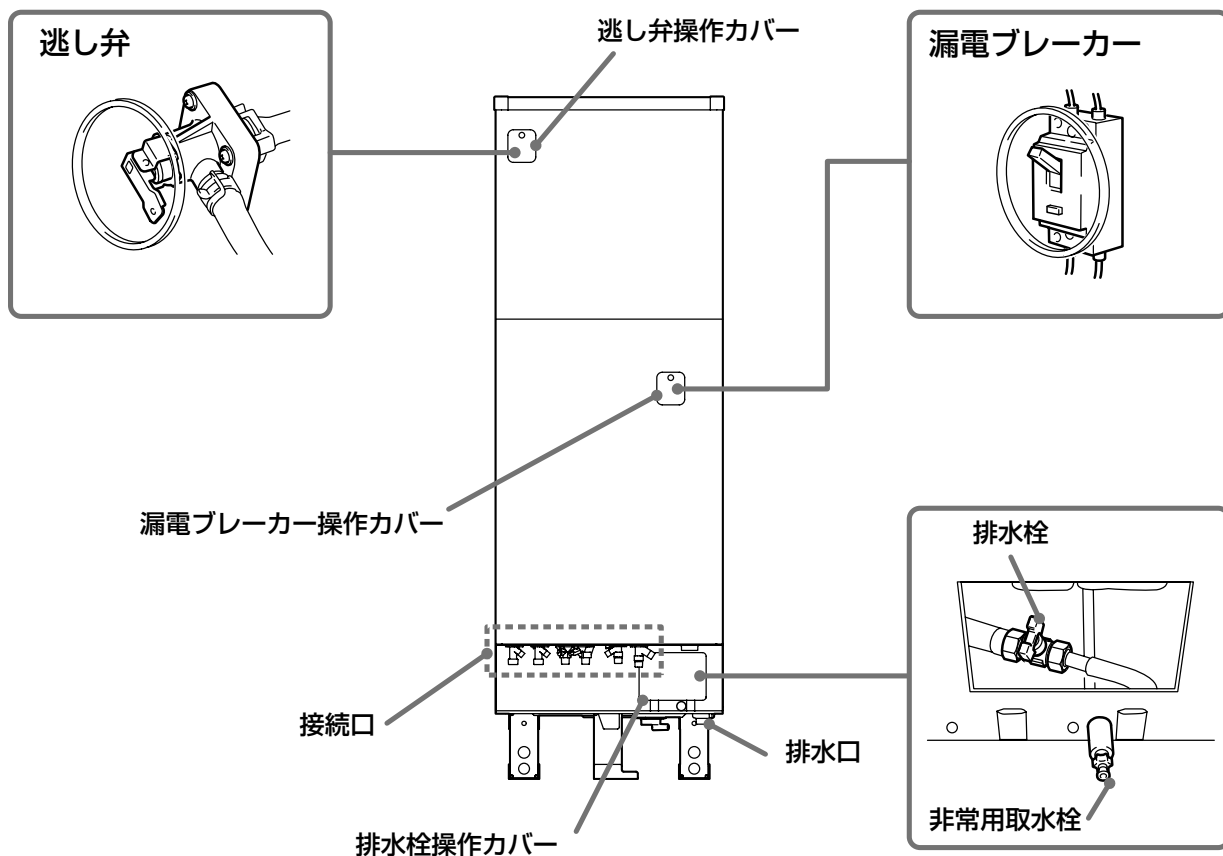
1. **運転モードの変更**
   「運転モード」を決定した後、「ふろ保温」の種類の選択と「ふろ保温時間」を設定します。
2. **ナビモード**
   「使用可能湯量」
   「1週間使用量」
   「保温残り時間」
   「サービス店 TEL」の情報を表示します。
3. **ふろ予約の設定**
   入浴できる時刻を設定します。

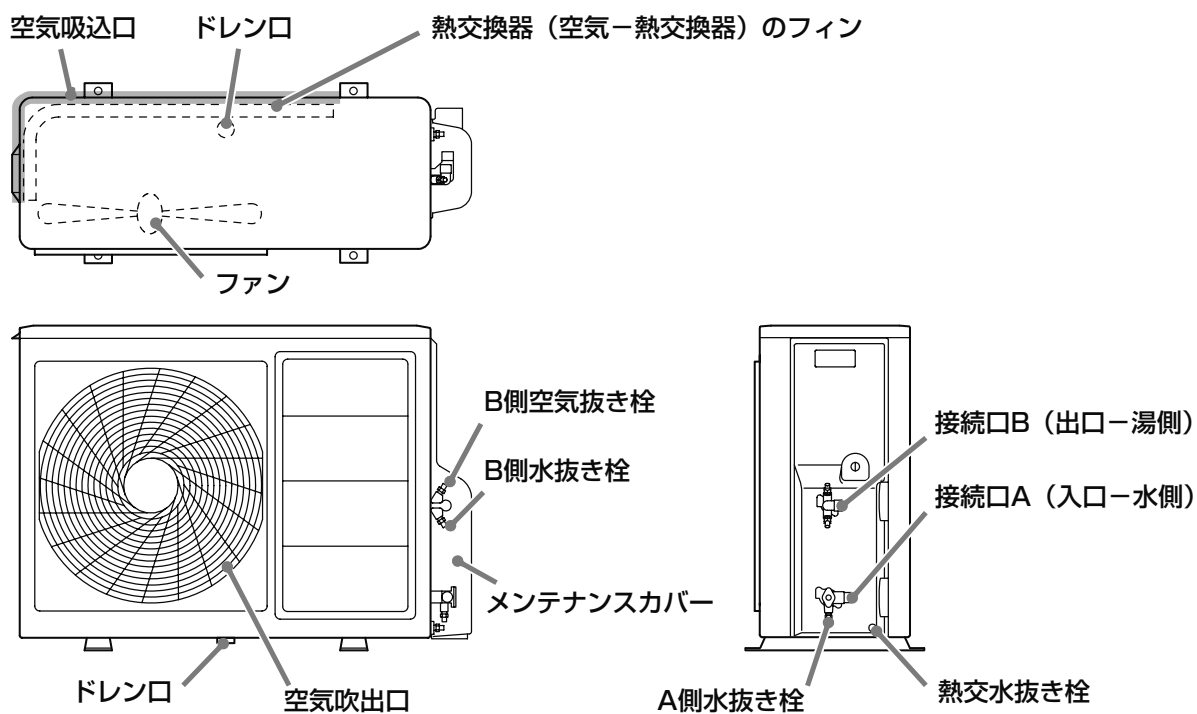
メニュー／決定スイッチ　3秒以上長押し
オプション設定の選択ができます。（☞ 73～76ページ）

おしらせ

- **リモコンには保護フィルムが貼ってあります。ご使用の際ははがしてください。**

お願い

●増設リモコンは水のかからない所に取り付け、水をかけないでください。
　また、油などついた汚れた手、水で濡れた手でさわらないでください。
　防水タイプではありませんので、故障の原因になります。

貯湯ユニット

※図は一例です。機種により、形状が異なることがあります。

ヒートポンプユニット

※図は一例です。機種により、形状が異なることがあります。

太陽光発電・蓄電池システムを使う

運転時に表示されるソーラートップ画面の見かたと、おもな操作について説明します。

ソーラートップ画面の見かた / 操作のしかた

ソーラートップ画面には現在の発電電力、電力会社へ売っている余剰電力、蓄電池の残量、充放電状態などが表示され、システムの状態がひと目で確認できます。
○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。

タブ（ソーラー、エコキュート、設定、履歴）
タブをタップすると、選択された画面のトップ画面へ移行します（☞ 35、77、91 ページ）。
※エコキュートを接続していない場合は、エコキュートタブは非表示となります。

抑制状態アイコン
パワーコンディショナの出力抑制状態を、「電圧」、「温度」、「温度範囲外」で表示します（☞ 143、144 ページ）。

モニタリング通信アイコン（☞ 121 ページ）
Web モニタリングサービスが利用可能になると点灯します。

運転状態（☞ 30 ページ）
太陽電池パワーコンディショナ、蓄電池パワーコンディショナをそれぞれ 1 台のみ接続している場合、各運転状態を表示します。各パワーコンディショナが複数台のときは非表示となります。

外部発電（☞ 97 ページ）
外部発電機を使用しているときに、その発電電力を表示します。外部発電機とは、この製品と合わせて使用できる燃料電池やガス発電機などです。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

停電時には（☞ 138 ページ）
タップすると、停電時の操作方法を表示します。
※パワーコンディショナを接続していない場合は、非表示となります。

おすすめ（☞ 32 ページ）
エコキュートの運転モードをおすすめしたり、昼間の節電のために自動沸きあげを抑制する設定をおすすめしたりします。おすすめがある場合は、おしらせアイコンを表示します。
※エコキュートを接続していない場合は非表示となります。

実績（☞ 78 ページ）
発電量と消費量の今日の実績グラフを表示します。
※エコキュートを接続していない場合は、非表示となります。

おしらせ（☞ 33、34 ページ）
発電量ベスト 5 記録や運用開始記念日などのおしらせを確認できます。新しいおしらせがある場合は、おしらせアイコンを表示します。

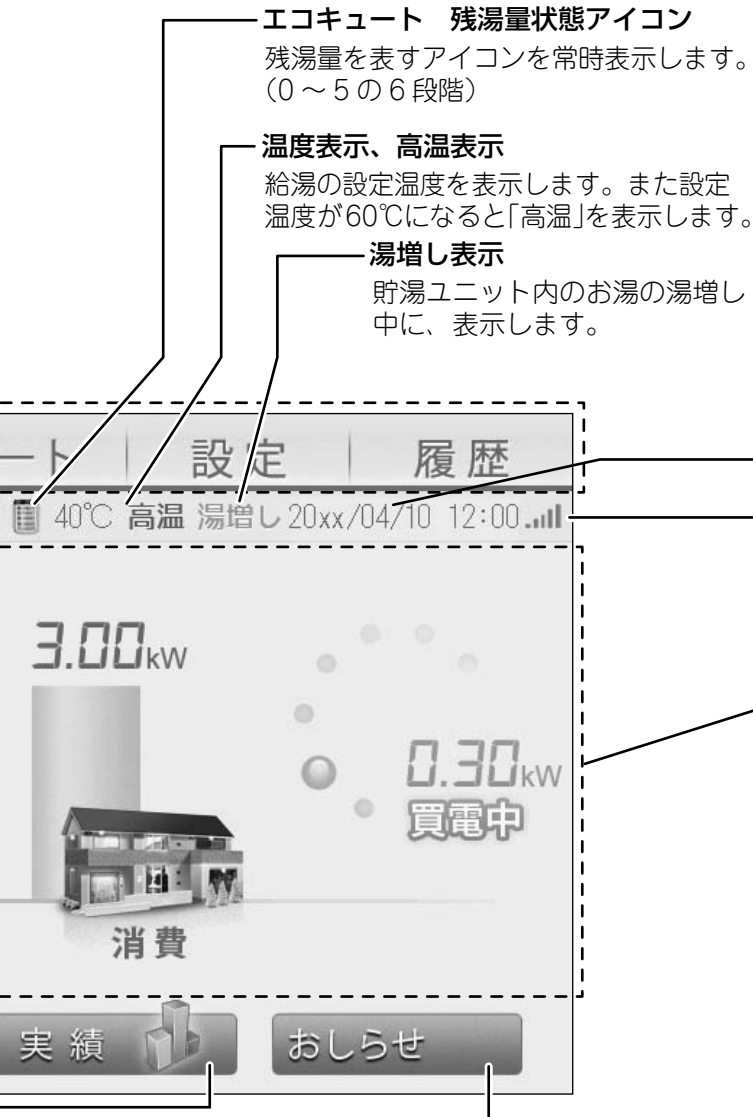
ソーラー　エコキュ
連系運転中　連系運転中
1.70kW　0.60kW
発電　放電中
外部発電 0.40kW　経済性モード（自動）
停電時には　おすすめ

メモ

- 売電力 / 買電力および消費電力の表示には、売買センサーが必要です（☞ 17 ページ）。
- この製品は計量法の対象製品ではありません。発電電力、消費電力、売電力／買電力などの各電力値は目安であり、電力量計や電力会社からの請求書の値とは異なることがあります。
- 現在日時の表示と実際の日時が異なるときは、正しい日時に設定してください（☞ 92 ページ）。
- 「設定」からトータル表示（外部発電を含む）を選択すると、外部発電電力を発電電力に加えることが可能です。その場合、外部発電電力は、トップ画面から表示が消えます（☞ 97 ページ）。
- ディスプレイが消えているときは、ディスプレイに触れると、ソーラーのトップ画面を表示できます。
- ご家庭の負荷の状況により、放電量が 0kW になる場合があります。
- 「タップ」とは、画面を軽く押して、すぐに指を離す操作のことです。

エコキュート　残湯量状態アイコン
残湯量を表すアイコンを常時表示します。（0～5の6段階）

温度表示、高温表示
給湯の設定温度を表示します。また設定温度が60℃になると「高温」を表示します。

湯増し表示
貯湯ユニット内のお湯の湯増し中に、表示します。

現在日時（☞92ページ）
現在の日付と時刻を表示します。

電波強度アイコン
電波強度は5段階で表示します。表示は目安です。
※無線の設定がおこなわれていない場合、または、有線接続の場合は非表示となります（☞115ページ）。

ート｜設定｜履歴
40℃ 高温 湯増し 20xx/04/10 12:00
3.00kW
0.30kW
買電中
消費
実績　おしらせ

発電
現在発電している電力を表示します。ただし、蓄電池システムが自立運転中は発電量は0kWになります。

充電中 / 放電中 / 待機中 / 停止中
蓄電池の状態とその時の充放電電力を表示します。蓄電池の残量はアイコンで5段階表示します。自立運転中は、蓄電池運転モード（☞31ページ）は非表示となります。

消費
現在ご家庭で消費している電力を表示します。売買センサーを取り付けていない場合は、非表示となります。

売電中 / 買電中（☞30ページ）
電力会社に売っている余剰電力、または電力会社から買っている不足電力を表示します。
状態によって下記のように表示が変わります。売買電力が0のときは、「買電中」と表示され0kWになります。売買センサーを取り付けていない場合は非表示になります。

電力を売っているとき	電力を買っているとき

■トップ画面の表示例

上記は、太陽光発電システム、外部発電機、蓄電池システム、エコキュートが接続されている場合の例です。利用しているシステムだけが表示されるため、設置環境によって下記のように表示が変わります。
蓄電池システムのみの場合は、ソーラータブは蓄電池タブに変わります。

太陽光発電のみ

エコキュートのみ

蓄電池のみ

※蓄電池が2台ある場合

太陽光発電と蓄電池

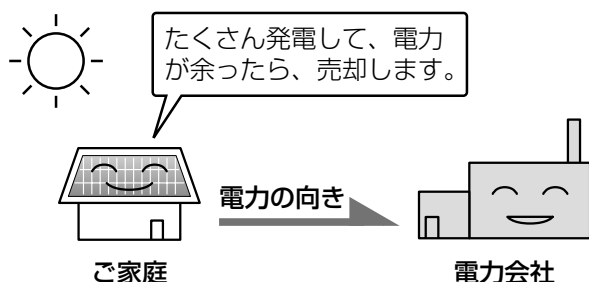
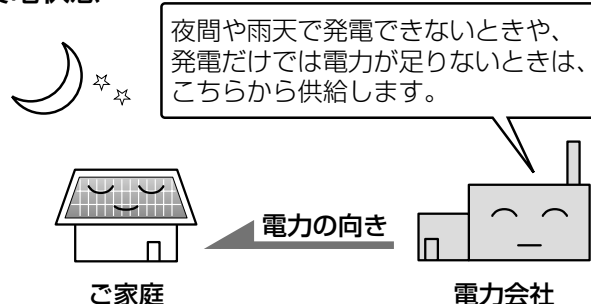
太陽光発電とエコキュート

蓄電池とエコキュート

■電力と電力量

電力とは、ある瞬間の電流の力です。単位は「kW」です。
電力量とは、ある時間内の電力の合計値です。単位は「kWh」です。
例として、2kWの電力を3時間使い続けると、消費された電力量は6kWhになります。

売電（売り電力）と買電（買い電力）について

発電電力が多く、使用している電力を上回っているときは、余った電力を電力会社に売ります。この状態を売電状態と呼びます。逆に、発電電力が少なかったり、夜間や雨天などで発電していなかったりすると、電力会社から不足している電力の供給を受けます。電力を電力会社から購入しているため、この状態を買電状態と呼びます。
※売電状態では、蓄電池からの放電はおこないません。蓄電池パワーコンディショナは待機状態となります。

運転状態表示について

太陽電池パワーコンディショナ、蓄電池パワーコンディショナをそれぞれ 1 台のみ接続されている場合、太陽電池パワーコンディショナ、蓄電池パワーコンディショナの運転状態は、画面の上部に、以下のように表示します。

運転モード	太陽電池パワーコンディショナ	蓄電池パワーコンディショナ
連系		
連系運転中	日中、太陽光発電がおこなわれている状態です。	商用電源と連系して蓄電池の充放電がおこなわれている状態、または、待機中の状態です。
連系準備中	運転の開始または停止を準備している状態です。	運転の開始または停止を準備している状態です。
連系手動停止中	連系運転を手動で停止した状態です。	連系運転を手動で停止した状態です。
自立		
自立運転中	太陽光発電で発電した電力を、自立運転用のコンセントにのみ供給している状態です。(*1)	蓄電池に貯めた電力を専用コンセントにのみ供給している状態です。
自立準備中	自立運転の開始または停止を準備している状態です。(*1)	自立運転の開始または停止を準備している状態です。
自立手動停止中	自立運転を手動で停止した状態です。(*1)	自立運転を手動で停止した状態です。
その他の状態		
自動停止中	夜間など、日照がなく発電を停止している状態です。	マルチエネルギーモニタとの通信に障害がある場合に表示される状態です。
点検	太陽電池パワーコンディショナに異常を検出し、エラーコードが出ているときに表示される状態です（☞ 150 ～ 154 ページ）。	蓄電池パワーコンディショナに異常を検出し、エラーコードが出ているときに表示される状態です（☞ 150 ～ 154 ページ）。

*1 太陽電池パワーコンディショナのみご使用の場合に設定できます。

メモ

- 停電時などの非常時は、「自立運転」に切り替えることができます（☞ 138 ～ 142 ページ）。自立運転では、自立運転用コンセントまたは専用コンセントのみに電力が供給されます。停電時にその他のコンセントは使用できません。
- 手動で停止しなくても、「連系手動停止中」や「自立手動停止中」と表示される場合があります。

■ 蓄電池運転モードと充電 / 放電について

連系運転状態では、蓄電池の充電 / 放電は蓄電池運転モードにより、下のように制御されます。
また、蓄電池残量が、蓄電池キープ残量（☞ 106 ページ）以下になると、放電は停止します。
蓄電池キープ残量を 0%に設定していても、蓄電池残量が 0%になる前に放電を停止する場合があります。
蓄電池運転モードによらず、充電時に蓄電池残量が 100%近くになると、自動で充電量の減少・充電停止をおこない蓄電池を保護します。充電⇔待機を繰り返すことがありますが、蓄電池の自動調整動作であり故障ではありません。

●経済性モード（自動）
夜間時間帯（☞ 104 ページ）に充電をおこない、夜間時間帯以外の時間帯の買電中に放電をおこないます。

●経済性モード（時刻指定）
夜間時間帯外で放電開始時刻を設定します。夜間時間帯に充電をおこない、設定した放電開始時刻以降の買電中に放電をおこないます。

●クリーンモード
売電中に太陽光発電の余剰電力で充電をおこない、買電中に放電をおこないます。電力会社からの電力では充電をおこないません。

●充電モード
蓄電池への充電を優先的におこないます。蓄電池残量が少ない場合や、非常時に備えて、蓄電池残量を増やす場合に使用します。充電完了後、待機状態となり、24 時間経過すると、経済性モード（自動）に移行します。

●ECHONET Lite(※ 1) 機器専用モード
ECHONETLite 対応機器から充電・放電の制御を受け付けることができます。操作方法については、対応機器の取扱説明書をご覧ください。当社製電力見える化システムで、制御することもできます。

なお、売電中または買電量が少ない (0.1kW 未満）場合には、放電はおこないません。
本システムは商用電源と連系しているため、蓄電池からの電力供給においては各電力会社が個別に設ける運用規定に準じております。
そのため、家電製品のご使用状況 (※ 2) によっては蓄電池から家電製品への供給電力が減少し、買電量が増加する場合があります。
長期間不在が続く場合は、経済性モード（自動）に切り替えておいてください。

蓄電池運転モードが経済性モード（自動）、経済性モード（時刻指定）の場合、蓄電池の夜間時間帯（※ 3）の充電電力と、エコキュートの深夜時間帯（※ 4）の沸きあげによる消費電力の合計が、契約電力を超えないようにするため、蓄電池の充電電力を抑制する場合があります。
蓄電池の充電を十分おこなうためには、充電開始時刻（夜間時間帯の開始時刻）を、電力会社との契約内容に合わせてください（☞ 104 ページ）。

※ 1 「ECHONET Lite」は、スマートハウスを構築するために、
HEMS(Home Energy Management System) と家電機器、太陽光発電システムなどの機器間の情報のやりとりを規定した通信規格です。

※ 2 単相 3 線の各線（U 相 /W 相）に接続されている家電製品の消費電力に差がある場合、
消費電力が小さい側の相の合計消費電力が小さいほど買電量が増加します。
各線（U 相 /W 相）の配線状態は、家屋の設計・施工業者（住宅メーカーなど）にご確認ください。

※ 3 蓄電池の設定では電力会社との契約で夜間の安い電力時間帯を夜間時間帯と表記します（☞ 104 ページ）。

※ 4 エコキュートの設定では電力会社との契約で夜間の安い電力時間帯を深夜時間帯と表記します（☞ 109 ～ 110 ページ）。

■蓄電池の状態について

蓄電池の状態は充電中、放電中、待機中、停止中で表示します。

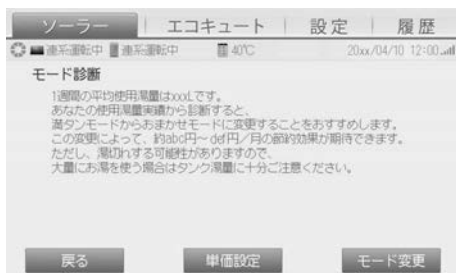
充電中：電力会社からの電力または太陽光発電の余剰電力を蓄電池に蓄えています。
放電中：蓄電池に蓄えた電力を交流に変換して家庭内に供給しています。
待機中：充電も放電もおこなっていない状態です。
停止中：エラーが発生し、停止している状態です。

おすすめについて

ソーラートップ画面のおすすめボタンに [i] がある場合には、お客様へのおすすめがあります。お客様の使用湯量実績、季節変化から、お客様に合った節約効果が期待できるエコキュートの運転モードをおすすめしたり、昼間の節電のために自動沸きあげを抑制する設定（サマーモード）をおすすめしたりします。
詳細はおすすめボタンをタップすると表示されます。なお、大量にお湯を使う場合には、サマーモードに設定すると、湯切れの可能性がありますので、十分ご注意ください。

1 おすすめ をタップする

「モード診断」、「サマーモード」の選択画面に移動します。

2 [i] のついているおすすめ内容をタップする

「モード診断」の場合、1 週間の平均使用湯量から省エネルギーにつながるモード変更をおすすめします。

- モード変更 ：エコキュートの運転モードを変更できます（☞ 63 ページ）。
- 戻る ：おすすめ画面に戻ります。

表示されるボタンは、設定状態によって変わります。

「サマーモード」の場合、最近の発電状況および、売電量を表示します。使用湯量実績からサマーモードの設定または解除をおすすめします。

- 設定する または 設定しない ：
  サマーモードの設定、解除を変更できます。
- 戻る ：おすすめ画面に戻ります。

表示されるボタンは、設定状態によって変わります。

- ●料金換算の設定（☞ 98 ページ）を詳細設定に設定している場合、もしくは未設定の場合、「モード診断」で、モード変更による節約の目安金額を表示するには、夜間時間電力単価の設定が必要になります。
- ●料金換算の設定（☞ 98 ページ）を詳細設定に設定している場合、もしくは未設定の場合、「サマーモード」で、前日の目安売電金額を表示するには、売電電力単価設定が必要になります。
- ●表示される金額は、設定された電気料金換算値にもとづいて計算するため、実際の電気料金とは異なる場合があります。
- ●「サマーモード」は深夜時間帯以外でエコキュート自動沸きあげを抑制する設定です。

おしらせの内容を見る

最大発電量の記録が更新されるなど、新しいお知らせがあると、おしらせアイコンがトップ画面に表示されます。
以下の操作でおしらせの内容を確認できます。が表示されている項目のすべての画面を表示するとアイコンは消えますが、おしらせの内容を再確認するときも操作は同じです。

1 トップ画面で [おしらせ] をタップする

おしらせ画面が表示されます。

2 見たいおしらせを選ぶ

確認していないおしらせには が表示されます。

- 戻る ：
  ソーラーのトップ画面に戻ります。

※モニタリング会員未登録で、エコキュートを接続していない場合は、「モニタリングセンターからのおしらせ」は表示されません。

おしらせの内容が表示されます。各おしらせの内容は、下表の参照先をご覧ください。

項目	内容とアイコン表示の条件	参照先
発電量 ベスト 5	発電量のベスト 5 を確認できます。 発電量の最大値が更新されるとアイコンを表示します。	☞ 33 ページ
運用開始 記念日	運用開始日から経過した年数と、積算発電量を確認できます。 運用開始日から 1 年経過するごとにアイコンを表示します。	☞ 34 ページ
モニタリング センター	モニタリングセンターからおしらせを受信するとアイコンを表示します。 この項目は Web モニタリングサービス（☞ 112 ～ 134 ページ）をご利用の場合、またはエコキュートを接続している場合に表示されます。	☞ 34 ページ

発電量ベスト5

発電量ベスト 5 画面では、1 日の発電量の大きいものから上位 5 番目までを確認できます。
記録を達成した日付と、達成した値を表示します。未読の最新のデータには が表示されます。

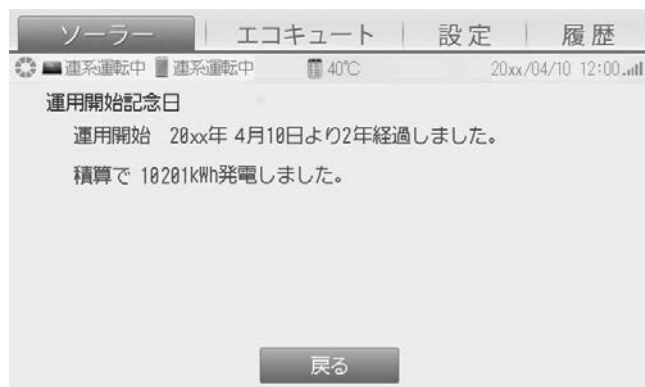
- 戻る ：
  おしらせ画面に戻ります。

- すべて 今年 今月 ：
  ボタン名に対応した期間のベスト 5 記録を表示します。

メモ

●太陽電池パワーコンディショナを複数台設置している場合、発電量は総発電量で記録されます。

運用開始記念日

運用開始日から 1 年経過するごとに更新され、経過した年数と積算発電量を確認できます。

- 戻る：
  おしらせ画面に戻ります。

●運用開始日は変更することもできます（☞ 94 ページ）。

モニタリングセンターからのおしらせ

モニタリングセンターからのおしらせを確認できます。また、エコキュートを接続している場合は、定期メンテナンスのおしらせも確認できます。
おしらせを受信した日時と、受信したおしらせの件名が表示されるので、見たいおしらせをタップして、おしらせの内容を確認します。
この項目は、Web モニタリングサービスをご利用の場合、またはエコキュートを接続している場合に表示されます。

- 戻る：
  おしらせ画面に戻ります。
-

  ：
  1 画面に 6 件ずつ表示されます。
  ボタンを押すと、前の 6 件、次の 6 件に移行します。

- 戻る：
  モニタリングセンターからのおしらせ画面に戻ります。

エコキュートを使う

エコキュートトップ画面の操作のしかた

表示部（☞37ページ）
一定時間スイッチ操作や給湯しないときは、自動的に消灯します。（スイッチ操作や給湯をすると、再び表示します。）初期設定では、1分で消灯します。（☞93ページ）

設定タブ（☞91～110ページ）
エコキュート長期停止設定、エコキュート休止設定、エコキュート自動消灯設定をします。

SHARP
ソーラー | エコキュート | 設定 | 履歴
売電中 1.60 kW 20xx/04/10 12:00
タンク状況 おまかせ省エネ 給湯 40℃
タンク湯増し 今日の湯増し休止 ▼ ▲ メニュー 通話
JH-RWL6
SUNVISTA 実績/ふろ自動 ホーム 運転切換 ▶

タンク湯増しスイッチ（☞44ページ）
貯湯ユニット内のお湯を湯増しします。

通話スイッチ（☞58ページ）
浴室リモコンと通話ができます。

今日の湯増し休止スイッチ（☞46ページ）
今日の昼間の湯増し運転を休止します。

ホームボタン
ホーム画面に戻ります。
5秒以上の長押しでショートカット画面へ移動し電力サービス設定（☞109ページ）、ヒートポンプエア抜き運転、水抜き制御（☞165ページ）ができます。

実績/ふろ自動ボタン（☞47～50ページ）
あらかじめ設定している温度、湯量で湯張りをします。
※エコキュートが接続されていない場合は、今日の発電実績（☞78ページ）が表示されます。

▼／▲スイッチ（☞42ページ）
給湯温度を変更します。選んだ設定の内容を変更します。

メニュー／決定スイッチ
メニューの設定や情報を見ることができます。（☞61ページ）

3秒以上長押し
オプション設定の選択ができます。（☞68～71ページ）

1. **運転モードの変更（☞62ページ）**
   「運転モード」を決定した後、「ふろ保温」の種類の選択と「ふろ保温時間」を設定します。
2. **ナビモード（☞64ページ）**
   「使用可能湯量」
   「1週間使用量」
   「保温残り時間」
   「サービス店 TEL」の情報を表示します。
3. **ふろ予約の設定（☞66ページ）**
   入浴できる時刻を設定します。

お願い

- マルチエネルギーモニタ・増設リモコンは水のかからない所に取り付け、水をかけないでください。
  防水タイプではありませんので、故障の原因になります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
  故障の原因になります。

エコキュートトップ画面の詳細説明

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。

ソーラー売買電力表示
（☞ 30ページ）
ソーラーの売電/買電の状態とその電力を表示します。

運転モード表示
（☞ 62ページ）
エコキュートの運転モードを表示します。
「おまかせ」、
「おまかせ省エネ」、
「使いきり」、
「満タン」の4通り

湯増し表示（☞44ページ）
ヒートポンプユニットの沸きあげ運転中に表示します。

タンクアイコン
（☞57ページ）
貯湯ユニット内のお湯の量を表示します。

浴室優先表示（☞42ページ）
浴室リモコンに給湯温度変更の優先権がある場合に表示します。

給湯温度表示
（☞42ページ）
給湯の設定温度を表示します。

サマーモードアイコン（☞ 32ページ）
サマーモード設定時に表示します。

現在日時

電波強度アイコン
電界強度を5段階表示します。
有線接続時には非表示となります。

ふろ予約表示
（☞66〜67ページ）
ふろ予約時に表示します。

ふろ状態表示
ふろ保温中は「保温」、湯張り中には「湯張り」、追いだき中は「追いだき」を点灯表示します。

ふろ温度表示

ふろアイコン
ふろ予約中、湯張り、追いだき、保温時に表示します。

高温表示（☞42ページ）
設定温度が60℃になると表示します。

貯湯量表示（約50℃以上のお湯の量）		（点滅）					
貯湯量（目安）	370L タイプ	30L未満	30L以上	80L以上	130L以上	180L以上	230L以上
	460L タイプ			110L以上	170L以上	230L以上	290L以上

※貯湯量（目安）は一例です。

メモ

● タンクアイコンをタップすると、タンク内の残り湯を
　・シャワー ○○分
　・浴槽 ○○杯分
　で表示します。（☞ 65 ページ）
● 湯張り中にふろアイコンをタップすると湯張り完了までの時間の目安を表示します（☞ 48 ページ）。
　・設置直後はマイコン学習期間（約 1 週間）のため 0 分表示となります。
　・残り湯がふろ循環口より上にあるときは非表示となります。

浴室リモコン

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。

貯湯量表示（約50℃以上のお湯の量）		（点滅）					
貯湯量（目安）	370L タイプ	30L未満	30L以上	80L以上	130L以上	180L以上	230L以上
	460L タイプ			110L以上	170L以上	230L以上	290L以上

※貯湯量（目安）は一例です。

増設リモコン（別売部品）

○表示部は説明のため全点灯状態にしてあります。
（ただし、現在時刻表示部は一部点灯状態です。）

貯湯量表示 （約50℃以上のお湯の量）		（点滅）					
貯湯量 （目安）	370L タイプ	30L未満	30L以上	80L以上	130L以上	180L以上	230L以上
	460L タイプ			110L以上	170L以上	230L以上	290L以上

※貯湯量（目安）は一例です。

エコキュートの上手な使い方

より省エネで経済的にご使用いただくためのポイント

エコキュートは、過去のお湯の使用量を学習してお湯を沸かしますが、マルチエネルギーモニタの設定により、多めに沸かすことも、少なめに沸かすこともできます。1 ～ 6 を参考に、必要な量だけお湯を沸かし、上手に使い切ることが省エネ・省コストのポイントです。

1 お買い上げ時の運転モードの設定は、最も省エネとなる「おまかせ省エネ」モードになっています（☞ 62 ページ）

- お湯がたりなくなりそうなときには、マルチエネルギーモニタの タンク湯増し をタップして必要な湯量を確保してください。（☞ 44 ページ）
- ひんぱんにお湯がたりなくなる場合は、運転モードを「おまかせ」に変更してお使いください。（☞ 62 ページ）

2 今日使うお湯の量が十分な場合は、 今日の湯増し休止 をタップして昼間の湯増し運転を休止することができます（☞ 46 ページ）

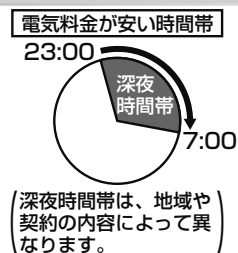
3 ぬるくなったおふろの湯温をあげるときは、「追いだき」 追いだき 高温さし湯(3秒押し) よりも「高温さし湯」 追いだき 高温さし湯(3秒押し) （3 秒以上の長押し）のほうが省エネになります（☞ 54 ページ）

4 マルチエネルギーモニタ、浴室リモコン、増設リモコンを消灯することにより、待機時の消費電力を減らせます（☞ 93、107 ページ）

5 旅行などで不在となるとき（～ 15 日間）には、「エコキュート休止設定」で沸きあげを休止してください（☞ 163 ページ）

6 16 日間以上休止するときは、「エコキュート長期停止設定」をおこない、漏電ブレーカーの電源レバーを「OFF」にして、貯湯ユニットおよびヒートポンプユニットの水を抜いてください（☞ 164 ～ 166 ページ）

● **深夜時間帯のご使用について**

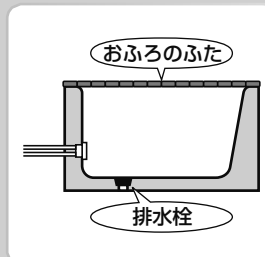
この給湯機は、おもに深夜時間帯にお湯を沸かしますので、この時間帯に給湯やふろ運転をおこなうと、不足分を昼間に湯増し運転をおこない電気代が高くなる場合があります。
深夜時間帯は、お客様の電力契約に合わせて正しく設定してください（☞ 109 ～ 110 ページ）。

● **マルチエネルギーモニタの時刻を確認する**

時刻がずれている場合は、マルチエネルギーモニタで時刻を合わせてください（☞ 93 ページ）。
時刻がずれていると、電気料金が高くなる場合があります。
日時の修正時に、誤った日時を設定すると、発電量などの履歴データが消えてしまうことがあります。消えた履歴データは元に戻せませんのでご注意ください。
日時を過去の日時に設定すると、設定変更直後のデータが実際より大きい値で表示されることがあります。ご注意ください。

● **お湯を上手に使う**

1 日に使用できるお湯の量は限りがあります。
流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
・シャワーは止めながら（髪を洗っているときなどは止めましょう）
・洗いものをするときは止めながら

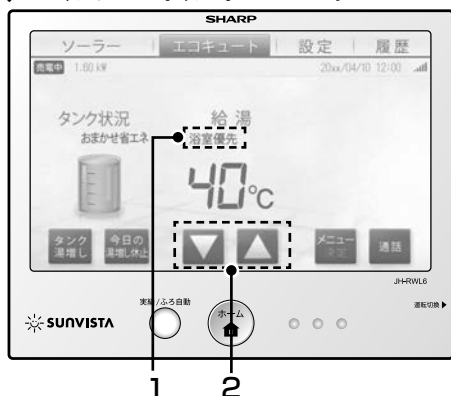
● **湯張りをするときのお願い**

湯張りをするときは次のことを確認してください。
・おふろの排水栓を閉じる
・おふろのふたをする（お湯を冷めにくくするため）

お湯を使う

マルチエネルギーモニタ

- マルチエネルギーモニタで給湯温度を設定する場合は、「浴室優先」が消灯していることを確認してください。
- 初期設定は、40℃です。

◆ マルチエネルギーモニタ

⚠警告

●お湯を使う前には必ず湯温を確認する
やけどをすることがあります。

●給湯温度を変更するときは、浴室やシャワーなど他の湯水混合栓の使用状況を確認する
やけどをすることがあります。

1 **「浴室優先」が消灯していることを確認する**

- 「浴室優先」が点灯しているときは、浴室リモコンの［浴室優先］を押して「浴室優先」を消灯してください。

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

2 **［▼］または［▲］をタップして、給湯温度を設定する**

- 給湯温度を変更すると「給湯温度が変更されました」と音声でおしらせします。
- 60℃に設定した場合は、音声で「あついお湯がでます」とおしらせし、「高温」を表示して注意を促します。

設定範囲（℃）	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	60

（60：高温）

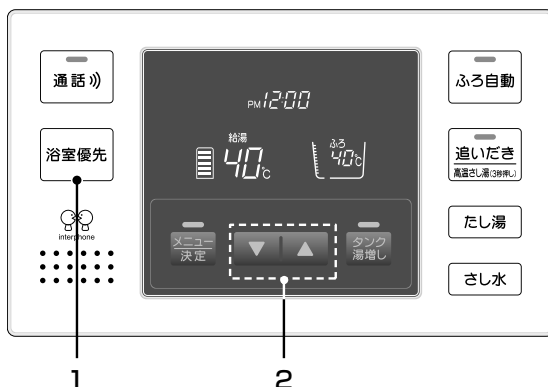
メモ

- 「浴室優先」が点灯している場合、［▼］［▲］の操作をすると警告音が鳴り、操作は受け付けません。

浴室でお湯・シャワーを使う

浴室リモコン

- 浴室でお湯・シャワーを使う場合は必ず、浴室リモコンの 浴室優先 を押し「浴室優先」を表示させてから使用してください。他のマルチエネルギーモニタ、増設リモコンで高温設定されると、浴室でも熱いお湯が出てやけどをすることがあります。
- 初期設定は、40℃です。

◆ 浴室リモコン

⚠警告

●シャワーをあびる前には必ず湯温を確認する
やけどをすることがあります。

●「浴室優先」の設定をおこなうときや給湯温度を変更するときは、台所など他の湯水混合栓の使用状況を確認する
やけどをすることがあります。

1 浴室優先 を押す

- 浴室優先にした場合は、「浴室優先に変更されました」と音声でおしらせし、「浴室優先」を表示します。

2 ▼ または ▲ を押して、給湯温度を設定する

- 給湯温度を変更すると「給湯温度が変更されました」と音声でおしらせします。
- 60℃に設定した場合は、音声で「あついお湯がでます」とおしらせし、「高温」を表示して注意を促します。

◆ 浴室リモコン表示部

設定範囲（℃）	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	60
																	高温

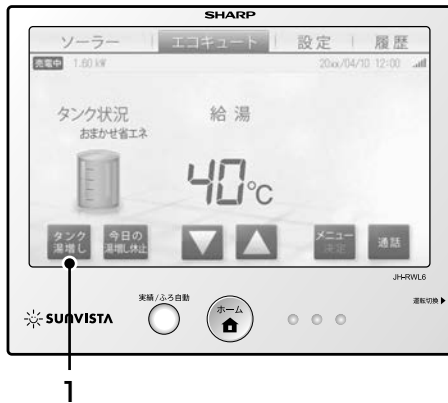
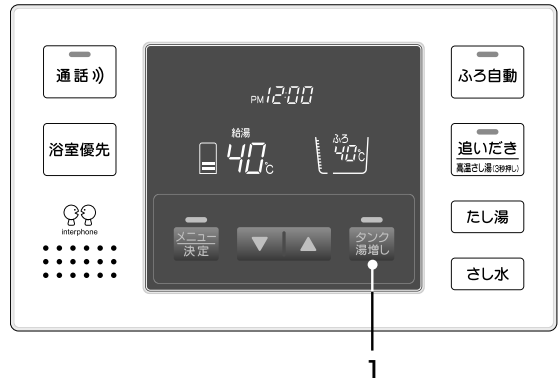
● シャワーの湯温が安定しない・シャワーの勢いが弱いとき
サーモスタット付き湯水混合栓を使用の場合は、シャワーの設定温度（約40℃）より浴室リモコンの給湯温度設定を5 ～ 10℃高い45 ～ 50℃に設定することで、安定した湯温となり、シャワーの湯量も増えます。

メモ

- 給湯温度は配管放熱により変動します。マルチエネルギーモニタ、リモコンの給湯温度設定は目安としてお使いください。
- 蛇口を開いた直後は、配管内にたまっていた冷たい水が出ることがあります。
- 貯湯ユニット内の湯温が低いときは、お湯がぬるくなることがあります。

お湯がたりないとき

● お湯の使用量が多くなりお湯がたりなくなりそうな場合は、タンク湯増しで湯増しをおこなってください。（エコキュートトップ画面でタンクアイコンをタップすることで、使用可能湯量（目安）を確認できます。使用可能湯量（目安）はナビモードでも確認できます（☞ 64 ページ）。）

◆ マルチエネルギーモニタ

◆ 浴室リモコン

1 タンク湯増しを押す

● マルチエネルギーモニタでは「タンク湯増し」スイッチの外枠の色が変わります。浴室リモコン、増設リモコンでは湯増しランプが点灯します。
音声と表示で「湯増しをします」とおしらせします。

●「湯増し」が表示され、湯増しがおこなわれます。

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

湯増しを途中でやめるとき

■ 湯増し中にタンク湯増しを押す

● マルチエネルギーモニタの「タンク湯増し」スイッチの外枠の色が消えて、浴室リモコンの湯増しランプと画面内の「湯増し」の表示が消灯し、湯増しを中止します。

メモ

● タンク湯増し量は、オプション設定で「50L」、「100L」、「満タン」から選択できます。（☞ 68、73 ページ）

● タンク湯増しを使用しているときは、エコキュートの運転モードの設定はできません。

タンク湯増しの動作

●[タンク湯増し] を押すと、タンク湯増しモードになり設定した湯増し量を湯増しします。

※ タンク湯増しモード中は、マルチエネルギーモニタではタンク湯増しスイッチの外枠の色が変わります。浴室リモコンではタンク湯増しスイッチ部ランプが点灯します。

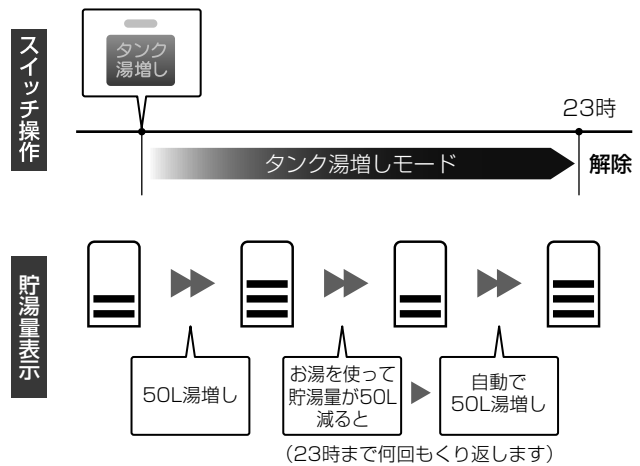
●給湯などでお湯を使用し、[タンク湯増し] を押したときの動作は以下となります。

・ タンク湯増し量設定が「50L」、「100L」の場合は [タンク湯増し] を押したときの貯湯量まで減ると再び設定した湯増し量を自動で湯増しします。

※ ただし貯湯量表示がバー 5 本の場合は、湯増しをおこないません。

・ タンク湯増し量設定が「満タン」の場合は貯湯量表示がバー 5 本から 4 本に減ると、自動で湯増しします。

※ 貯湯量表示が、バー 4 本以下でも貯湯ユニット内の温度によっては湯増しをしない場合があります。

●タンク湯増しモードは、再度 [タンク湯増し] を押すか 23 時になると解除されます。解除されるまではタンク湯増しスイッチのランプは点灯しています。

■ 今日の湯増しを休止する（その日だけ有効な機能）

- 外出などでもうお湯を使わない日や、お湯が残りそうな日は、昼間の湯増し運転を休止することができます。
- 23 時になるまで湯増しを停止して、電気代を節約します。（その日だけ有効な機能です。）
- マルチエネルギーモニタからおこないます。

◆ マルチエネルギーモニタ

1 今日の湯増し休止 をタップする

- 「設定されました」と音声と表示でおしらせします。
  今日の湯増し休止 スイッチの外枠の色が変わります。
- 湯増し休止中は、23 時になると、「今日の湯増し休止」スイッチの外枠の色が消えて、湯増し休止が自動的に解除されます。

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

湯増し休止を解除する場合

■ 湯増し休止中に 今日の湯増し休止 をタップする

- 「今日の湯増し休止」スイッチの外枠の色が消えて、湯増し休止が解除されます。

メモ

- 湯増し休止中にお湯がたりなくなりそうな場合は、 今日の湯増し休止 をタップして、湯増し休止を解除してから タンク湯増し を押してください。

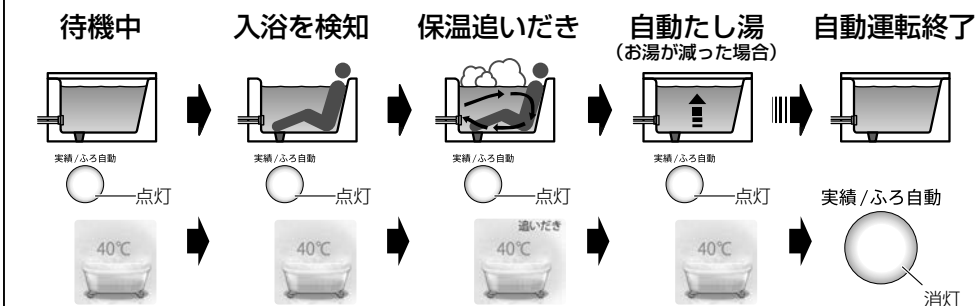
ふろ自動運転

- マルチエネルギーモニタの実績 / ふろ自動ボタン（実績/ふろ自動）または浴室リモコンのふろ自動スイッチ（ふろ自動）を押すだけで、設定したふろ温度・ふろ湯量の湯張りをします。
- 湯張りを完了すると、自動で保温運転をします。気温が高い夏など保温を必要としないときは保温運転を停止することができます。(☞61、68 ページ)
- 初期設定は、ふろ温度 40℃、ふろ湯量 180L、省エネ保温、保温時間 2 時間です。

ふろ自動運転の動作

湯張り完了後の保温運転は、「省エネ保温」と「通常保温」から選択できます。

初期設定は、運転モードが「おまかせ省エネ」で「省エネ保温」となっています。

- おふろに人が入ると、入浴を検知して湯温をあげます。
  お湯が減った場合は、自動でたし湯をします。

注1）　湯張り完了直後は、おふろが冷めていないので、おふろに人が入っても保温追いだきはしません。
・入浴を検知して保温追いだきをした後、約20分はおふろが冷めていないので入浴しても保温追いだきはしません。

注2）・長時間入浴がないと、おふろの温度が冷めるため、入浴しなくても保温追いだきをすることがあります。

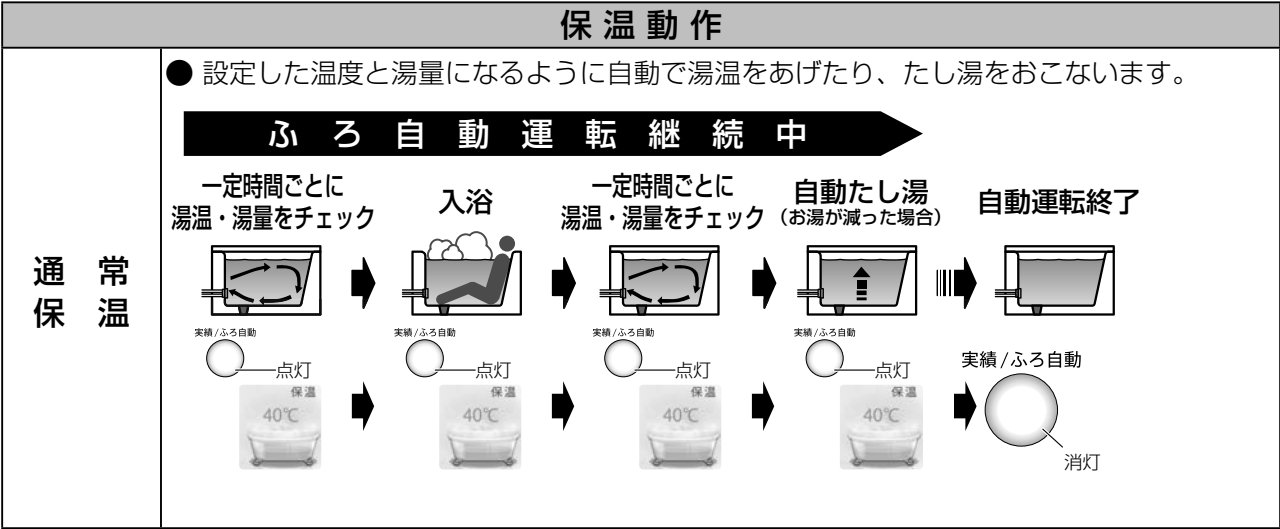
注3）・ふろ配管が冷めているときは、自動保温・自動たし湯運転開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。

〈「通常保温」は次ページに続く〉

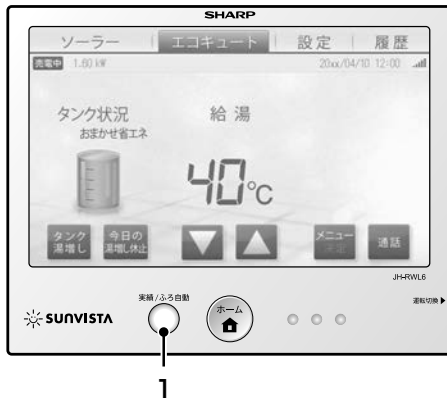
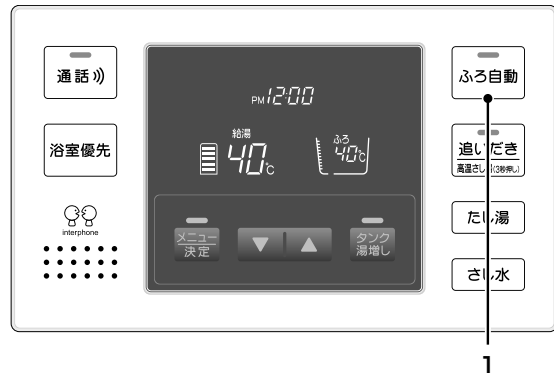
保温動作	
通常保温	● 設定した温度と湯量になるように自動で湯温をあげたり、たし湯をおこないます。

●運転モードが「おまかせ省エネ」「使いきり」の場合は、「省エネ保温」の設定となります。
その他の運転モードの場合は、「省エネ保温」または「通常保温」のいずれかを設定できます。
(☞ 62 ～ 63 ページ)

運転モード	省エネ保温	通常保温
おまかせ省エネ	○	設定できません
おまかせ	○	○
満タン	○	○
使いきり	○	設定できません

● 湯張り完了後の保温時間は変更することができます。(☞ 64、70 ページ)
● 湯張り中にふろアイコンをタップすると湯張り完了までの目安時間を表示します。
・ 設置直後はマイコン学習期間のため 0 分表示となります。
・ 残り湯がふろ循環口より上にあるときは非表示となります。

ふろ自動運転（おふろを沸かす）

おふろが空のとき

◆ マルチエネルギーモニタ

◆ 浴室リモコン

■ おふろを確認します

● おふろの排水栓を閉じてください。

● おふろにふたをしてください。

※おふろの温度、おふろの量を変更する場合は、各設定をおこなってください。（☞51～52ページ）

1 （実績/ふろ自動）または［ふろ自動］を押す

● 実績/ふろ自動ボタンまたはふろ自動ランプが点灯して、自動湯張りを開始します。
音声と表示で「お湯張りをします」とおしらせします。

● 湯張り中はマルチエネルギーモニタにふろアイコンを表示し、水面変化のアニメーションを表示します。浴室リモコンではふろ注湯表示バーが順番に点灯します。

■ 湯張り完了のおしらせの後、入浴できます

● 「♪、おふろが沸きました　おふろが沸きました」とメロディと音声でおしらせします。

※操作音・音量設定で音声なしに設定している場合でも、上記メロディと音声は鳴ります。（☞100ページ）

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

お願い

●湯張り中は、湯水混合栓やシャワーなどからおふろへお湯や水をたしたり、おふろからお湯をくみ出したり排水したりしないでください。正常に湯張りができないことがあります。

● ジェットバスを使用する場合は、湯張り完了後にふろ自動運転を停止してください。

ふろ自動運転を途中でやめるとき

■ ふろ自動運転中に（実績/ふろ自動）または［ふろ自動］を押す

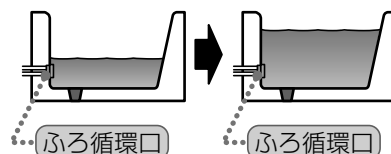
● 実績/ふろ自動ボタンと、ふろ自動ランプが消灯し、ふろ自動運転を中止します。

おふろの残り湯を設定温度に沸かしたいとき

● 前日の残り湯を沸かす場合（1 日おきに沸かす場合など）は運転モードが「おまかせ省エネ」、「使いきり」では沸かないことがありますので、「おまかせ」に変更してください。

残り湯がふろ循環口より上のとき

1 実績/ふろ自動 または ふろ自動 を押す

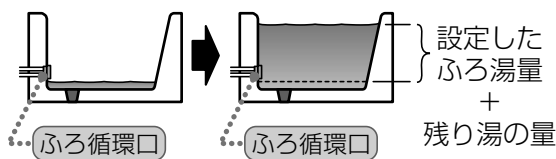
● 設定されたふろ湯量の不足分をたし湯し、設定温度まで沸きあげて保温します。

■ **湯張り完了のおしらせ後、入浴できます**

● 「♪、おふろが沸きました　おふろが沸きました」とメロディと音声でおしらせします。

残り湯がふろ循環口より下のとき

1 実績/ふろ自動 または ふろ自動 を押す

● 設定されたふろ湯量を湯張りし、設定温度まで沸きあげて保温します。

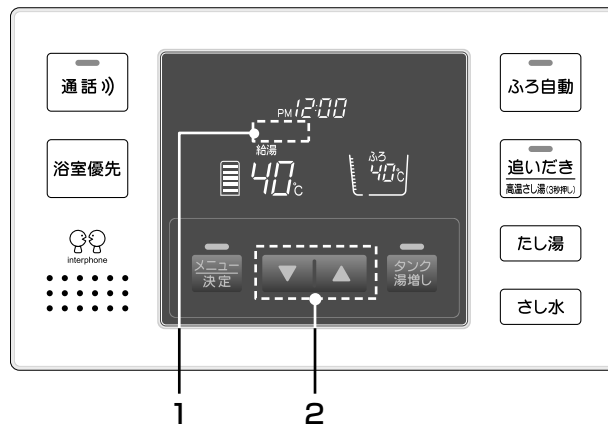
● おふろの残り湯の量だけお湯が増えます。あふれるようでしたら、ふろ自動運転をする前に残り湯を排水してください。

■ **湯張り完了のおしらせ後、入浴できます**

● 「♪、おふろが沸きました　おふろが沸きました」とメロディと音声でおしらせします。

● ふろ配管が冷めているときは、自動保温・自動たし湯運転開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。
● 外気温が低いときには入浴中でもふろポンプの運転による凍結予防が働き、ふろ配管内の冷めたお湯がおふろに出ることがあります。（☞ 162 ページ）
● 湯張り中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、湯張り時間が長くなることがあります。
● 給湯と湯張りを同時におこなったときは、給湯量が減少することがあります。
● 設置後 2 回目までの湯張りは、浴槽の容量を学習するため、湯張り時間が若干長くなります。
● 湯張りが完了すると、ふろポンプが運転してふろ配管内の気泡がふろ循環口からボコボコ出ることがありますが、異常ではありません。
● 貯湯量表示が □（点滅）のときは、ふろ自動運転を受け付けることができません。
タンク湯増し（☞ 44 ページ）により □ 以上となったら、ふろ自動運転をすることができます。
● 貯湯量が少なくなると、ふろ自動運転のふろ湯量が少なかったり、ふろ温度が低い場合があります。
● 貯湯量が不足すると、ふろ自動運転（自動保温・自動たし湯）が途中で停止する場合があります。
● おふろの残り湯の排水は、ふろ自動運転を停止してからおこなってください。
（停止せずに排水栓を抜くと、自動たし湯がおこなわれ、お湯がムダになります。）
● 前日の残り湯や水からの沸かし直しは、効率が低下し、消費電力量が増える場合があります。水が冷たい場合は、新たに湯張りをすることをおすすめします。

おふろの温度を設定する

- ふろ自動運転の湯張り温度を設定します。
- 浴室リモコンからおこないます。
- 初期設定は、40℃です。

◆ 浴室リモコン

1 「浴室優先」が消灯していることを確認する

- 「浴室優先」が点灯しているときは、浴室優先を押して「浴室優先」を消灯してください。
「浴室優先」が点灯しているときは給湯温度が変更されます。

2 ▼または▲を押して、おふろの温度を設定する

- ▲を押すと 1℃ずつ高くなります。
- ▼を押すと 1℃ずつ低くなります。
- おふろの温度を 46℃以上にあげるときは、▲を 3 秒以上長押しして、設定してください。
おふろの温度をさげるときは、長押しする必要はありません。

◆ 浴室リモコン表示部

設定範囲（℃）	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48

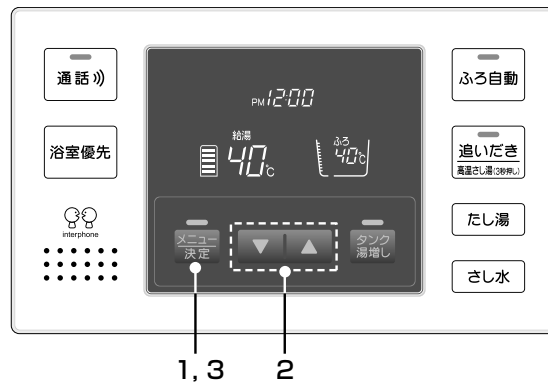
3秒以上長押し　3秒以上長押し　3秒以上長押し

メモ

- おふろの湯温は、配管の放熱により異なります。浴室リモコンの表示温度は目安としてお使いください。

おふろの湯量を設定する

- ふろ自動運転のふろ湯量を設定します。
- 浴室リモコンからおこないます。
- 初期設定は、180L です。

◆ 浴室リモコン

1 [メニュー決定]を押して「ふろ湯量」を選び、点滅させる

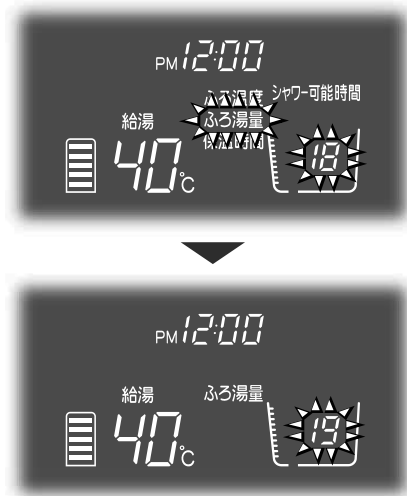
2 [▼]または[▲]を押して、ふろ湯量を選ぶ

- [▲]を押すと 10L ずつ増加します。
  [▼]を押すと 10L ずつ減少します。

設定範囲（L）	100	110	・・・(10L刻み)	170	180	190	・・・(10L刻み)	400
浴室リモコン表示	10	11	・・・	17	18	19	・・・	40

3 [メニュー決定]を押して決定する

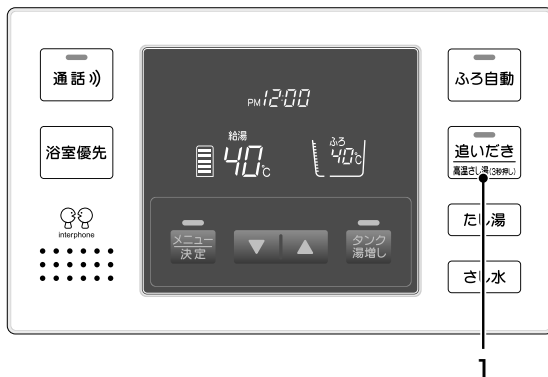
- 音声で「ふろ湯量が変更されました」とおしらせします。

◆ 浴室リモコン表示部

- 湯張り動作中に、ふろ湯量を変更した場合は、次回の湯張りからふろ湯量が変更されます。
- 20 秒以上スイッチ操作がない場合は、設定内容は反映されずに、おふろの湯量設定を終了します。

おふろの湯温をあげる（追いだき）

- おふろの湯温をあげたいときはを押してください。
- 追いだきは循環ポンプでおふろのお湯を循環して、設定された温度まで湯温をあげます。
- 浴室リモコンからおこないます。

お願い

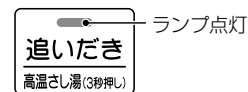
- おふろに残り湯があり、設定温度まで沸かしたいときは、［追いだき］ではなく［ふろ自動］を押してください。

◆ 浴室リモコン

⚠警告

- **追いだきするときはふろ循環口から離れる**
  やけどをすることがあります。
- **おふろにお湯がないときは、［追いだき］を押さない**
  やけどをすることがあります。

1 ［追いだき］を押す

- 追いだきランプが点灯して、追いだきがおこなわれます。
  音声で「追いだきをします」とおしらせします。
- ふろ注湯表示バーが点滅します。

◆ 追いだきスイッチ

◆ 浴室リモコン表示部

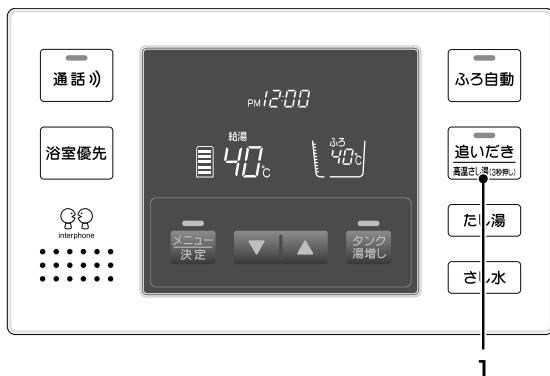
追いだきを途中でやめるとき

■ 追いだき中に［追いだき］を押す

- 追いだきランプが消灯し、追いだきを中止します。

- ふろ配管が冷めているときは、追いだき開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。
- 貯湯量表示が［ ］（点滅）のとき、追いだきはできません。タンク湯増し（☞44 ページ）により［ ］となったら、追いだきをすることができます。
- 追いだきの沸きあげ温度は変更することができます。（☞68 ページ）
- 次の動作中は追いだきできません。
  自動湯張り中、高温さし湯中、さし水中、たし湯中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。
- 太陽熱温水器や他の給湯機でおふろに湯張りをおこない、追いだき専用機器としての使用はできません。

おふろの湯温をあげる（高温さし湯）

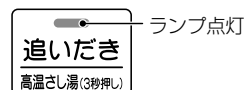
- 約 60℃のお湯を約 20L ふろ循環口からさし湯して、おふろの湯温をあげます。
- ぬるくなったおふろの湯温をあげるときは、追いだきよりも「高温さし湯」のほうが省エネになります。
- 浴室リモコンからおこないます。

◆ 浴室リモコン

⚠警告

- **高温さし湯をするときはふろ循環口から離れる**
  やけどをすることがあります。
- **おふろにお湯がないときは、[追いだき／高温さし湯(3秒押し)]を押さない**
  やけどをすることがあります。

1 [追いだき／高温さし湯(3秒押し)]を 3 秒以上長押しする

- 追いだきランプが点灯して、高温さし湯がおこなわれます。音声で「高温さし湯をします」とおしらせします。
- ふろ注湯表示バーが点滅します。
- [追いだき／高温さし湯(3秒押し)]を長押ししないで押しただけのときは、追いだき運転になります。

◆ 追いだきスイッチ

◆ 浴室リモコン表示部

高温さし湯を途中でやめるとき

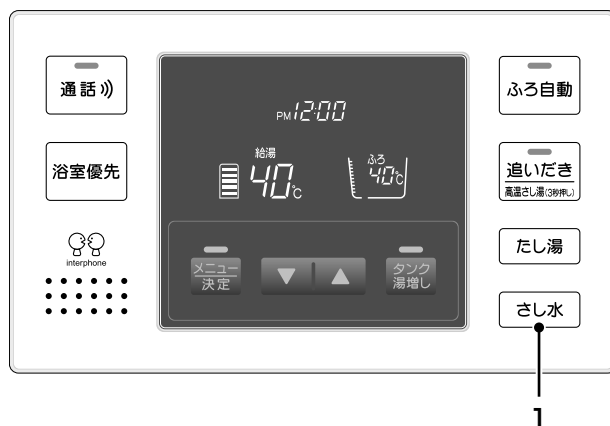
■ 高温さし湯中に[追いだき／高温さし湯(3秒押し)]を押す

- 追いだきランプが消灯し、高温さし湯を中止します。

メモ

- ふろ配管が冷めているときは、高温さし湯開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。
- 貯湯量表示が [ ]（点滅）のとき、高温さし湯はできません。タンク湯増し（☞44 ページ）により [ ] となったら、高温さし湯をすることができます。
- 次の動作中は高温さし湯できません。
  自動湯張り中、追いだき中、さし水中、たし湯中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。
- 高温さし湯のときは、ふろ循環口から出るお湯の分だけおふろの水位が上昇します。

おふろの湯温をさげる（さし水）

● 約 10L の水がふろ循環口から出て、おふろの湯温を約 1℃下げます。
● 浴室リモコンからおこないます。

◆ 浴室リモコン

1 さし水 を押す

● 「さし水」が点灯して、さし水がおこなわれます。
音声で「さし水をします」とおしらせします。
● ふろ注湯表示バーが順番に点灯します。
● 1 回の「さし水」運転では、まだあついときは、2 回、3 回の「さし水」運転をしてください。

◆ 浴室リモコン表示部

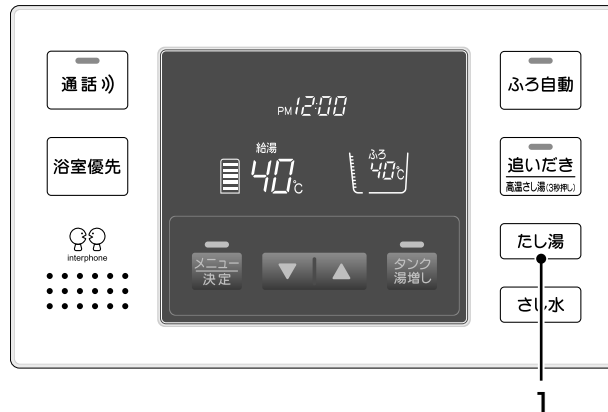
さし水を途中でやめるとき

■ さし水中に さし水 を押す

● 「さし水」が消灯し、さし水を中止します。

● 次の動作中はさし水ができません。
自動湯張り中、追いだき中、高温さし湯中、たし湯中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。

浴槽のお湯をふやす（たし湯）

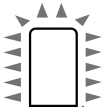
● 設定されているふろ温度のお湯（約 30L）がふろ循環口から出て湯量をふやします。
● 浴室リモコンからおこないます。

◆ 浴室リモコン

1 たし湯 を押す

● 「たし湯」が点灯して、たし湯がおこなわれます。
音声で「たし湯をします」とおしらせします。
● たし湯中はふろ注湯表示バーが順番に点灯します。

◆ 浴室リモコン表示部

たし湯を途中でやめるとき

■ たし湯中に たし湯 を押す

● 「たし湯」が消灯し、たし湯を中止します。

● ふろ配管が冷めているときは、たし湯開始直後、ぬるいお湯が出ることがあります。
● 貯湯量表示が ▯（点滅）のとき、たし湯はできません。タンク湯増し（☞ 44 ページ）により ▯ となったら、たし湯をすることができます。
● 次の動作中はたし湯ができません。
自動湯張り中、追いだき中、高温さし湯中、さし水中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。

貯湯量表示について

● 貯湯量表示は、貯湯ユニットの残湯量を目安で次のように表示しています。
● 貯湯ユニットの残湯量が少ないときは タンク湯増し を押して貯湯量を確保してください。
● 貯湯量が少なくなると、おふろの機能が一部制限される場合があります。

ふろ運転機能の制限と貯湯量表示の関係（目安）

貯湯量表示（約 50℃以上のお湯の量）							
	マルチエネルギーモニタ	（点滅）					
	浴室リモコン	（点滅）					
貯湯量（目安）※1	370L タイプ	30L 未満※2	30L 以上	80L 以上	130L 以上	180L 以上	230L 以上
	460L タイプ			110L 以上	170L 以上	230L 以上	290L 以上
ふろ自動		できません		できます（できない場合があります ※3）			
追いだき		できません	できます（途中で終了する場合があります ※4）				
高温さし湯（追いだきスイッチ 3 秒以上長押し）		できません	できます				
たし湯		できません	できます				

※ 1 貯湯量（目安）は一例です。
※ 2 「ピピピピッ」と警告音でおしらせします。
※ 3 バー表示がある場合でも、貯湯温度によっては運転に必要な貯湯量が不足する場合があります。
この場合はふろ自動運転はできないことがあります。また、途中で終了する場合があります。
※ 4 追いだき途中に給湯などを使用すると、貯湯量が減り自動で終了することがあります。

湯切れをしないために

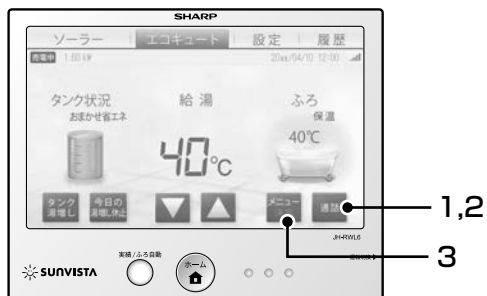
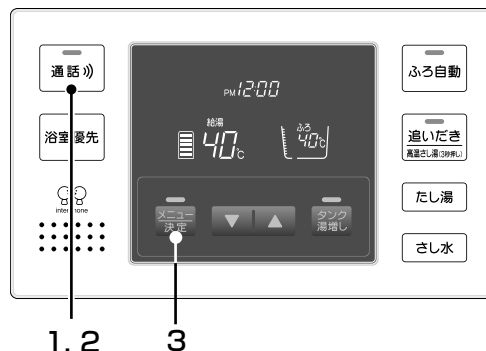
●湯張りなどで多量にお湯を使用されるときは、使用される前に メニュー決定 でナビモードを選び「使用可能湯量」の確認をおこなってください(☞ 64 ～ 65 ページ)。お湯がたりなくなりそうなときは タンク湯増し を押してください。

メモ

● 貯湯量表示は、約 50℃以上のお湯の量を段階的に示しています。運転モードを切り換えるとバーの数が変わることがあります。実際の使用可能湯量(目安)は、ナビモードで確認してください。(☞ 64 ～ 65 ページ)
使用可能湯量は(目安)は、エコキュートトップ画面で、タンクアイコンをタップすることでも確認できます。
● お湯を使用しなくても、追いだきやふろ自動保温により貯湯ユニット内のお湯の温度が低下すると、貯湯量表示が減ります。また、お湯の温度は、途中の配管からの放熱や時間の経過による放熱のため低下し、貯湯量表示が減ることがあります。（外気温度や風の影響にもよりますが、朝から夕方（半日）までの間に約 5℃～ 10℃程度低下します。）※お湯が漏れているわけではありません。
● 外泊などによって 1 日以上お湯を使用されなかったときは、貯湯ユニット内のお湯の温度が低下しているので、いつもより早めに貯湯量表示が減少することがあります。
● お湯の使用量が少ないときは、満タンまで沸きあげない場合があります。

通話をする

● 浴室リモコンとマルチエネルギーモニタの間で通話することができます。

◆ マルチエネルギーモニタ

◆ 浴室リモコン

通話の開始

1 通話 または 通話 を押す

● 通話ランプが点灯し「ピピピピッ、ピピピピッ」と呼出音が鳴ったあとに、相手と話すことができます。

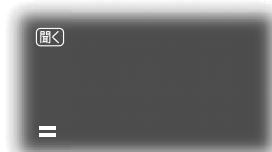
● 送話側に「話す」が点灯します。受話側に「聞く」が点灯します。

◆ マルチエネルギーモニタスイッチ

◆ 浴室リモコンスイッチ

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

◆ 浴室リモコン表示部

〈送話の場合〉　〈受話の場合〉

通話 を押すごとに切り替わります。

〈受話の場合〉　〈送話の場合〉

通話の切り替え

2 通話 または 通話 を押して、「話す」側と「聞く」側を切り替える

● 「話す」「聞く」の表示が切り替わります。

● 送話側、受話側のどちらからでも通話を切り替えることができます。マルチエネルギーモニタには「話す」と「聞く」が自動的に切り替わるまでの残り時間を表示します。

※ 通話スイッチを押さない場合でも、手順 1 ではじめた最初の送話のみ、設定した時間（初期設定：10 秒）が経過すると、自動的に送話と受話が切り替わります。この時間は変更できます。（☞ 68 ページ）

通話の終了

3 を押して、通話を終了する

● 通話ランプが消灯します。

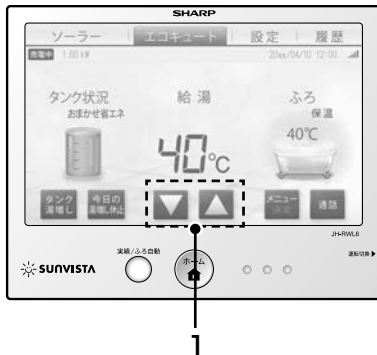
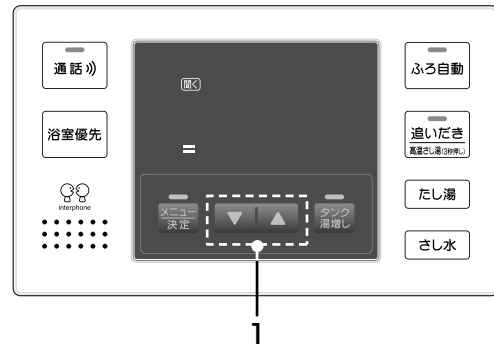
※ メニュー決定を押さない場合でも、設定した時間が経過すると、自動的に通話が終了します。

メモ

● 通話は合計で最長 4 分間までおこなえます。
● 通信時間をなしに設定すると、呼出音のみとなり通話はできなくなります。
● マルチエネルギーモニタから 30㎝ 程度離れて通話をしてください。近くで大きな声を出すと聞きにくくなります。
● ハウリング（キーンなどの大きな音）を起こす場合、音量を下げてください。（☞ 59、68 ページ）
● ふろ自動、保温中、湯増しの運転中に通話をすると、通話ランプ以外のランプが一時消灯します。
● マルチエネルギーモニタと浴室リモコンの間が通話中のとき、増設リモコンでスイッチ操作はできません。
● マルチエネルギーモニタが定期メンテナンス中 / 再起動中のときは、通話はできません。

通話音量を変える

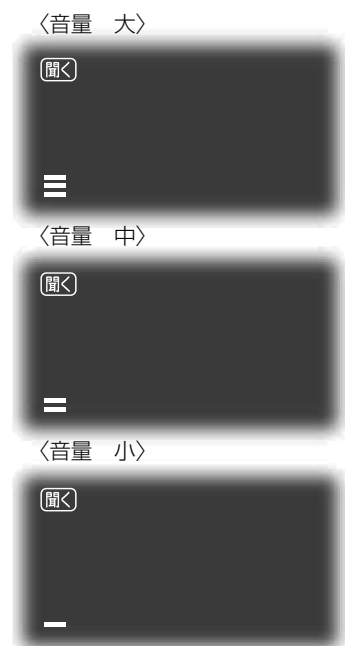
● 通話中に、音量を変えることができます。
● 初期設定は、「中」です。

◆ マルチエネルギーモニタ

◆ 浴室リモコン

音量の変更

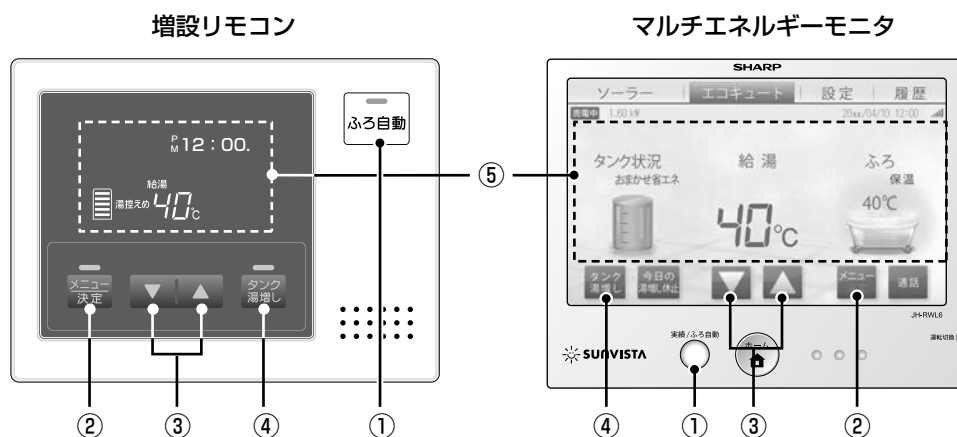
1 **通話中に▼または▲を押して、音量を変える**

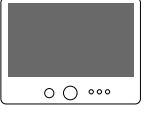
● 音量は３段階で変えることができます。
● ▲を押すと音量が大きくなります。
● ▼を押すと音量が小さくなります。

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

◆ 浴室リモコン表示部

● 呼出音「ピピピピッ」の音量は変わりません。

増設リモコンの使い方

● 増設リモコンによるエコキュートの操作は、マルチエネルギーモニタと一部スイッチの位置や形状、画面表示の違いはありますが、機能・操作は同じ設定項目（できること）があります。これらの設定項目については、マルチエネルギーモニタの操作をご覧ください。

増設リモコンの各部のなまえ		はたらき
①	ふろ自動　スイッチ	おふろにお湯を張り、完了後に保温とたし湯を自動でおこないます。
②	メニュー／決定　スイッチ	メニューの設定や、情報を見ることができます。
③	▼／▲　スイッチ	給湯温度の変更や、選んだ設定内容を変更します。
④	タンク湯増し　スイッチ	貯湯ユニット内のお湯を湯増しします。
⑤	表示部	タンク貯湯量などタンク状況、給湯温度など給湯状況、ふろ温度やふろ状態などふろ状況を表示します。

設定項目（できること）	マルチエネルギーモニタの参照ページ	
	増設リモコン表示例	マルチエネルギーモニタ表示例
	お湯を使う（☞ 42 ページ）	
給湯温度の変更	省エネ PM 12：00 給湯 高温 おまかせ 60℃	
	お湯が足りないとき（☞ 44 ページ）	
湯増し	ランプ点灯 タンク湯増し / 省エネ PM 12：00 湯増し 給湯 おまかせ 40℃	タンク湯増し 外枠色変化
	ふろ自動運転（☞ 47 ～ 50 ページ）	
おふろを沸かす	ランプ点灯 ふろ自動 / 省エネ PM 12：00 給湯 ふろ おまかせ 40℃ 40℃	実績/ふろ自動 LED点灯

設定項目と設定方法

メニュー設定

● 初期設定は、　　　になっています。

マルチエネルギーモニタ → → 決定

操作するモニタ・リモコン	項目選択	設定項目（モニタ・リモコン表示）	設定内容	設定・表示項目の変更	変更の確定／表示の終了	参照ページ
マルチエネルギーモニタ	1回押し	**運転モード**	運転モードを設定します。	①運転モードの設定 満タン（1週間）⇕ おまかせ ⇕ おまかせ省エネ ⇕ 使いきり ②ふろ保温の設定 省エネ保温⇔通常保温 ③ふろ保温時間の設定 0⇔1⇔2⇔3⇔4⇔5⇔6時間	確　定	62
	2回押し	**ナビモード**	使用可能湯量などを表示します。	使用可能湯量⇔1週間使用量⇔保温残り時間⇔サービス店TEL	表示終了	64
	3回押し	**ふろ予約**	湯張り予約の入／切、入浴できる時刻を設定します。	①湯張り予約の設定 入⇔切 ②予約時刻の設定 予約時刻はテンキーで入力します。	確　定	66

※ メニュー を4回押すと、エコキュートトップ画面に戻ります。
また、20秒以上操作しない場合もエコキュートトップ画面に戻ります。

浴室リモコン → →

操作するモニタ・リモコン	項目選択	設定項目（モニタ・リモコン表示）	設定内容	設定・表示項目の変更	変更の確定／表示の終了	参照ページ
浴室リモコン	1回押し	**ふろ温度**	ふろ湯張り温度を設定します。	35⇔36⇔……⇔39⇔40⇔41⇔……※⇔46⇔47⇔48℃ ※46℃以上にあげるときは、▲を3秒以上長押しします。	確　定	51
	2回押し	**ふろ湯量**	ふろ湯張り湯量を設定します。	10L単位で設定します。 100⇔110⇔……⇔170⇔180⇔190⇔……⇔400L		52
	3回押し	**保温時間**	ふろ自動運転の保温時間を設定します。	0⇔1⇔2⇔3⇔4⇔5⇔6時間		—
	4回押し	**シャワー可能時間**	シャワーの使用可能時間を表示します。	表示された時間を確認してください。	表示終了	—

※ メニュー決定 を5回押すと、通常画面に戻ります。また、20秒以上操作しない場合も通常画面に戻ります。

エコキュートの運転モードについて

● 初期設定での運転モードの設定は、最も省エネとなる「おまかせ省エネ」になっています。必要に応じて運転モードを変更してください。

運転モードの種類

おまかせ省エネ	◆ **おすすめの省エネモード〈学習機能付き〉** ● 毎日の使用湯量を学習して、最適なお湯の量を自動で沸かします。（夏場などお湯の使用量が少ないときは、満タンまで沸かさない場合があります。） ● 昼間でも必要に応じて、自動で湯増し運転をします。 ● サマーモードの設定が可能です。(☞ 32 ページ)	**こんなときは、運転モードを「おまかせ」に変更してください。** ※効率が低下し、消費電力量が増える場合があります。 ①貯湯量表示の点滅がひんぱんに出るとき ②ひんぱんに タンク湯増し を押して必要な湯量を確保しなければならないとき
おまかせ	◆ **「おまかせ省エネ」ではお湯がたりない場合** ●「おまかせ省エネ」より、多めにお湯を沸かします。〈学習機能付き〉 ● 昼間でも必要に応じて、自動で湯増し運転をします。 ● サマーモードの設定が可能です。(☞ 32 ページ)	**こんなときは、運転モードを「おまかせ省エネ」に変更してください。** マルチエネルギーモニタの 1 週間の使用量表示が「最大 500L ／日」を超えないとき（☞ 64 ページ「ナビモード」） **最大　500L/日**

使いきり	◆ **「おまかせ省エネ」よりさらに少なめにお湯を沸かします〈学習機能付き〉** ● お湯がたりなくなりそうな場合は、タンク湯増し を押して必要な湯量を沸かしてください。

● 〈学習機能付き〉とは…季節や過去の使用湯量を計算し、ムダなお湯を作らないよう、効率的に沸きあげをおこないます。

● お湯の使用量の目安
- 洗面と台所 ： 約 20 ～ 30L ／ 1 人
- ふろ湯張り ： 約 200L ／回
- シャワー ： 約 50 ～ 80L ／回

満タン（1 週間）	◆ **いつもより多くお湯を使う予定がある場合・終日お湯を使う場合** ● 満タンになるように沸きあげます。 ● マルチエネルギーモニタの貯湯量表示 のバーが 1 本減るとタンク湯増し運転をします。 ●「満タン」設定後、1 週間経過すると「満タン」設定前に使用していた運転モードになります。

● 運転モードの変更方法は、63 ～ 64 ページをご覧ください。

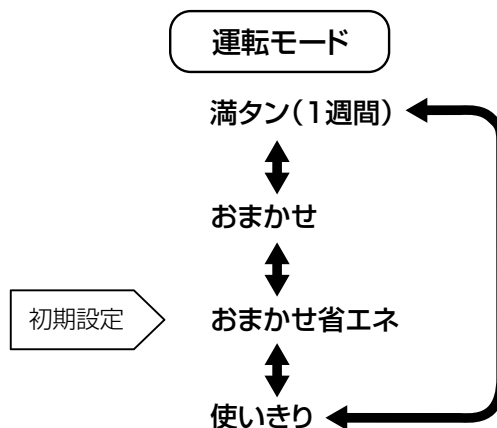
メモ

● 学習機能を使用するためには、設置日から 1 週間ほどのマイコン学習期間が必要です。

● サマーモードは深夜時間帯以外でのエコキュートの自動沸きあげを抑制する設定です。
- 「おまかせ省エネ」または「おまかせ」設定時のみサマーモードの設定が可能です。
- サマーモードを設定すると、大量にお湯を使う場合は湯切れする可能性があります。タンク湯量に十分ご注意ください。（設定方法 ☞ 32 ページ）

エコキュートの運転モードの変更

● お使いになるお湯の量に合わせて、運転モードを変更することができます。また、同時に保温の種類の設定および保温時間の設定も変更できます。
● マルチエネルギーモニタ・増設リモコンからおこないます。
● 初期設定での運転モードは最も省エネとなる「おまかせ省エネ」です。

◆ マルチエネルギーモニタ

運転モードの変更

1 メニュー をタップして、「運転モード」を選ぶ

● 約 2 秒後、現在の運転モードが表示されます。

2 ▼ または ▲ をタップして、運転モードを選ぶ

3 決定 をタップして決定する

ふろ保温の設定

4 ▼ または ▲ をタップして「省エネ保温」または「通常保温」を選ぶ

● 運転モードが「おまかせ省エネ」「使いきり」の場合は、「省エネ保温」の設定となり、約 2 秒後、ふろ保温時間の設定（手順 6）に進みます。

5 決定 をタップして決定する

〈以下次ページに続く〉

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

● 20 秒以上スイッチ操作がない場合は、設定内容は反映されずに、エコキュートのトップ画面に戻ります。
● 次のときはエコキュートの運転モードの設定はできません。
時刻未設定時、休止中、長期停止中、今日の湯増し休止中、タンク湯増し運転中。

ふろ保温時間の設定

6 ▼または▲をタップして、ふろ保温時間を選ぶ

設定範囲（h）	0	1	2	3	4	5	6

※ 初期設定は「2h」です。
保温運転を停止したいときは「0h」にしてください。

7 決定をタップして決定する

- 「設定されました」と音声と表示でおしらせします。運転モードを「満タン（一週間）」に変更した場合、「満タンに沸きあげます」の音声と「設定されました」の表示でおしらせします。
- 約３秒後、エコキュートのトップ画面に戻ります。

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

ナビモード

- 使用可能湯量などの情報を表示します。（表示される内容は目安です。）
- マルチエネルギーモニタから情報を見ることができます。

操作概要

◆ マルチエネルギーモニタ

エコキュートトップ画面

■ ナビモード

ナビモードの表示切り替え

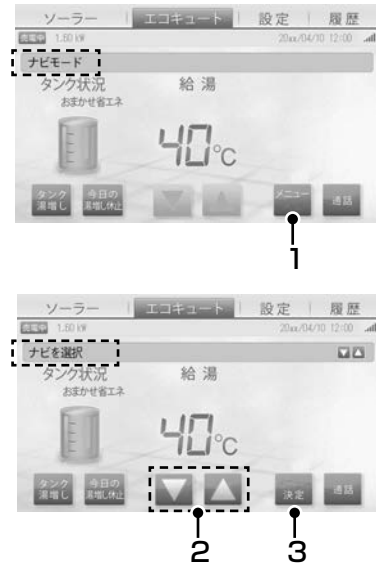
1 メニューを２回タップして、「ナビモード」を選ぶ

● 約２秒後、「ナビを選択」と表示されます。

2 ▼または▲をタップして、表示項目を選び、内容を表示させる

● 項目を表示してから、決定をタップする、または、約２秒後に、内容を表示します。
● 内容を表示しているときでも、表示項目を選択できます。

3 決定をタップして、エコキュートのトップ画面に戻る

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

表示項目一覧

使用可能湯量表示

現在の貯湯量で使用できるお湯の量と時間の目安を表示します。

● 浴槽マークは、貯湯ユニットの貯湯量をもとに、湯張りを１回できるかどうかを判断して回数（０または１回）を表示します。
● シャワーマークは、湯張り回数を除いた残りの湯量でシャワーを使用できる時間の目安を表示します。
シャワーに使用できる時間は５分単位で表示します。シャワー使用時間は給湯温度、前日までのお湯の使い方等によって変わります。
● マルチエネルギーモニタのエコキュートトップ画面でタンクアイコンをタップすることでも確認できます。

１週間使用量表示

過去１週間で使用した平均給湯量と最大給湯量の目安を表示します。

平均　300L/日

約3秒ごと　交互に表示します

最大　800L/日

保温残り時間表示

ふろ自動運転（自動保温）の残り時間の目安を表示します。

1時間30分です

● ふろ自動運転がおこなわれていないときは、「０時間０分です」と表示します。

サービス店TEL表示

故障時の連絡先の電話番号を表示します。

TEL　0120-525-365（例）

● オプション設定で登録したTEL番号を表示します。
● サービス店の電話番号が設定されていない場合は、オプション設定でTEL登録が必要です。（☞71ページ）

● 30秒以上スイッチ操作がない場合、エコキュートのトップ画面に戻ります。

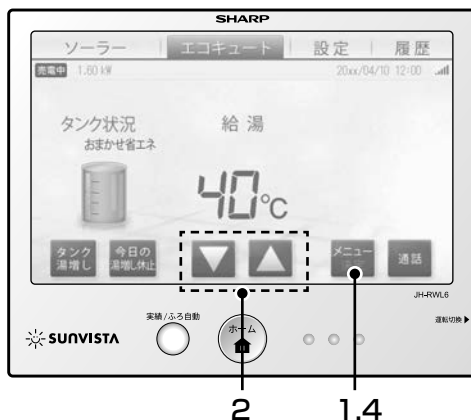
湯張りの予約（ふろ予約）

- ふろ予約を設定すると、予約した時刻に入浴できるよう自動湯張りをおこないます。
- マルチエネルギーモニタからおこないます。
- 増設リモコンからもふろ予約は可能です。

◆ マルチエネルギーモニタ

■ おふろを確認します

- おふろの排水栓を閉じてください。
- おふろにふたをしてください。

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

1 メニューを３回タップして、「ふろ予約」を選ぶ

- 約２秒後、現在のふろ予約状況が表示されます。

2 ▼をタップして「入」を選び、決定をタップする

- 「時刻を合わせてください」と音声でおしらせします。

3 予約時刻を入力して、決定をタップする

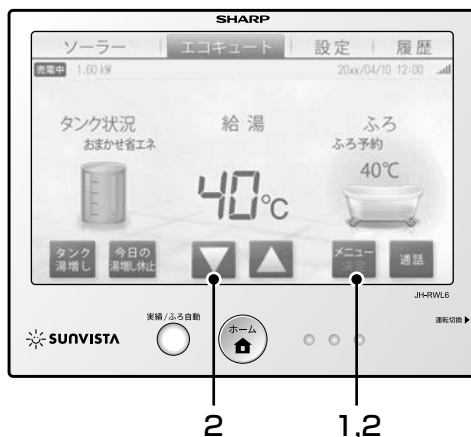
- 「時」の入力枠をタップし、右のテンキーで時を入力します。「分」の入力枠をタップし、右のテンキーで分を入力します。設定が完了したら決定をタップします。
  ※ 予約時刻は24時間表示で入力してください。
- 「設定されました」と音声と表示でおしらせします。

4 ふろアイコンおよび「ふろ予約」が点灯して、ふろ予約が設定される

- 浴室リモコンにも「ふろ予約」が点灯します。
- 決定をタップする、または、約３秒後に、エコキュートのトップ画面に戻ります。

湯張りの予約（ふろ予約の解除）

◆ マルチエネルギーモニタ

2　　1,2

湯張りの予約を解除する場合

1 **予約中に メニュー をタップして、「ふろ予約」を選ぶ**

- 約 2 秒後、ふろ予約の「入」が表示されます。

2 **▼ をタップして「切」を選び、 決定 をタップする**

- 「設定されました」と音声と表示でおしらせします。

3 **ふろアイコンおよび「ふろ予約」が消灯して、ふろ予約が解除される**

- 決定 をタップする、または約3秒後に、エコキュートのトップ画面に戻ります。

- ふろ予約は、入浴時刻（湯張り完了時刻）の 30 分以上前におこなってください。30 分以内に予約した場合は、予約した時刻に湯張りが完了しないことがあります。
- 現在時刻が正確でないと、予約した時刻に湯張りが完了しません。
- ふろ予約は、湯張り動作が開始すると自動的に解除されますので、ふろ予約をおこなう場合は、毎回その都度予約操作をおこなってください。
- ふろ予約中に ふろ自動 、 追いだき 、 たし湯 、 さし水 を押すと、予約は解除されます。
  また、ふろ配管洗浄（配管洗浄）（☞ 155 ページ）を開始すると予約は解除されます。
- 湯張り中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、湯張り量が減り予約時刻までに湯張りが完了しないことがあります。
- 次の動作中はふろ予約できません。
  ふろ自動運転中、追いだき中、高温さし湯中、たし湯中、さし水中、ふろ配管洗浄（配管洗浄）中。
- 20 秒以上スイッチ操作がない場合は、設定内容は反映されずに、エコキュートのトップ画面に戻ります。

オプション設定

● 初期設定は、　　　　になっています。

マルチエネルギーモニタ

3秒以上の長押し

操作するマルチエネルギーモニタ	項目選択	設定項目（マルチエネルギーモニタ表示）	設定内容	設定・表示項目の変更	変更の確定／表示の終了	参照ページ
マルチエネルギーモニタ		保温　※1	ふろ保温運転の省エネ保温／通常保温を設定します。	省エネ保温⇔通常保温	確　定	70
	1回押し	保温時間	ふろ自動運転の保温時間を設定します。	0⇔1⇔2⇔3⇔4⇔5⇔6時間		
	2回押し	TEL登録	故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録します。	テンキーで電話番号を入力します。	登録確定	71
	3回押し	湯増し量	タンク湯増しの1回の湯増し量を設定します。	50L⇔100L⇔満タン	確　定	―
	4回押し	追いだき	追いだきの沸きあげ温度を設定します。	おふろの設定温度プラス 0℃⇔1℃⇔2℃⇔3℃ を設定します。		
	5回押し	ふろ自動洗浄	おふろの残り湯を排水したときに、ふろ配管の自動洗浄の有／無を設定します。	あり⇔なし		
	6回押し	ふろ凍結予防　※2	ふろポンプ凍結予防運転の有／無を設定します。	あり⇔なし		
	7回押し	浴室音量　※3	浴室リモコンの音量を設定します。	なし⇔小⇔中⇔大		
	8回押し	増設音量　※3 ※4	増設リモコンの音量を設定します。	なし⇔小⇔中⇔大		
	9回押し	浴室輝度	浴室リモコン表示部の明るさを設定します。	明⇔暗		
	10回押し	増設輝度　※4	増設リモコン表示部の明るさを設定します。	明⇔暗		
	11回押し	通話時間　※5	マルチエネルギーモニタと浴室リモコンの間で1回（一方向）に通話できる時間を設定します。	なし⇔10秒⇔20秒⇔30秒		
	12回押し	終了	オプション設定の終了を設定します。	する⇔しない 「しない」を選ぶと保温に戻ります。		

※1 運転モードが「おまかせ省エネ」「使いきり」の場合は、「省エネ保温」の設定となります。
※2 基本的にふろ凍結予防運転は「あり」で使用してください。ふろ凍結予防運転を「なし」にした場合は、ふろ凍結予防運転が働かなくなりふろ配管が凍結する場合があります。必ずふろ配管の凍結防止ヒーターの追加、保温材の追加等十分な処置をおこなってください。（凍結予防対策をしない、または不十分な対策によりふろ配管が凍結した場合の修理は有料です。）
※3 音量を「なし」に設定しても警告音と湯張り終了後のメロディは鳴ります。
※4 増設リモコン（別売部品）を使用した場合に表示します。
※5 通話時間を「なし」に設定すると通話できません。呼出音のみになります。

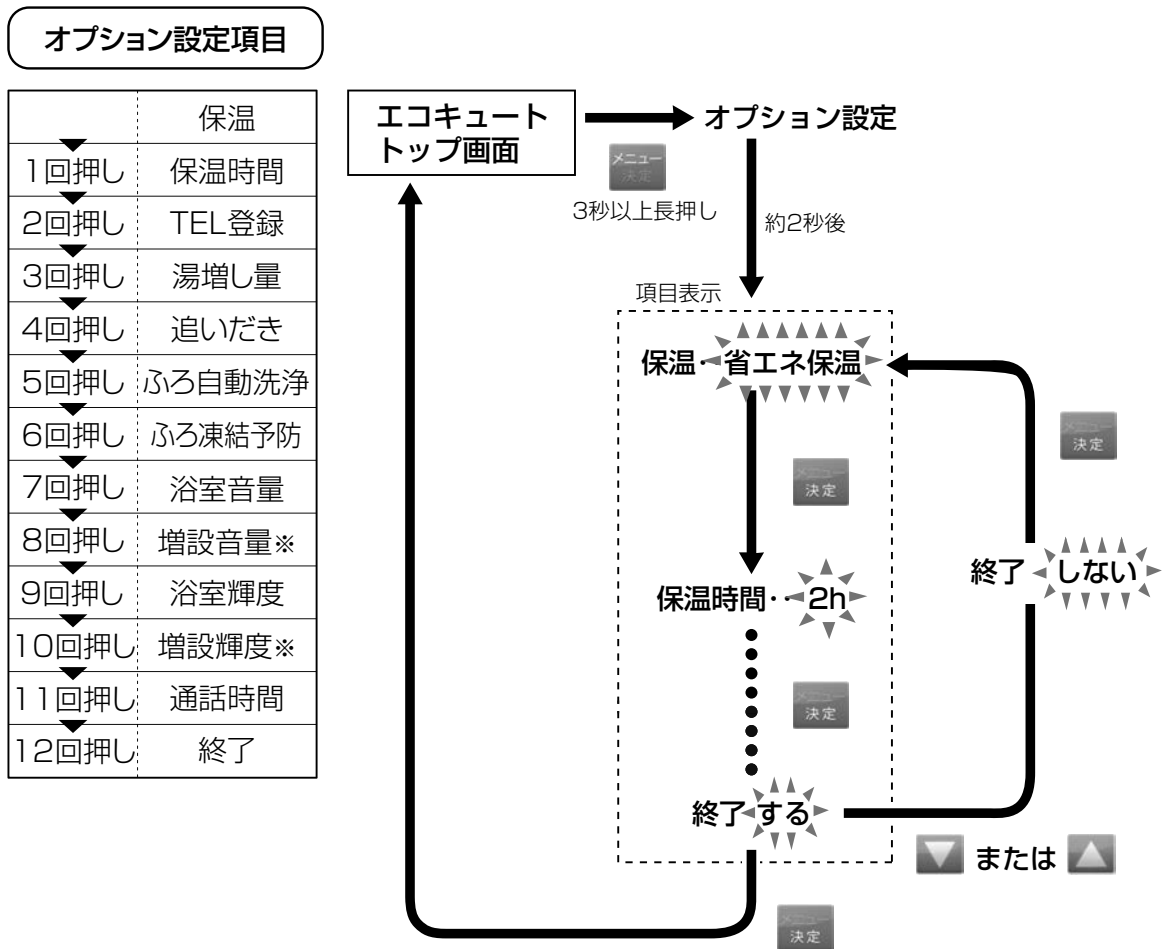
メモ

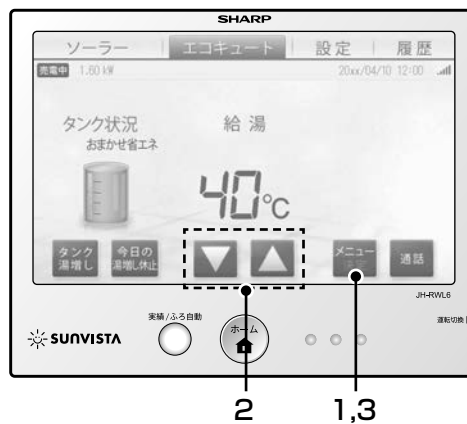
● 休止設定中は、オプション設定はできません。オプション設定をおこなうときは、休止設定を解除してからおこなってください。

● マルチエネルギーモニタの[メニュー]を３秒以上長押しすることにより設定をおこなうことができます。

操作概要

オプション設定項目

	保温
1回押し	保温時間
2回押し	TEL登録
3回押し	湯増し量
4回押し	追いだき
5回押し	ふろ自動洗浄
6回押し	ふろ凍結予防
7回押し	浴室音量
8回押し	増設音量※
9回押し	浴室輝度
10回押し	増設輝度※
11回押し	通話時間
12回押し	終了

※増設リモコン（別売部品）を使用した場合に表示します。

● 点滅している内容は、[▼]または[▲]をタップして設定を変更し、[決定]をタップして決定します。
● 20 秒以上スイッチ操作がない場合は、エコキュートのトップ画面に戻ります。

◆ マルチエネルギーモニタ

ふろ保温の種類

1 **[メニュー]を３秒以上長押しする**

● 「オプション設定」が表示され、約３秒後、「保温」の設定が表示されます。

2 **[▼]または[▲]をタップして、「省エネ保温」または「通常保温」を選ぶ**

● 運転モードが「おまかせ省エネ」「使いきり」の場合は、「省エネ保温」の設定となり、変更できません。

3 **[決定]をタップして決定する**

● 「設定されました」と音声と表示でおしらせし、約3秒後、「保温時間」の設定に進みます。

◆ マルチエネルギーモニタ表示部

ふろ保温時間

1 **[メニュー]を３秒以上長押しし、再度[メニュー]をタップして、「保温時間」を選ぶ**

2 **[▼]または[▲]をタップして、「保温時間」を選ぶ**

設定範囲（h）	0	1	2	3	4	5	6

● 保温運転を停止したいときは「0h」にしてください。

3 **[決定]をタップして決定する**

● 「設定されました」と音声と表示でおしらせし、約3秒後、「TEL登録」に進みます。

TEL 登録

故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録できます。

◆マルチエネルギーモニタ 表示部

1 **メニューを３秒以上長押しした後、メニューを２回タップして、「TEL 登録」を選ぶ**

● 約3秒後、登録画面が表示されます。

2 **入力枠をタップして、テンキーで登録する電話番号の数字を入力する**

● ［←］バックキーをタップすると番号が左側に向かって1文字ずつ消えます。
※ 入力枠には初期設定として、0120-525-365（☞181 ページ）が入力されています。

3 **決定をタップして決定する**

● 「通信しています」と表示後、「設定されました」と音声と表示でおしらせします。

TEL 登録以降の設定項目

TEL 登録以降の設定項目についても同様に、メニューをタップして、設定項目を選んでください。
設定内容についても同様に、▼ ▲をタップして、設定を変更します。
設定を変更すると「設定されました」の表示と音声でおしらせします。
初期設定値から変更する必要がなければ、メニューをタップします。

オプション設定を終了するとき

◆ マルチエネルギーモニタ 表示部

1 **「通話時間」を設定後、または、決定をタップして、「終了する」を選ぶ**

2 **決定をタップする**

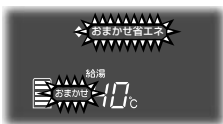
● エコキュートのトップ画面に戻ります。

3 **終了しない場合は、▼または▲をタップし「終了しない」を選択して、決定をタップする**

● オプション設定の最初の項目に戻ります。

メモ

● 20 秒以上スイッチ操作がない場合は、設定内容は反映されずに、エコキュートトップ画面に戻ります。

増設リモコンによる設定

● メニュー設定とオプション設定があります。

メニュー設定

● マルチエネルギーモニタと操作は同じです。マルチエネルギーモニタの操作をご覧ください。
● 初期設定は、　　　になっています。

項目選択 メニュー決定	設定項目（モニタ・リモコン表示）	設定内容	設定・表示項目の変更 ▼ ▲	変更の確定／表示の終了 メニュー決定
1回押し	**1.運転モード**	運転モードを設定します。	①運転モードの設定 **満タン(1週間)** ⇕ **おまかせ** ⇕ **おまかせ省エネ** ⇕ **使いきり** ②ふろ保温の設定 **省エネ保温⇔通常保温** ③ふろ保温時間の設定 **0⇔1⇔2⇔3⇔4⇔5⇔6時間**	確　定
2回押し	**2.ナビモード**	使用可能湯量などを表示します。	**使用可能湯量⇔1週間使用量⇔保温残り時間⇔サービス店TEL**	表示終了
3回押し	**3.ふろ予約**	湯張り予約の入／切、入浴できる時刻を設定します。	①湯張り予約の設定 **入⇔切** **②予約時刻の設定** 1分刻みで変更できます。 ※長押しで10分刻みになります。	確　定

設定項目（できること）	マルチエネルギーモニタの参照ページ	
	増設リモコン表示例	マルチエネルギーモニタ表示例
運転モードの変更	運転モードの変更（☞ 63 ページ）	
	1 運転モード 給湯 おまかせ 40℃ ／ おまかせ省エネ 給湯 おまかせ 40℃	
ナビモード	ナビモード（☞ 64 ページ）	
	2 ナビモード 給湯 おまかせ 40℃	
湯張りの予約（ふろ予約）	湯張りの予約（☞ 66 ページ）	
	3 ふろ予約 給湯 おまかせ 40℃ ／ 予約 6:00 給湯 おまかせ 40℃	予約時刻はテンキーで設定可能

オプション設定

● 初期設定は、[網掛け]になっています。

● マルチエネルギーモニタまたは浴室リモコンで設定している内容は、増設リモコンにも反映されます。

3秒以上の長押し

メニュー決定 → メニュー決定 → ▼ ▲ → メニュー決定

項目選択 メニュー決定	設定項目（リモコン表示）	設定内容	設定・表示項目の変更 ▼ ▲	変更の確定／表示の終了 メニュー決定
1回押し	保温 ※1	ふろ保温運転の省エネ保温／通常保温を設定します。	省エネ保温⇔通常保温	確　定
2回押し	保温時間	ふろ自動運転の保温時間を設定します。	0⇔1⇔2⇔3⇔4⇔5⇔6時間	確　定
3回押し	TEL登録	故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録します。	▼ ▲ ボタンで数字を増減し、メニュー決定ボタンで1桁右に移動します。	右端の桁を選択後、登録確定
4回押し	湯増し量	タンク湯増しの1回の湯増し量を設定します。	50L⇔100L⇔満タン	確　定
5回押し	追いだき	追いだきの沸きあげ温度を設定します。	おふろの設定温度プラス 0℃⇔1℃⇔2℃⇔3℃ を設定します。	確　定
6回押し	ふろ自動洗浄	おふろの残り湯を排水したときに、ふろ配管の自動洗浄の有／無を設定します。	有⇔無	確　定
7回押し	ふろ凍結予防 ※2	ふろポンプ凍結予防運転の有／無を設定します。	有⇔無	確　定
8回押し	浴室音量 ※3	浴室リモコンの音量を設定します。	なし⇔小⇔中⇔大	確　定
9回押し	増設音量 ※3	増設リモコンの音量を設定します。	なし⇔小⇔中⇔大	確　定
10回押し	浴室輝度	浴室リモコン表示部の明るさを設定します。	明⇔暗	確　定
11回押し	増設輝度	増設リモコン表示部の明るさを設定します。	明⇔暗	確　定
12回押し	通話時間 ※4	マルチエネルギーモニタと浴室リモコンの間で1回（一方向）に通話できる時間を設定します。	なし⇔10秒⇔20秒⇔30秒	確　定
13回押し	終了	オプション設定の終了を設定します。	する⇔しない「しない」を選ぶと保温に戻ります。	確　定

※1 運転モードが「おまかせ省エネ」「使いきり」の場合は、「省エネ保温」の設定となります。

※2 基本的にふろ凍結予防運転は「有」で使用してください。ふろ凍結予防運転を「無」にした場合は、ふろ凍結予防運転が働かなくなりふろ配管が凍結する場合があります。必ずふろ配管の凍結防止ヒーターの追加、保温材の追加等十分な処置をおこなってください。
（凍結予防対策をしない、または不十分な対策によりふろ配管が凍結した場合の修理は有料です。）

※3 音量を「なし」に設定しても警告音と湯張り終了後のメロディは鳴ります。

※4 通話時間を「なし」に設定すると通話できません。呼出音のみになります。

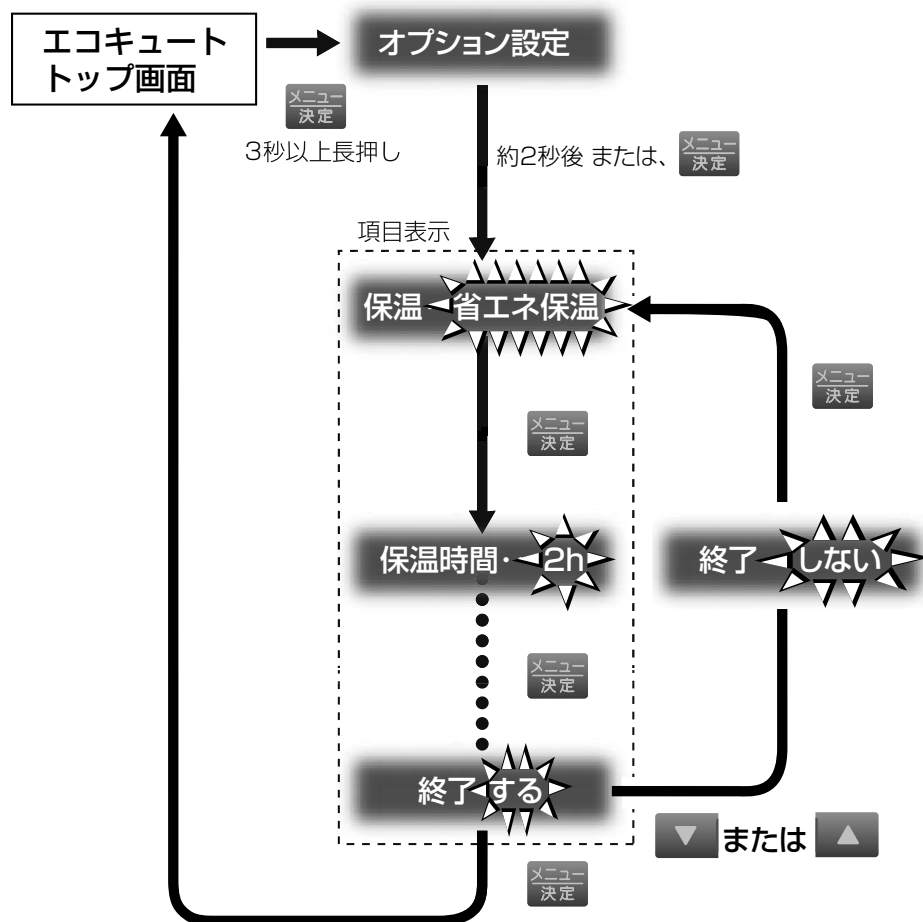
メモ

● 休止設定中は、オプション設定はできません。オプション設定をおこなうときは、休止設定を解除してからおこなってください。

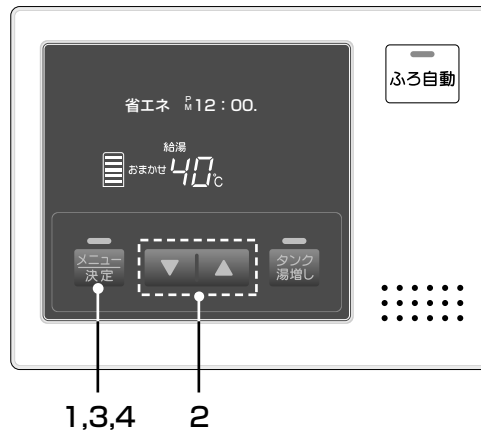
- 増設リモコンの メニュー決定 を３秒以上長押しすることにより設定をおこなうことができます。
- マルチエネルギーモニタでも操作をおこなうことができます。

操作概要

オプション設定項目

1回押し	保温
2回押し	保温時間
3回押し	TEL登録
4回押し	湯増し量
5回押し	追いだき
6回押し	ふろ自動洗浄
7回押し	ふろ凍結予防
8回押し	浴室音量
9回押し	増設音量
10回押し	浴室輝度
11回押し	増設輝度
12回押し	通話時間
13回押し	終了

- 点滅している内容は、▼ または ▲ を押して設定を変更し、 メニュー決定 を押して決定します。
- 20 秒以上スイッチ操作がない場合はオプション設定を終了します。

◆ 増設リモコン

1,3,4　2

ふろ保温の種類

1 [メニュー決定]を 3 秒以上長押しする

● 「オプション設定」が表示され、約 2 秒後、または、[メニュー決定] を押すことで、「保温」の設定が表示されます。

2 [▼] または [▲] を押して、「省エネ保温」または「通常保温」を選ぶ

● 運転モードが「おまかせ省エネ」「使いきり」の場合は、「省エネ保温」の設定となり、変更できません。

3 [メニュー決定]を押して決定する

● 「設定されました」と音声と表示でおしらせし、約3秒後、「保温時間」の設定に進みます。

ふろ保温時間

1 [メニュー決定]を 3 秒以上長押しし、[メニュー決定]を 2 回押して、「保温時間」を選ぶ

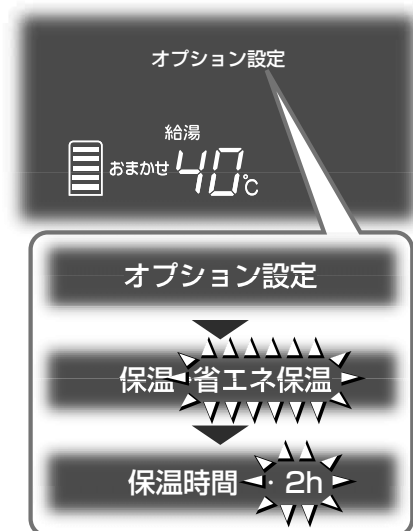
2 [▼] または [▲] を押して、「保温時間」を選ぶ

設定範囲（h）	0	1	2	3	4	5	6

● 保温運転を停止したいときは「0h」にしてください。

3 [メニュー決定]を押して決定する

● 「設定されました」と音声と表示でおしらせし、約 3 秒後、「TEL 登録」に進みます。

◆ 増設リモコン表示部

TEL 登録

故障時の連絡先（サービス店）の電話番号を登録できます。

1 メニュー決定を３秒以上長押しした後、メニュー決定を３回押して、「TEL 登録」を選ぶ

● 約3秒後、電話番号の登録画面が表示されます。

2 ▼または▲を押して、登録する電話番号の数字を入力する

3 メニュー決定を押して１桁ずつ決定する

● メニュー決定を押すと、表示の点滅部が１桁右に移動します。

4 手順２、３の動作を繰り返し、電話番号を入力する

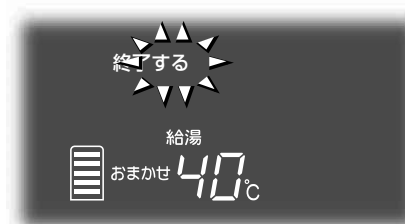
● 電話番号を入力したあと、メニュー決定を押すと、「設定されました」と音声と表示でおしらせします。電話番号は、番号表示の右端（13 桁）まで入力する必要があります。電話番号が 13 桁以下の場合は、電話番号を入力したあと、番号表示の右端まで「_」を入力してください。

◆ 増設リモコン表示部

オプション設定を終了するとき

1 メニュー決定を押して「終了する」を選ぶ

2 メニュー決定を押して決定する

◆ 増設リモコン表示部

● 機器に異常が発生したとき、マルチエネルギーモニタにエラー表示と登録した電話番号が交互に表示されます。
● 設定された電話番号は、ナビモードで確認することができます。（☞ 64 ページ）
● 20 秒以上スイッチ操作がない場合は、設定内容は反映されずに、オプション設定を終了します。

発電などの実績・履歴を見る

※電圧上昇抑制については、143 ページをご確認ください。

今日の実績をみる

当日 0 時からの発電や消費などの実績を確認できます。

1 実績/ふろ自動 を押す、または、実績 をタップする

●エコキュートを接続していない場合は、実績/ふろ自動 を押します。

●エコキュートを接続している場合は、実績 をタップします。

2 今日の実績を確認する

◆画面の説明（グラフ表示）

- 発電／消費量グラフ：
  発電量を棒グラフで、消費量を折れ線グラフで表示します。
- 積算発電量：
  期間の初めからの積算発電量です。
- 積算外部発電量：
  期間の初めからの外部発電機の発電量です。外部発電機をお使いの場合のみ、積算発電量の下に表示されます。
- 積算消費量：
  期間の初めからの積算消費量です。
- 自給率：
  期間の初めからの電力自給率です。（発電量＋外部発電量）÷消費量× 100 の値になります。

◆ボタンの機能（グラフ表示）

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：履歴のトップ画面に戻ります。
- 前日との比較：表示形式を比較表示に切り替えます。表示しているグラフの期間によってボタンの名前が変わります。
- パワコン別：表示形式を太陽電池パワーコンディショナ別の表示に切り替えます。太陽電池パワーコンディショナを複数台ご使用の場合に表示されます。
- 数値：表示形式を数値表示に切り替えます。

メモ

●「今日の実績」「1 時間ごとの履歴」表示では、ある時間のデータは、その時間の 00 分から 59 分までの積算データとなります。
例えば、9 時のデータは、9 時 00 分から 9 時 59 分までの積算データです。

●トップ画面の消費電力と履歴の消費量では計算式が異なるため、蓄電池システムを設置されている場合、トップ画面に表示される消費電力と履歴の消費量の値が異なることがあります。

履歴の種類

発電量や売電量／買電量などの履歴を確認できます。
履歴には以下の種類があり、表示期間を選ぶ、グラフと数値を切り替えるなど、さまざまな形で確認できます。

発電量／消費量履歴：☞ 80 ～ 82 ページ

過去に発電した電力量と、消費した電力量を確認できます。

（数値表示に切り替えることもできます）

売電量／買電量履歴：☞ 83 ～ 84 ページ

過去に電力会社へ売った電力量と、電力会社から買った電力量を確認できます。

電気料金換算：☞ 85 ページ

発電量や売電量を電気料金に換算して確認できます。

運用開始からの積算履歴：☞ 86 ページ

この製品で発電を開始してからの積算発電量や積算消費量、積算売電量／買電量などを確認できます。

環境貢献：☞ 87 ページ

太陽光発電によって、どれだけ CO_2（二酸化炭素）排出量を削減できたかを確認できます。

省エネナビ：☞ 88 ページ

月ごとの省エネ率を確認できます。

蓄電池残量履歴：☞ 88 ページ

蓄電池残量の変化を確認できます。

お湯の使用量の履歴：☞ 89 ～ 90 ページ

過去に使用したお湯の使用量を確認できます。

（数値表示に切り替えることもできます）

以下の操作で各種の履歴を確認できます。

発電量／消費量の履歴を見る

発電量および消費量の履歴を確認できます。

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で 発電／消費量 をタップする

エコキュートを接続していない場合は 実績/ふろ自動 を押すこと、エコキュートを接続している場合は、ソーラーのトップ画面で 実績 をタップすることでも、発電／消費量を表示できます。

2 履歴を確認する

◆画面の説明（グラフ表示）

- 発電／消費量グラフ：
  発電量を棒グラフで、消費量を折れ線グラフで表示します。
- 積算発電量：
  期間の初めからの積算発電量です。
- 積算外部発電量：
  期間の初めからの外部発電機の発電量です。外部発電機をお使いの場合のみ、積算発電量の下に表示されます。
- 積算消費量：
  期間の初めからの積算消費量です。
- 自給率：
  期間の初めからの電力自給率です。
  （発電量＋外部発電量）÷消費量× 100 の値になります。

◆ボタンの機能（グラフ表示）

- 日間 月間 年間 ：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る ：履歴のトップ画面に戻ります。
- 今月との比較 ：表示形式を比較表示に切り替えます。表示しているグラフの期間によってボタンの名前が変わります。
- パワコン別 ：表示形式を太陽電池パワーコンディショナ別の表示に切り替えます。太陽電池パワーコンディショナを複数台ご使用の場合に表示されます。
- 数値 ：表示形式を数値表示に切り替えます。

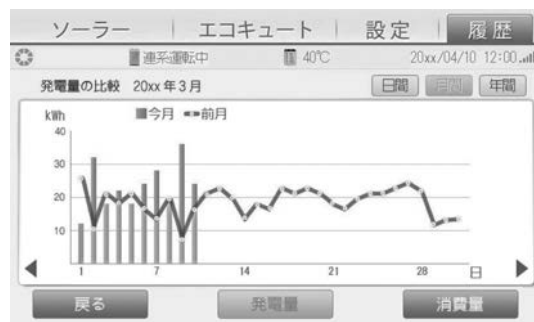
メモ

● 「日間の履歴」表示では、ある時間のデータは、その時間の 00 分から 59 分までの積算データとなります。例えば、9 時のデータは、9 時 00 分から 9 時 59 分までの積算データです。

●トップ画面の消費電力と履歴の消費量では計算式が異なるため、蓄電池システムを設置されている場合、トップ画面に表示される消費電力と履歴の消費量の値が異なることがあります。

	発電量 (kWh)	ピーク発電 (kW)	外部発電量 (kWh)	消費量 (kWh)	自家消費量 (kWh)	自給率 (%)
1日	13.1	2.3	5.2	10.5	5.3	174
2日	13.5	2.8	6.2	18.5	4.7	106
3日	15.2	2.7	5.8	16.2	3.1	130
4日	14.8	2.5	5.3	14.6	3.6	138
5日	13.5	2.6	7.6	20.3	9.5	104
6日	17.5	2.4	5.7	25.8	5.2	90
当月	405.0	2.8	195.0	600.0	200.0	100

◆画面の説明（数値表示）

- 発電量：
  期間あたりの発電電力量です。
- ピーク発電：
  1 日の瞬間最大電力の値です。「月間」でのみ表示されます。
- 外部発電量：
  期間あたりの外部発電機の発電電力量です。外部発電機をお使いの場合に表示されます。
- 消費量：
  期間あたりの消費電力量です。
- 自家消費量：
  発電した電力量のうち、自家で消費した分の電力量です。
- 自給率：
  期間の初めからの電力自給率です。（発電量＋外部発電量）÷消費量× 100 の値になります。

◆画面の説明（比較表示）

- 比較グラフ：
  選択している期間の発電量または消費量を棒グラフで、比較対象の同期間の発電量または消費量を折れ線グラフで表示します。

◆ボタンの機能（数値表示）

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：発電／消費量グラフ表示に戻ります。
- 前へ：前の期間（6 時間前／ 6 日前／ 6 ヶ月前）の履歴に表示を切り替えます。
- 次へ：次の期間（6 時間後／ 6 日後／ 6 ヶ月後）の履歴に表示を切り替えます。

◆ボタンの機能（比較表示）

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：発電／消費量グラフ表示に戻ります。
- 発電量：発電量の比較グラフに切り替えます。
- 消費量：消費量の比較グラフに切り替えます。

● 日間表示の時間ごとのデータの 1 日分の合計と、月間表示の日ごとのデータとは合わない場合があります。同様に月間表示の日ごとのデータの 1 ヶ月分の合計と、年間表示の月ごとのデータとは合わない場合があります。

■パワーコンディショナ別に発電量の履歴を見る

複数の太陽電池パワーコンディショナをお使いの場合に、太陽電池パワーコンディショナごとの発電量を確認できます。

◆画面の説明（パワーコンディショナ別表示（グラフ））

• 発電量（パワーコンディショナ別）グラフ：
選択されている太陽電池パワーコンディショナの発電電力量を折れ線グラフで表示します。

※画面内ではパワーコンディショナのことをパワコンと表現している箇所があります。

※蓄電池パワーコンディショナは表示されません。

◆画面の説明（パワーコンディショナ別表示（数値））

• 発電量表：
各太陽電池パワーコンディショナの期間あたりの発電電力量を示します。

※蓄電池パワーコンディショナは表示されません。

◆ボタンの機能（パワーコンディショナ別表示）

• 日間 月間 年間 ：
表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。

• ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。

• ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。

• 戻る ：発電／消費量グラフ表示に戻ります。

• パワコン○ ：表示している太陽電池パワーコンディショナを切り替えます。
蓄電池パワーコンディショナは表示されません。

• 数値 ：表示形式を数値表示に切り替えます。

◆ボタンの機能（パワーコンディショナ別表示（数値））

• 日間 月間 年間 ：
表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。

• ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。

• ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。

• 戻る ：パワコン別表示（グラフ）表示に戻ります。

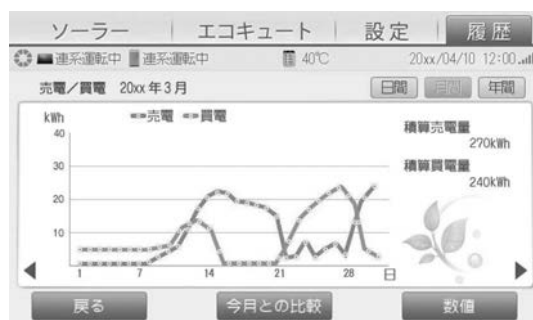
• 前へ ：前の期間（6 時間前／ 6 日前／ 6 ヶ月前）の履歴に表示を切り替えます。

• 次へ ：次の期間（6 時間後／ 6 日後／ 6 ヶ月後）の履歴に表示を切り替えます。

売電量／買電量の履歴を見る

売電量および買電量の履歴を確認できます。

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で［売電／買電］をタップする

2 履歴を確認する

◆**画面の説明（グラフ表示）**

- 売電／買電グラフ：
  売電量および買電量を折れ線グラフで表示します。
- 積算売電量：
  期間の初めからの積算売電量です。
- 積算買電量：
  期間の初めからの積算買電量です。

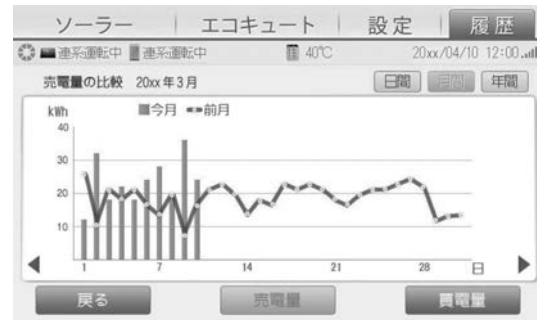
◆**ボタンの機能（グラフ表示）**

- ［日間］［月間］［年間］：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- ［戻る］：履歴のトップ画面に戻ります。
- ［今月との比較］：表示形式を比較表示に切り替えます。表示しているグラフの期間によってボタンの名前が変わります。
- ［数値］：表示形式を数値表示に切り替えます。

◆画面の説明（数値表示）

- 売電量：
  期間あたりの売電電力量です。
- 買電量：
  期間あたりの買電電力量です。

◆ボタンの機能（数値表示）

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：売電量／買電量グラフ表示に戻ります。
- 前へ：前の期間（6 時間前／ 6 日前／ 6 ヶ月前）の履歴に表示を切り替えます。
- 次へ：次の期間（6 時間後／ 6 日後／ 6 ヶ月後）の履歴に表示を切り替えます。

◆画面の説明（比較表示）

- 比較グラフ：
  選択している期間の売電量または買電量を棒グラフで、比較対象の同期間の売電量または買電量を折れ線グラフで表示します。

◆ボタンの機能（比較表示）

- 日間 月間 年間：
  表示の時間単位は日間、月間、年間の 3 種類から選びます。
  日間の表示では過去 35 日分、月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前日／前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌日／翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：売電量／買電量グラフ表示に戻ります。
- 売電量：売電量の比較グラフに切り替えます。
- 買電量：買電量の比較グラフに切り替えます。

電気料金換算値を見る

電気料金に換算した自家消費量、売電量、買電量の各値を確認できます。グラフ表示では1年ごとの表示、数値表示では6ヶ月ごとの表示になります。また、表示される電力量および料金の値は目安です。電気料金換算値にもとづいて計算された全額と実際の電気料金は異なります。

初期設定では、換算用の電気料金は設定されていません。確認するには、あらかじめ換算料金を設定しておく必要があります。（☞98ページ）

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で 電気料金換算 をタップする

2 履歴を確認する

ソーラー | エコキュート | 設定 | 履歴

連系運転中 連系運転中 40℃ 20xx/04/10 12:00

電気料金換算（めやす） 20xx年

	自家消費量換算（円）	売電量換算（円）	買電量換算（円）
1月	7500	11000	17000
2月	7500	10000	14000
3月	9500	9000	13000
4月	10000	16000	12000
5月	11000	14000	11000
6月	9000	11000	8000
当年	45200	124000	146000

戻る　前へ　次へ　積算

◆画面の説明（グラフ表示）

- 電気料金換算（めやす）グラフ：
  換算料金を棒グラフで表示します。
- 自家消費量換算：
  発電した電力量のうち、自家で消費した分の電力量を料金に換算した値です。
- 売電量換算：
  売電電力量を料金に換算した値です。
- 買電量換算：
  買電電力量を料金に換算した値です。

◆ボタンの機能（グラフ表示）

- ◀：前の期間（前年）の履歴表示に切り替えます。
- ▶：次の期間（翌年）の履歴表示に切り替えます。
- 戻る：履歴のトップ画面に戻ります。
- 数値：表示形式を数値表示に切り替えます。

◆画面の説明（数値表示）

- 自家消費量換算：
  発電した電力量のうち、自家で消費した分の電力量を料金に換算した値です。
- 売電量換算：
  売電電力量を料金に換算した値です。
- 買電量換算：
  買電電力量を料金に換算した値です。

◆ボタンの機能（数値表示）

- ◀：前の期間（前年）の履歴表示に切り替えます。
- ▶：次の期間（翌年）の履歴表示に切り替えます。
- 戻る：数値表示からグラフ表示に戻ります。
- 前へ：前の期間（6ヶ月前）の履歴表示に切り替えます。
- 次へ：次の期間（6ヶ月後）の履歴表示に切り替えます。
- 積算：自家消費量換算値と売電量換算値の積算値を表示します。この製品で発電を開始してからの総計になります。
  戻るで数値表示に戻ります。

メモ

●従量電灯契約には対応していません。

運用開始からの履歴を見る

本製品で運用を開始してからの積算発電量や積算消費量、積算売電量／買電量などを確認できます。

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で［運用開始からの積算］をタップする

2 履歴を確認する

◆画面の説明

- 発電量：
  運用開始からの積算発電電力量です。
- 消費量：
  運用開始からの積算消費電力量です。
- 売電量：
  運用開始からの積算売電電力量です。
- 買電量：
  運用開始からの積算買電電力量です。
- 自給率：
  運用開始からの電力自給率です。
  （発電量＋外部発電量）÷消費量× 100
  の値になります。
- 外部発電量：
  運用開始からの外部発電機の積算発電電力量です。外部発電機をお使いの場合に表示されます。

◆ボタンの機能

- ［戻る］：履歴のトップ画面に戻ります。

●運用開始からの積算量（発電量）と運用開始記念日の積算発電量は異なる場合があります。

環境貢献度の履歴を見る

発電量から換算した CO_2（二酸化炭素）削減量の履歴を確認できます。さらに、それを樹木の本数や石油消費の削減量に置きかえた環境貢献度を確認できます。

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で 環境貢献 をタップする

2 履歴を確認する

◆**画面の説明**

- CO_2 削減量：
  太陽光発電を石油火力発電と比較した場合の排出 CO_2 の削減量です。
- 成木にすると：
  CO_2 削減量の値が、樹木何本分の CO_2 の吸収量に相当するかを示したものです。
- 石油にすると：
  CO_2 削減量の値から、火力発電で使用する石油をどれだけ節約できたかを求めたものです。

◆**ボタンの機能**

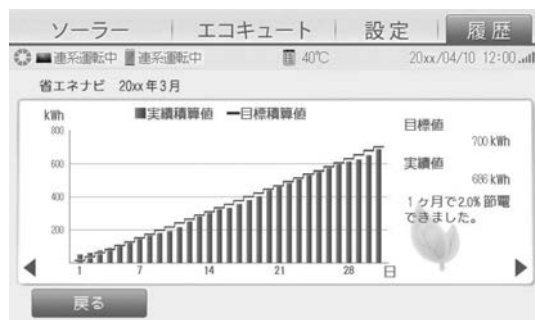
- 戻る ：履歴のトップ画面に戻ります。

● CO_2 削減量、成木換算値、石油換算値の計算式は以下のとおりです。
CO_2 削減量 ：「太陽電池の発電量（kWh）」×「0.3145kg-CO_2/kWh」※
成木換算値 ：「CO_2 削減量 (kg-CO_2)」/「14(kg-CO_2/ 本)」
石油換算値 ：「太陽電池の発電量（kWh）」×「0.227（ℓ /kWh）」
※ CO_2 削減量の表示は目安であり、結晶太陽電池をもとにした換算係数（0.3145kg-CO_2/kWh）で計算されています。

省エネナビの履歴を見る

設定した目標消費量に対して、どれだけ省エネを達成できているか確認できます。1ヶ月ごとの表示になります。
初期設定では、目標消費量は設定されていません。省エネ目標設定で目標消費量を設定してください。（☞101 ページ）

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で 省エネナビ をタップする

2 省エネナビを確認する

◆画面の説明（比較表示）

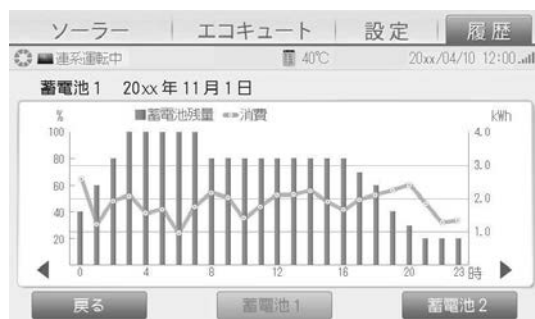
- 省エネナビグラフ：
  目標値を折れ線グラフで、実績値を棒グラフで表示します。
- 目標値：
  設定した目標消費電力量（☞101 ページ）です。
- 実績値：
  その月で実際に使用した電力量です。

◆ボタンの機能

- ◀：前月の表示に切り替えます。
- ▶：翌月の表示に切り替えます。
- 戻る：履歴のトップ画面に戻ります。

蓄電池残量の履歴を見る

蓄電池残量の履歴が確認できます。

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で 蓄電池残量 をタップする

2 履歴を確認する

◆画面の説明

- 蓄電池残量：
  日間の蓄電池残量、消費量を表示します。
  蓄電池残量を棒グラフで表示し、消費量を折れ線グラフで表示します。
  目盛補助線は右側縦軸の消費量に基づいて引かれています。
  蓄電池残量は 10%刻みで表示します。
  蓄電池パワーコンディショナが 1 台の場合は 蓄電池1 、蓄電池2 は表示されません。

◆ボタンの機能

- ◀：前日の表示に切り替えます。
- ▶：翌日の表示に切り替えます。
- 戻る：履歴のトップ画面に戻ります。
- 蓄電池○：蓄電池残量の履歴を確認する蓄電池を選択します。

お湯の使用量の履歴を見る

お湯の使用量の履歴を確認できます。

1 履歴のタブをタップし、履歴のトップ画面で お湯 をタップする

2 履歴を確認する

◆**画面の説明（グラフ表示）**

- お湯の使用量のグラフ：
  お湯の使用量を棒グラフで表示します。
- 積算使用量：
  期間の初めからの積算使用量です。

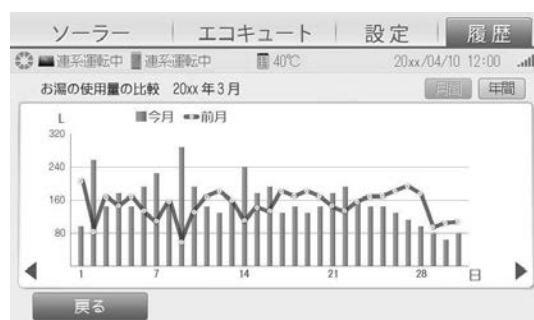
◆**ボタンの機能（グラフ表示）**

- 月間 年間：表示の時間単位は月間、年間の 2 種類から選びます。月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
- ◀：前の期間（前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
- ▶：次の期間（翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
- 戻る：履歴のトップ画面に戻ります。
- 今月との比較：表示形式を比較表示に切り替えます。表示しているグラフの期間によってボタンの名前が変わります。
- 数値：表示形式を数値表示に切り替えます。

◆画面の説明（数値表示）

• お湯の使用量：
期間あたりのお湯の使用量です。

◆ボタンの機能（数値表示）

• 月間 年間：表示の時間単位は月間、年間の 2 種類から選びます。月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
• ◀：前の期間（前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
• ▶：次の期間（翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
• 戻る：お湯使用量グラフ表示に戻ります。
• 前へ：前の期間（6 日前／ 6 ヶ月前）の履歴に表示を切り替えます。
• 次へ：次の期間（6 日後／ 6 ヶ月後）の履歴に表示を切り替えます。

◆画面の説明（比較表示）

• 比較グラフ：
選択している期間のお湯の使用量を棒グラフで、比較対象の同期間のお湯の使用量を折れ線グラフで表示します。

◆ボタンの機能（比較表示）

• 月間 年間：表示の時間単位は月間、年間の 2 種類から選びます。月間の表示では過去 13 ヶ月分、年間の表示では過去 10 年分まで表示できます。
• ◀：前の期間（前月／前年）の履歴に表示を切り替えます。
• ▶：次の期間（翌月／翌年）の履歴に表示を切り替えます。
• 戻る：お湯使用量グラフ表示に戻ります。

各種の設定をする

※蓄電池システムを接続している場合は、蓄電池運転モード、蓄電池運転情報、蓄電池キープ残量の設定ができます。

※エコキュートを接続している場合は、エコキュート自動消灯設定、エコキュートのタンク色選択、エコキュートの電力契約の設定ができます。

※ネットワーク設定は 115 ～ 127 ページ、エコキュート休止設定は 163 ページ、エコキュート長期停止設定は 164 ～ 166 ページをご確認ください。

日時の設定を修正する

マルチエネルギーモニタにはあらかじめ日付が設定されていますが、実際の日時と異なるときは、以下の操作で修正してください。

ご注意

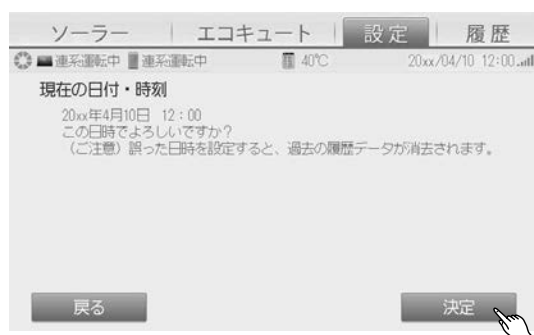
◆**日時の修正時に、誤った日時を設定すると、履歴データが消えてしまうことがあります。消えた履歴データは元に戻せませんのでご注意ください。**

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 日付・時刻 をタップする

「時刻を合わせてください」と音声でおしらせし、日付・時刻の設定画面が表示されます。

2 日時を修正して、 決定 をタップする

「年」の入力枠をタップし、右のテンキーで年を入力します。次に「月」の入力枠をタップし、右のテンキーで入力します。同様に、「日」「時」「分」を入力し、設定が完了したら、 決定 をタップします。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定のトップ画面に戻ります。

3 画面の内容を確認して 決定 をタップする

「設定されました」と音声でおしらせし、設定のトップ画面に戻ります。修正した日時が画面右上に表示されます。

- 戻る ：日付・時刻設定画面に戻ります。

●Web モニタリングサービスをご利用の場合は、モニタリングセンターと通信したときに、自動的に日時が修正されることがあります。

ディスプレイの明るさと点灯時間を設定する

ディスプレイ表示は、見やすい明るさに設定できます。
また、ディスプレイには、一定時間マルチエネルギーモニタを操作しないと、省エネのため自動的に表示を消す機能があります。表示を消すまでの時間は、使いやすい長さに設定できます。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で［明るさ点灯時間］をタップする

明るさと点灯時間の設定画面が表示されます。

2 画面の明るさと点灯時間を選択して、［決定］をタップする

画面の明るさは 5 段階に変わります。初期設定では明るさ 4 に設定されています。
［＋］をタップすると、明るくなり、
［－］をタップすると、暗くなります。
スライダーを指で操作することもできます。

点灯時間は初期設定では「1 分」に設定されています。

点灯時間を 3 分以上に設定した場合、1 分間マルチエネルギーモニタを操作しないと、画面の明るさが半減します。

- ［決定］：「設定されました」と音声でおしらせし、内容を反映して、設定のトップ画面に戻ります。
- ［戻る］：設定内容を反映せずに、設定のトップ画面に戻ります。

● 待ち受け画像（☞ 95 ～ 96 ページ）を表示させるときは、点灯時間を 10 分以上に設定してください。

運用開始日を変更する

最初に通電された日付が自動で設定されています。運用開始日を変更したいときは、以下の操作をしてください。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 運用開始日 をタップする

運用開始日の設定画面が表示されます。

2 運用開始日を入力し、 決定 をタップする

「年」の入力枠をタップし、右のテンキーで年を入力します。
次に、「月」の入力枠をタップし、右のテンキーで月を入力します。最後に、「日」の入力枠をタップし、右のテンキーで、日を入力します。設定が完了したら、 決定 をタップします。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定のトップ画面に戻ります。

3 画面の内容を確認して 決定 をタップする

「設定されました」と音声でおしらせし、運用開始日が設定され、設定のトップ画面に戻ります。

- 戻る ：運用開始日入力画面に戻ります。

画面設定をする

ホーム画面、待ち受け画面、ソーラーのトップ画面の発電量の表示形式を設定します。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で [画面設定] をタップする**

画面設定のメニュー画面が表示されます。

※以下の条件では、（2）待ち受け画面設定（☞ 96 ページ）に直接移行します。

- 太陽電池パワーコンディショナのみ、または、太陽電池パワーコンディショナと蓄電池パワーコンディショナのみ接続しているとき
- 蓄電池パワーコンディショナのみ、または、蓄電池パワーコンディショナと外部発電機のみ接続しているとき
- エコキュートのみ、または、エコキュートと外部発電機のみ接続しているとき

2 **設定する項目をタップする**

（1）ホーム画面設定（☞ 95 ページ）
（2）待ち受け画面設定（☞ 96 ページ）
（3）表示設定（☞ 97 ページ）

※エコキュートが接続されていない場合は、「ホーム画面設定」は表示されません。

※以下の条件では、「表示設定」は表示されません。

- 太陽電池パワーコンディショナと外部発電機をどちらか 1 台接続しているとき
- 太陽電池パワーコンディショナと外部発電機をどちらも接続していないとき

（1）ホーム画面設定

ホームボタン（ホーム）を押したときに移行する画面を設定します。

1 **ホーム画面を選ぶ**

［ソーラー / 蓄電池］を選ぶと、ソーラーのトップ画面（☞ 28 ページ）をホーム画面として設定します。
［エコキュート］を選ぶと、エコキュートのトップ画面（☞ 36 ページ）をホーム画面として設定します。
選択すると、外枠が青色に変わり、「設定されました」と音声でおしらせして、設定のトップ画面に戻ります。

- [戻る]：画面設定選択画面に戻ります。

(2) 待ち受け画面設定

待ち受け画像を表示させるときは、ディスプレイの点灯時間（☞ 93 ページ）を 10 分以上に設定してください。
約 5 分間マルチエネルギーモニタを操作しないと、ディスプレイに待ち受け画像が表示されます。表示できる画像はあらかじめ 2 種類用意されており、Web モニタリングサービス（☞ 112 ～ 134 ページ）をお使いのときは、さらにお好きな画像を 4 種類使用できます。
初期設定では、待ち受け画像を表示しない設定になっています。

1 **表示種別および画像を選択して、決定をタップする**

「表示しない」を選んだときは、待ち受け画像を表示しない設定になります。
「プリセット画像」を選んだときは 2 種類の画像が表示され、「ダウンロード画像」を選んだときは最大 4 種類の画像が表示されます。
画像を複数枚選択することで、待ち受け画像を自動切替表示することができます。

- 戻る：設定内容を反映せずに、画面設定選択画面に戻ります。

2 **画面の内容を確認して、決定をタップする**

複数枚画像を設定した場合は、30 秒ごとに順次画像を表示します。未設定の場合は、待ち受け画面は表示されません。

- 決定：「設定されました」と音声でおしらせし、設定内容を反映して、設定のトップ画面に戻ります。
- 戻る：待ち受け画面設定に戻ります。

● パソコン用サイトから登録された待ち受け画像は、夜間（22 時～ 4 時）のモニタリング定期通信でマルチエネルギーモニタに転送されます。そのため、夜間に待ち受け画像を登録すると、翌日の夜間までデータ転送されないことがあります。また、アップロードした画像によっては待ち受け画面に正しく表示されないことがあります。

● ダウンロード画像は最大 4 枚まで登録されます。4 枚を超える画像をダウンロードした場合は、登録の古い順に削除されます。

(3) 表示設定

複数の太陽電池パワーコンディショナをご使用のときは、ソーラーのトップ画面の発電電力値を各太陽電池パワーコンディショナの合計で表示するか、太陽電池パワーコンディショナごとに表示するかを選択できます。なお、太陽電池パワーコンディショナを 1 台のみご使用のときは、「個別表示」は表示されません。

1 **表示設定を選択し、タップする**

- トータル表示（外部発電含まず）
  発電電力値を各太陽電池パワーコンディショナの合計で表示するときは、この項目を選びます。
- トータル表示（外部発電含む）
  発電電力値を各太陽電池パワーコンディショナと外部発電機の合計で表示するときは、この項目を選びます。
- 個別表示
  発電電力値を太陽電池パワーコンディショナごとに表示するときは、この項目を選びます。

選択すると、外枠が青色に変わり、「設定されました」と音声でおしらせして、設定のトップ画面に戻ります。

初期設定では「トータル表示（外部発電含まず）」に設定されています。

- 戻る ：画面設定画面に戻ります。

外部発電機が接続されていないときは、「トータル表示（外部発電含む）」「トータル表示（外部発電含まず）」は表示されず、「トータル表示」と表示されます。

トータル表示（外部発電含まず）

各太陽電池パワーコンディショナの合計で表示

個別表示

太陽電池パワーコンディショナごとに表示

トータル表示（外部発電含む）

各太陽電池パワーコンディショナと外部発電機の合計で表示

● 太陽電池パワーコンディショナまたは蓄電池パワーコンディショナが複数台接続されているときは、トップ画面左上の運転状態は表示されません（☞ 28 ページ）。運転状態表示ランプで各パワーコンディショナの運転状態を表示します（☞ 20 ページ）。

料金換算を設定する

初期設定では、換算用の電気料金は設定されていません。電力量を電気料金換算値で見る（☞ 85 ページ）には、あらかじめ以下の操作で換算料金を設定しておく必要があります。
換算用の料金設定は、電力会社の料金に合わせて手動で設定するほか、Web モニタリングサービス（☞ 112 〜 134 ページ）をご利用の方は、当社ウェブサイトの設定を使用することもできます。
設定を変更すると、当月 1 日から現在までの電気料金換算データを再計算します。当月中であれば何度でも再計算されますが、前月以前の電気料金換算データは再計算されませんのでご注意ください。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 料金換算 をタップする

料金換算の設定画面が表示されます。

2 料金換算設定方法を選ぶ

［簡易設定］をタップすると電気料金換算の簡易設定画面が表示されます。
Web モニタリングサービス（☞ 112 〜 134 ページ）をご利用のときは、［詳細設定（Web サイトで設定）］をタップした後、当社 Web サイトの設定手順に従って設定してください。（☞ 129 ページ）

- 戻る ：設定のトップ画面に戻ります。

3 換算値を入力して、 決定 をタップする

買電料金および売電料金を設定できます。
買電料金は最大 4 つの時間に分けて設定することができます。
変更したい値の入力枠をタップすると設定画面に移行するので、値を入力します。 決定 をタップすると、「設定されました」と音声でおしらせし、設定内容を反映して、設定のトップ画面に戻ります。

※時間区分を減らす（たとえば、4 区分から 3 区分に減らす）場合は、 初期化 にタップして、入力数値を全て消してから入力しなおしてください。
※時間区分は 24 時間表示で入力してください。

- 戻る ：料金換算設定画面に戻ります。

メモ

- ● 換算値の設定をおこなわないと換算値は 0 のままになります。
- ● 時間区分に不足や基本料金、売電に入力もれがあると 決定 をタップできません。
- ● 料金換算の設定を、詳細設定に設定している場合もしくは未設定の場合、「モード診断」でモード変更による目安金額を表示するには、夜間時間電力単価の設定が、「サマーモード」で前日の目安売電金額を表示するには、売電電力単価設定が必要になります。（☞ 32 ページ）

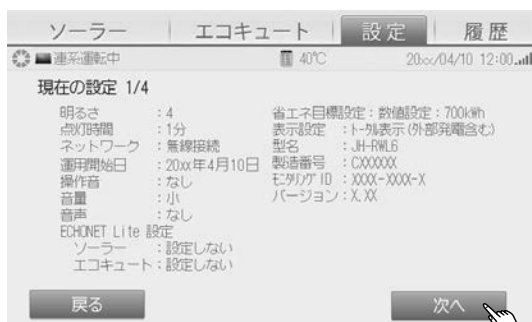
現在の設定を見る

現在の設定を確認することができます。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で 現在の設定 をタップする

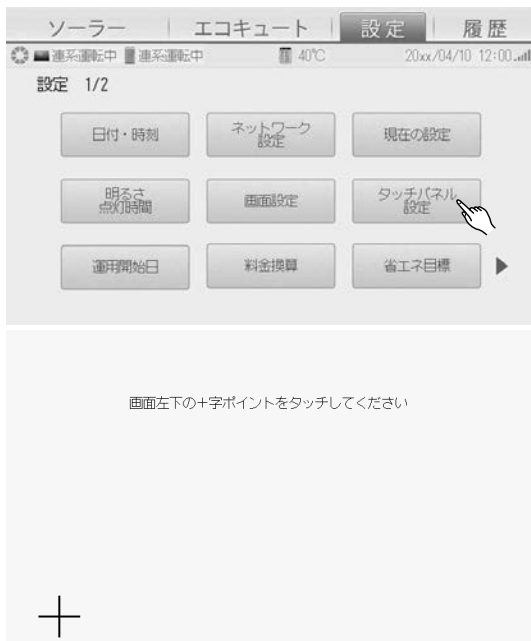
現在の設定画面が表示されます。

2 設定を確認する

現在の設定の画面は4画面あります。
次へ をタップすると、次の画面に進みます。
最初の画面で 戻る をタップすると、設定のトップ画面へ戻ります。
2画面目、3画面目、4画面目で 戻る をタップすると、前の画面に戻ります。
蓄電池パワーコンディショナが接続されていない場合は、4画面目は表示されません。
太陽電池パワーコンディショナ、蓄電池パワーコンディショナ、エコキュートの接続状況によって、表示内容は異なります。

有線接続をご利用の場合には、SSID、暗号方式、電波強度は表示されません。

放電開始時刻は「経済性モード（時刻指定）」以外では表示されません。
蓄電池キープ残量設定は、蓄電池が1台のみ接続されている場合は、「蓄電池2」は表示されません。

タッチパネルの設定をする

タッチパネルをより正確に動作させるため、タッチパネルの位置補正をおこないます。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で タッチパネル設定 をタップする

タッチパネル設定の画面が表示されます。

2 画面の指示に従って、十字ポイントをタップする

十字ポイントを最後の「中央」までタップすると、「設定されました」と音声でおしらせし、設定のトップ画面に戻ります。
タッチパネルの位置補正をおこなうので、正確に十字の中心をタップしてください。

操作音・音量を設定する

操作音および音声のありなしとその音量を設定できます。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、 操作音・音量 をタップする

操作音・音量の設定画面が表示されます。

- ◀ ：設定画面 1/2 に戻ります。

2 操作音、音声、音量を選択して 決定 をタップする

「設定されました」と音声でおしらせし、設定画面 2/2 に戻ります。
初期設定では操作音は「あり」、音声は「あり」、音量は「中」に設定されています。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

メモ

- ●ふろ自動運転中の音声「じゃららららん」「おふろが沸きました」、注意喚起の音声「あついお湯がでます」は、音声なしに設定しても鳴ります。
- ●通話中の「聞く」の音量と、上記音量設定は異なります。

省エネ目標を設定する

省エネナビを利用するときの省エネ目標の設定をおこないます。
1ヶ月の目標消費量を設定します。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で［省エネ目標］をタップする

省エネ目標設定画面が表示されます。

2 省エネ目標の設定方法を選択して、ボタンをタップする

［前月の消費量］または［前年同月の消費量］をタップすることで過去の消費量を目標消費量に設定することができます。
前月や前年同月の消費量のデータを使用しない場合には、［数値設定］をタップして、希望の目標値を設定します。
選択したボタンの枠が青色に変わります。

※前月の消費量データがない場合は［前月の消費量］は選択できません。
前年同月の消費量データがない場合は［前年同月の消費量］は選択できません。

- ［戻る］：設定のトップ画面に戻ります。

3 ［数値設定］をタップした場合は、省エネの目標値を入力して［決定］をタップする

入力枠をタップし、テンキーで目標値を入力し、［決定］をタップします。

- ［決定］：「設定されました」と音声でおしらせし、設定内容を反映して、前画面に戻ります。
- ［戻る］：設定内容を反映せずに、省エネ目標設定画面に戻ります。

ECHONET Lite の設定をする

太陽光発電システムとエコキュートに対して、ECHONETLite 対応機器からの制御を受け付けるように設定をします。
なお、設定内容に関係なく、ECHONETLite 対応機器で、太陽光発電、蓄電池、エコキュートの情報は表示できます。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、 ECHONET Lite 設定 をタップする**

- ◀ ：設定画面 1/2 に戻ります。

2 **ソーラーとエコキュートに対して、ECHONET Lite 対応機器からの制御を有効にするか、しないかを選択して 決定 をタップする**

初期設定では、ソーラーとエコキュートともに「設定しない」に設定されています。

- 決定 ：「設定されました」と音声でおしらせし、設定内容を反映して、設定画面 2/2 に戻ります。
- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

※太陽電池パワーコンディショナが接続されていない場合は、ソーラーの設定項目は表示されません。

※エコキュートが接続されていない場合は、エコキュートの設定項目は表示されません。

メモ

- ●蓄電池の ECHOENT Lite 機器専用モードの設定は、「蓄電池運転モード設定」からおこなってください（☞ 103 ページ）。
- ● ECHONETLite 対応機器で、情報の表示や制御をおこなうためには、あらかじめネットワークの設定（☞ 115 ～ 119 ページ）をする必要があります。
- ●当社製電力見える化システム（JH-RTP1 ／ JH-RTP2）では、エコキュートの情報は表示できません（2013 年 11 月時点）。

蓄電池運転モードを設定する

蓄電池運転モードを設定します。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、 蓄電池運転モード設定 をタップする**

- ◀ ：設定画面 1/2 に戻ります。

2 **蓄電池運転モードを選択する**

選択すると、外枠が青色に変わり、「設定されました」と音声でおしらせして、設定画面 2/2 に戻ります。

蓄電池運転モード（☞ 31 ページ）には下記の５つのモードがあります。

●経済性モード（自動）
●経済性モード（時刻指定）
●ECHONET Lite 機器専用モード
●充電モード
●クリーンモード

- 戻る ：設定画面 2/2 に戻ります。

※ 初期設定では、「経済性モード（自動）」に設定されています。
※ 蓄電池運転モードの変更はマルチエネルギーモニタからのみおこなえます。
※ ECHONETLite 機器専用モードに変更すると、当社製蓄電池システムは待機状態となります。
当社製電力見える化システムから操作することで、充電・放電をおこなうことができます。

3 **[経済性モード（時刻指定)］をタップした場合は、蓄電池の放電開始時刻を設定する**

「時」、「分」の入力枠にそれぞれタップし、24 時間表示で時刻をテンキーで入力し、 決定 をタップします。

夜間時間帯内の時刻は設定できません。

夜間時間帯が 23 時～ 7 時の場合、放電開始時刻には 7 時 01 分～ 22 時 59 分が設定可能です。

- 決定 ：「設定されました」と音声でおしらせし、設定内容を反映して、設定画面2/2 に戻ります。
- 戻る ：前画面に戻ります。

蓄電池運転情報を設定する

電力会社とのご契約に従って、夜間時間帯と契約電力を入力します。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、 [蓄電池運転情報設定] をタップする**

- ◀ ：設定画面 1/2 に戻ります。

2 **「夜間時間帯」の入力枠をタップする**

夜間時間帯の入力画面に移行します。

3 **電力会社とのご契約内容に従って、夜間時間帯を 24 時間表示で入力する**

開始時刻枠にタップし、開始時刻を入力します。
終了時刻枠にタップし、終了時刻を入力します。
開始および終了時刻が入力できれば、 [決定] をタップし、前画面に戻ります。

- [戻る] ：設定内容を反映せずに、前画面に戻ります。

蓄電池の夜間時間帯を短く設定すると、蓄電池の充電が十分におこなわれない場合があります。蓄電池の充電を十分おこなうためには、夜間時間帯の充電開始時刻を、電力会社とのご契約内容に合わせてください。

ご注意

蓄電池運転モードを経済性モード（時刻指定）に設定後に、夜間時間帯を変更すると、蓄電池運転モードは経済性モード（自動）に変わり、経済性モード（時刻指定）の放電開始時刻は消去されますのでご注意ください。

4 「契約電力」の入力枠をタップする

契約電力が未設定か、変更が必要な場合は、入力枠にタップし、契約電力設定画面に移行します。
夜間時間帯のみ変更する場合は、 決定 をタップします。「設定されました」と音声でおしらせし、設定画面 2/2 に戻ります。

- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

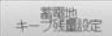
5 契約電力枠にタップし、テンキーで契約電力を入力する

入力範囲は 1 ～ 50kVA です。
A（アンペア）契約のお客様は kVA に換算して入力してください。（例 30A → 3kVA）

- 決定 ：内容を反映して前画面に戻ります。
- 戻る ：設定内容を反映せずに、前画面に戻ります。

※契約内容と異なる値を入力すると、充電されにくくなったり、ブレーカーが落ちる恐れがあります。

6 21 時～ 7 時までは蓄電池システムを静音運転にするか、しないかを設定する

静音運転では蓄電池パワーコンディショナのファンの回転数を抑えた運転をおこないます。静音運転にすると、充電が十分にできない場合があります。
初期設定では「設定する」に設定されています。

- 決定 ：「設定されました」と音声でおしらせし、設定内容を反映して、設定画面 2/2 に戻ります。
- 戻る ：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

蓄電池キープ残量を設定する

非常時に備えて、残しておく蓄電池残量を設定します。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、[蓄電池キープ残量設定] をタップする

- ◀：設定画面 1/2 に戻ります。

2 蓄電池に残しておく下限値を設定する

▲ ▼ をタップすると、10%刻みで上下します。設定範囲は 0 ～ 100%です。初期設定では 20%に設定されています。100%に設定すると、放電をしません。
蓄電池が 1 台のみ接続されている場合は蓄電池 2 は表示されません。

- ▲：10%刻みで増加します。
- ▼：10%刻みで減少します。
- [決定]：「設定されました」と音声でおしらせし、設定内容を反映して、設定画面 2/2 に戻ります。
- [戻る]：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

メモ

●蓄電池キープ残量を 0 %に設定していても、0%になる前に放電を停止する場合があります。

エコキュート自動消灯の設定をする

浴室リモコン･増設リモコンの表示は、一定の時間スイッチ操作や給湯をしないとき、自動的に消灯します。
マルチエネルギーモニタから自動消灯するか、常時点灯するかの設定をおこないます。
初期設定では、自動消灯を「設定する」に設定されています。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移動し、 [エコキュート自動消灯設定] をタップする**

エコキュート自動消灯設定の画面が表示されます。

2 **[設定する] または [設定しない] をタップする**

「通信しています」と表示後、「設定されました」と音声でおしらせして、設定画面 2/2 に戻ります。

- [戻る] : 設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

メモ

● 増設リモコン、浴室リモコンは、1 分（※）以上スイッチ操作や給湯を使用しないと表示は自動的に消灯します。
　※運転モードが「おまかせ省エネ」以外に設定されている場合は、約 25 分で消灯します。

● 貯湯量が少ない（貯湯量表示が点滅中）ときは、自動消灯「設定する」の設定でも表示は消えません。貯湯量が確保されれば消灯します。

● 消灯時にマルチエネルギーモニタのスイッチ操作および蛇口から給湯するとマルチエネルギーモニタ、浴室リモコン、増設リモコンの表示が点灯します。

● 自動消灯中は [メニュー決定] のランプが点灯します。（浴室リモコン、増設リモコン）

エコキュートのタンク色を選択する

エコキュートのトップ画面に表示されているタンクの色をお好みに合わせて選択できます。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面 2/2 へ移動し、 [エコキュート タンク色選択設定] をタップする**

エコキュートタンク色選択設定の画面が表示されます。

2 **設定したい色をタップする**

初期設定では「水色」に設定されています。
設定したい色をタップすると、「設定されました」と音声でおしらせして、設定画面 2/2 に戻ります。

- [戻る]：設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻ります。

エコキュート トップ画面

このタンクの色が変わります。

メモ

● タンクの色の設定はマルチエネルギーモニタでのみ設定できます。

エコキュートの電力契約の設定をする

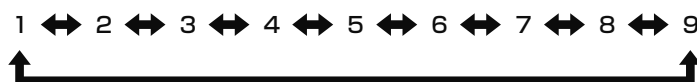
時間帯別電灯契約の種類によって深夜時間帯および安価な時間帯が異なります。設定が合っていないと電気代が高くなることがありますので、正しい電力契約を選択してください。
マルチエネルギーモニタまたは、増設リモコンからおこないます。

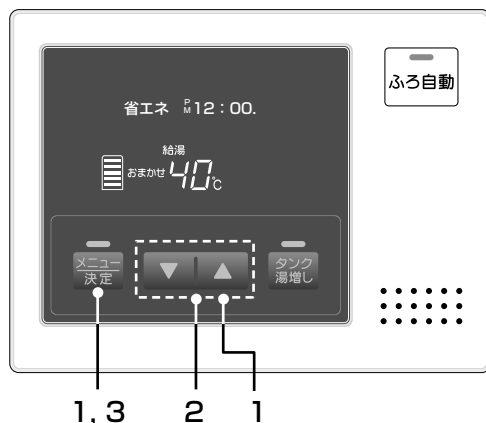
◆ マルチエネルギーモニタ

1 **エコキュートタブをタップし、エコキュートのトップ画面で、ホームボタン を５秒以上長押しし、ショートカット画面で［電力サービス設定］をタップする**

- 戻る ：エコキュートのトップ画面に戻ります。

2 **▼または▲をタップし、電力契約を切り替える**

現在の設定が点滅します。
契約内容については、電力契約の内容（☞ 110ページ）をご確認ください。
初期設定では、「3」に設定されています。

3 **メニュー決定 をタップして決定する**

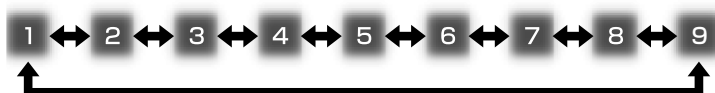
「設定されました」と音声でおしらせし、約３秒後、エコキュートのトップ画面に戻ります。

◆ 増設リモコン

◆ 増設リモコン 表示部

1 [メニュー決定]と[▲]を同時に 5 秒以上長押しする

現在の設定が点滅します。

2 [▼]または[▲]を押して、電力契約を切り替える

電力契約の内容は、下表を参照ください。
初期設定は「3」です。

3 [メニュー決定]を押して決定する

「設定されました」と音声と表示でおしらせします。

電力契約の内容

電力契約の内容は、次のようになっています。地域の電力会社によって異なりますので、詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

Webモニタリングサービスを使う

Webモニタリングサービスとは

Webモニタリングサービスをお申し込みいただくと、ご家庭とモニタリングセンターの間で自動通信がおこなわれ、定期的なシステムチェックや、ネットワークを利用したサービスが受けられます。
サービスをご利用いただくと、パソコンや「AQUOS.jp」対応テレビの画面で詳細な履歴を見る、携帯電話（スマートフォンはのぞく）で外出先から発電量をチェックする、お好きな画像をマルチエネルギーモニタの待ち受け画像にするなど、この製品の楽しみかたが広がります。万一の故障などにも、すばやい対応が受けられます。
Webモニタリングサービスのご利用には、利用申し込み（無料）が必要です。契約やサービスの詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 通信回線との接続および設定は、お客様ご自身でおこなっていただくか、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- Webモニタリングサービスに使用する機器の購入費、設置工事費、通信費などについては、お客様負担となります。
- Webモニタリングサービスのご利用※には、別途、シャープ10年保証制度または15年保証制度への加入が必要です。保証制度は太陽光発電のみが対象になります。蓄電池・蓄電池パワーコンディショナ・周辺機器、エコキュートは含まれません。
- Webモニタリングサービスは、当社の太陽電池モジュール・太陽電池パワーコンディショナ・周辺機器で構成されたシステムが対象になります。蓄電池・蓄電池パワーコンディショナ・周辺機器、エコキュートは対象外となります。
- お客様の通信環境によっては、通信が確立せずWebモニタリングサービスをご利用いただけない場合があります。
- モバイル回線では、Webモニタリングサービスはご利用いただけません。有線のブロードバンド回線をご利用ください。常時（24時間）インターネットに接続できる環境をご準備いただくことが必要です。
- 運用開始後、2年経過してからWebモニタリングサービスの会員登録が完了した場合、登録完了日より2年以上前の履歴データは、Webモニタリングサービスのサイトには反映されません。できるだけ早くお申込みされることをおすすめします。

※シャープ販売店以外で購入されたお客様は、ご購入先販売店の申し込み方法をご確認ください。申し込みに関しては審査が必要となります。

■ご利用までの流れ

手順	内容
ご利用前の確認	ご利用に必要な機器や環境を確認します（☞113ページ）。
通信回線との接続	通信回線に接続します（☞114ページ）。
通信の設定	ネットワーク通信に必要な設定をします（☞115～119ページ）。
通信テスト	モニタリングセンターと通信できるかテストします（☞120ページ）。 通信テストが成功しないと、Webモニタリングサービスを利用できません。
サービスのお申し込み	お買い上げの販売店などから申し込みます。
お申し込み内容の確認・登録	当社にてお申し込みいただいた内容を確認し、会員登録をおこないます。
会員登録の完了を通知	会員登録完了後、当社から完了通知をお送りします（☞121ページ）。

会員登録完了後、ご利用開始
- パソコンでできること（☞128～129ページ）
- テレビ（「AQUOS.jp」対応テレビ）でできること（☞130ページ）
- 携帯電話でできること（☞131ページ）

メモ

- PLCアダプター（高速電力線通信アダプター）をご使用になると、通信速度が低下したり、接続できなくなる場合があります。

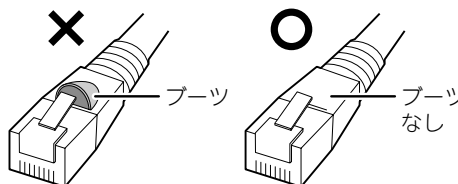
ご利用前の確認

Web モニタリングサービスのご利用には、通信回線の接続や、通信機器の準備が必要です。ご利用の前に、以下の機器や環境が整っているかをご確認ください。

ブロードバンド回線が必要です。
光回線、ADSL、ケーブル TV ネットワークなど、常時接続のブロードバンド回線が必要です。
ダイヤルアップ回線では、Web モニタリングサービスはご利用になれません。
接続機器としてブロードバンドルーターが必要です。ケーブル TV ネットワークをご利用のときは、パソコン以外の機器による回線接続が認められていない場合があります。このような場合やご不明のときは、ケーブル TV のプロバイダーにお問い合わせください。
●ブロードバンドルーターや無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの設定方法に関しては、各ブロードバンドルーターのメーカーへお問い合わせください。

無線 LAN の場合：無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが必要です。
無線 LAN を利用するためには、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが必要になります。無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧いただき設置･設定をおこなってください。無線LAN対応ブロードバンドルーターは、安定したワイヤレス接続のために、動作確認済み機種の無線 LAN 対応ブロードバンドルーターおよび中継器のご使用をおすすめします。
ただし、すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。
- コンクリート、鉄筋、金属が使われている構造物での利用
- 障害物の近くへの設置
- 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
- 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ

動作確認済み機種一覧は当社ホームページに記載しています。
(http://www.sharp.co.jp/sunvista/select/monitoring/taiou_kishu_ichiran.html)
※無線 LAN を利用される場合は、LAN ケーブルは必要ありません。
●ネットワーク設定が必要です。
無線LAN対応ブロードバンドルーターがAOSSまたはWPS、WPS PIN方式に対応しているときは、無線接続を自動設定できます（☞ 115 ～ 116 ページ）。
無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが手動設定のときは、各値を手動で入力します（☞ 117 ～ 119 ページ）。

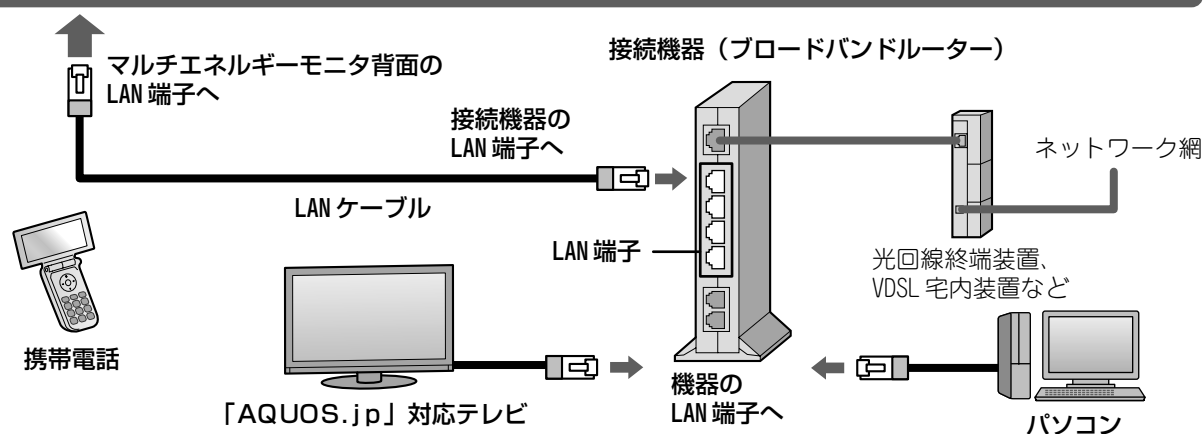
有線 LAN の場合：ブロードバンドルーターと LAN ケーブルが必要です。
マルチエネルギーモニタとブロードバンドルーターの接続用に、LAN ケーブルが必要です。LAN ケーブルは市販品をお買い求めください。また、以下の条件を満たす LAN ケーブルをお使いください。
- カテゴリー 5 ／ 5e ／ 6 ／ 6e ／ 7 のストレートケーブルであること
- 長さが 15m 以上のときは単線タイプを使用すること
- ブーツ（コネクタの保護カバー）がついていないこと

●ネットワーク設定が必要です。
ブロードバンドルーターが DHCP 設定のときは、自動設定で接続できます（☞ 117 ～ 119 ページ）。
ブロードバンドルーターが手動設定のときは、各値を手動で入力します（☞ 117 ～ 119 ページ）

Web サイト閲覧条件および、テレビ、携帯電話の Web モニタリングサービス動作確認済み機種一覧は当社ホームページを確認してください。
(http://www.sharp.co.jp/sunvista/select/monitoring/taiou_kishu_ichiran.html)

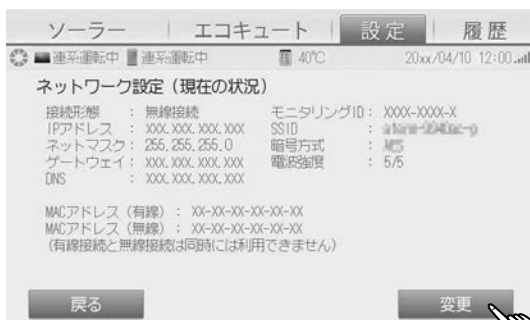
通信回線に接続する

Web モニタリングサービスをご利用の際は、マルチエネルギーモニタを通信回線に接続してください。有線で接続される場合は、マルチエネルギーモニタと通信回線を LAN ケーブルで接続してください。ご利用のサービスに応じて、パソコンやテレビの接続も必要になります。
下図は一般的な接続例です。接続機器の種類や形状、接続する端子の名称、配線パターンなどは、お客様の環境と異なることがあります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

- **携帯電話はフルブラウザ対応の機種をお使いください。**
- **携帯電話サイトのご利用時は、パケット通信料が高額になることがありますので、定額料金サービスのご利用をおすすめします。**
- **携帯電話サイトの動作確認は、当社製フルワイド VGA 液晶の携帯電話でおこなっています。お使いの携帯電話によっては、正しく表示されないことがあります。**
- **テレビ・携帯電話の動作確認済み機種は、当社カタログまたはホームページをご覧ください。**

メモ

- マルチエネルギーモニタを無線 LAN でネットワークに接続する場合は、マルチエネルギーモニタとブロードバンドルーター間の LAN ケーブルは必要ありません。
- 無線 LAN をご利用の場合は、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターをご用意ください。

通信に必要な設定をする

マルチエネルギーモニタを通信回線に接続したら、以下の操作で通信に必要な設定をしてください。

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ネットワーク設定 をタップする

ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 現在の設定状況 をタップする

設定状態によって選択できる項目数が変わります。

- 戻る ：設定のトップ画面に戻ります。

3 変更 をタップする

ネットワーク設定の現在の状況が表示されます。設定状態により表示される項目数は変わります。
電波強度は 5 段階で 5/5 のように表示し、有線接続の場合は非表示となります。
［変更］をタップすると、接続形態の選択画面になります。

- 戻る ：ネットワーク設定の画面に戻ります。

① AOSS の場合

マルチエネルギーモニタの AOSS をタップしてから、お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの AOSS ボタンをランプが点滅するまで押し続けます。ランプが点滅したらボタンから手をはなします。

- 戻る ：ネットワーク設定（現在の状況）の画面に戻ります。

通信が開始され、しばらくして、「設定されました」が表示されれば、設定完了です。

確認 をタップすると「設定されました」と音声でおしらせし、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。

② **WPS の場合**

マルチエネルギーモニタの WPS をタップしてから、お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの WPS ボタンをランプが点滅するまで押し続けます。ランプが点滅したらボタンから手をはなします。
通信が開始され、しばらくして、「設定されました」が表示されれば、設定完了です。
確認 をタップすると「設定されました」と音声でおしらせし、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。

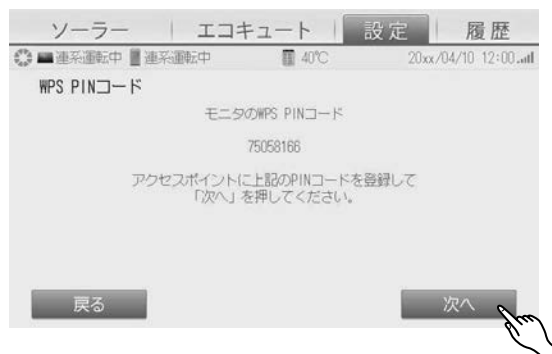
※お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書で対応している接続方法を確認してください。

※「WPS」はらくらく無線スタートにも対応しています。接続方法は無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書を確認してください。

③ **WPS PIN 方式の場合**

マルチエネルギーモニタの WPS PIN方式 をタップしてから、画面に表示されているモニタの WPS PIN コードをお手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターに設定します。次に、次へ をタップします。通信が開始され、しばらくして、「設定されました」が表示されれば、設定完了です。
確認 をタップすると「設定されました」と音声でおしらせし、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。

※お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの取扱説明書で接続方法を確認してください。

メモ

- 接続形態を有線⇒無線、または無線⇒有線に変更する場合、確認画面「無線（有線）接続に変更すると設定が完了するまでは通信ができなくなります。よろしいですか？」が表示されるので「実行」をタップしてください。
- 「通信に失敗しました」というメッセージが表示されたら無線 LAN 対応ブロードバンドルーターとの接続に失敗しました。お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターが AOSS または WPS に対応しているかを確認し、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの電源を入れなおして「再試行」をタップしてください。何度も失敗するようでしたら、別の接続方法をお試しください。
- AOSS や WPS で自動設定する場合は、マルチエネルギーモニタの〔AOSS〕または〔WPS〕ボタンをタップ後、60 秒以内にお手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルータの〔AOSS〕または〔WPS〕ボタンを押し始めてください。

④無線接続の手動設定、または有線接続の場合

1 ［手動］をタップした場合、SSID の設定方法の選択画面が表示される

［有線接続］を選択した場合は、手順 8 に移動します。

- 戻る ：ネットワーク設定（現在の状況）の画面に戻ります。

2 SSID の設定方法を選ぶ

［SSID 検索（自動)］をタップする
→手順 3 へ移動します。

［手動］をタップする
→手順 4 へ移動します。

アドレス設定へ をタップする
→手順 8 へ移動します。

- 戻る ：接続形態の画面に戻ります。

3 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID を選択する

→手順 5 へ移動します。

◀ ：前の 5 件が表示されます。

▶ ：次の 5 件が表示されます。

- 戻る ：無線接続の画面に戻ります。

4 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID を入力し、 決定 をタップする

入力枠をタップし、キーボードで SSID を入力します。
→手順 5 へ移動します。

- 戻る ：無線接続の画面に戻ります。

● 「SSID 検索（自動）」でお手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID が見つからない場合は、SSID を手動で設定してください。

もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
システムを使う
エコキュートを使う
発電実績
設定する
Webモニタリングサービス
このようなときは
索引

5 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの暗号化方式を選ぶ

[WEP] [TKIP (WPA)] [AES (WPA2)] をタップする

→手順 7 へ移動します。
左図の WEP の設定は 64bit となります。
128bit をご利用の場合は 詳細 をタップしてください。

暗号化なし をタップする

→手順 8 へ移動します。

詳細 をタップする

→手順 6 へ移動します。

- 戻る ：前画面に戻ります。

6 お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの暗号化方式（詳細）を選ぶ

- 戻る ：暗号化設定に戻ります。

7 暗号を入力して 決定 をタップする

左の画面は「WEP」を選んだ場合の画面です。ほかの項目でも操作は共通です。
入力枠をタップし、キーボードで値を入力し、決定 をタップすると「設定されました」と音声でおしらせし、手順 8 へ進みます。

［大文字］のキーをタップすると、［大文字］、［小文字］、［記号］に順番に切り替わり、その他のキーもそれに対応して変化します。
［ASCII］のキーにタップすると、［ASCII］、［hex］に順番に切り替わり、その他のキーもそれに対応して変化します。
ASCII では 10 進数とアルファベット 26 文字が入力でき、hex では 16 進数入力になります。

- 戻る ：暗号化設定に戻ります。

- 「通信に失敗しました」というメッセージが表示されたらルーターとの接続に失敗しました。お手持ちのルーターの電源を入れなおして「再試行」をタップしてください。何度も失敗するようでしたら、別の接続方法をお試しください。

8 アドレスの設定方法を選ぶ

[手動（アドレス設定)］をタップする
→手順 9 へ移動します。

[自動（DHCP)］をタップする
→通信に必要な IP アドレスなどが自動で設定され、「設定されました」と音声でおしらせし、ネットワーク設定（現在の状況）画面に戻ります。

- 戻る ：接続形態の画面に戻ります。

9 設定する項目を選ぶ

※アドレス設定（手動）の設定項目は、IP アドレス→ネットマスク→ゲートウェイ → DNS の順に遷移にします。
一度設定項目を選択したら、DNS まで設定してください。

- 決定 ：設定内容を反映してアドレス設定に戻ります。
- 戻る ：アドレス設定に戻ります。

10 項目を入力して、決定 をタップする

左の画面は「IP アドレス」を選んだ場合の画面です。
入力枠をタップし、テンキーで値を入力し、決定 をタップします。
ネットマスク、ゲートウェイ、DNS も同様の方法で入力します。

- 戻る ：前画面に戻ります。

11 すべて設定したら、アドレス設定（手動）画面で 決定 をタップする

「設定されました」と音声でおしらせし、ネットワーク設定(現在の状況)画面に戻ります。
初期化 をタップすると、初期設定に戻ります。
IP アドレス：192.168.0.100
ネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：0.0.0.0
DNS：0.0.0.0

※初期設定状態のままでは通信しないでください。

- 戻る ：アドレス設定に戻ります。

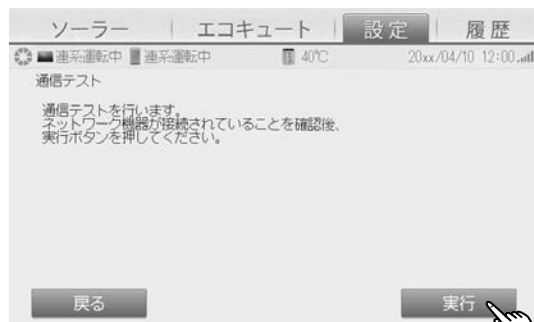
通信テストをおこなう

通信の設定が終わったら、以下の操作で通信テストをしてください。
通信テストが成功しないと会員登録が完了しません。「サービスのお申し込み」（☞ 112 ページ）をおこなう前に通信テストを実施してください。

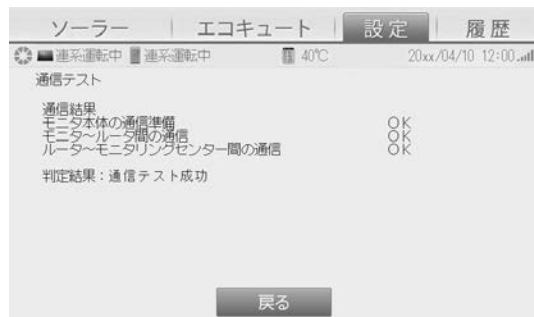
1 **設定のトップ画面で［ネットワーク設定］をタップする**

ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 **［通信テスト］をタップする**

- ［戻る］：設定のトップ画面に戻ります。

3 **ネットワーク機器が接続されていることを確認後、［実行］をタップする**

- ［戻る］：ネットワーク設定の画面に戻ります。

ソーラー　エコキュート　設定　履歴
通信テスト
通信結果
モニタ本体の通信準備　OK
モニタ〜ルータ間の通信　OK
ルータ〜モニタリングセンター間の通信　OK
判定結果：通信テスト成功
戻る

4 **通信テスト結果が表示されるので、内容を確認する**

「判定結果：通信テスト成功」と表示されたら、ネットワーク通信は正常におこなわれており、Web モニタリングサービスを利用できる状態になっています。
「判定結果：通信テスト失敗」と表示されたときは、画面に表示される案内に従ってください。また、「通信ができないときは」（☞ 126 ページ）を確認してください。

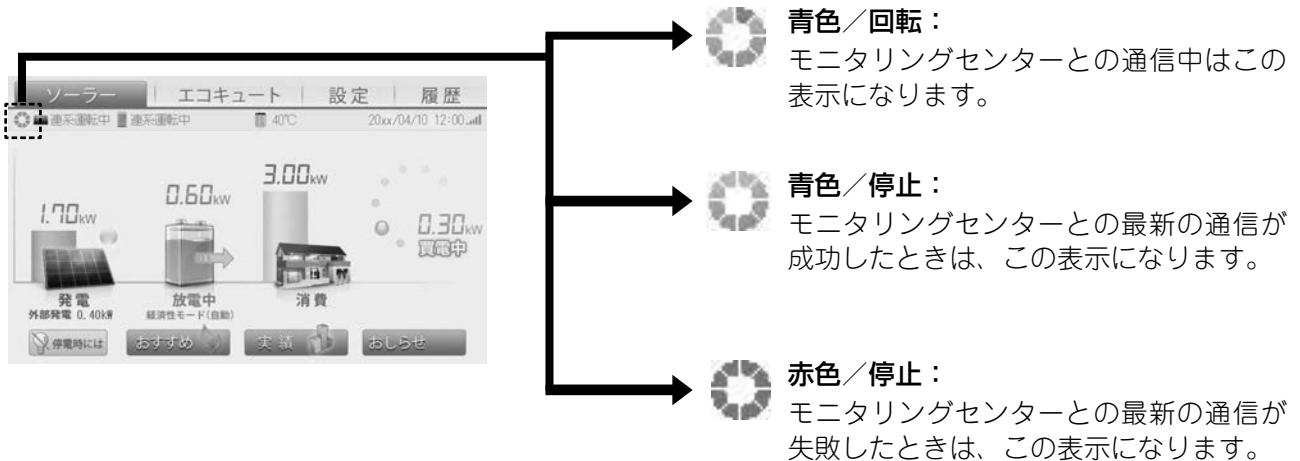
- ［戻る］：前画面に戻ります。

会員登録完了のおしらせが届いたら

接続と設定をしたあと、当社でお客様の会員登録が完了すると、マルチエネルギーモニタに登録完了のおしらせが届きます。33 ～ 34 ページの操作で内容をご確認ください。
登録完了後は、ご家庭とモニタリングセンターの間で自動通信がおこなわれ、6 時間ごとにお客様のシステムの最新データが当社に送信されるようになります。利用できるサービスについては、以下をご覧ください。

- パソコンでできること（☞ 128 ～ 129 ページ）
- テレビ（「AQUOS.jp」対応テレビ）でできること（☞ 130 ページ）
- 携帯電話でできること（☞ 131 ページ）

■モニタリング通信アイコンの表示について

モニタリング通信アイコンの表示は、通信状態を表しています。
※ Web モニタリングサービスの会員登録が未登録の場合は、モニタリング通信アイコンは表示されません。Web モニタリングサービスのお申し込み方法は、112 ページをご確認ください。

- 通信テストが成功しても、通信機器や回線状況によっては、通信が安定せずモニタリングセンターとの自動通信に失敗する場合があります。
- 常時（24 時間）インターネットに接続できる環境をご準備いただく事が必要です。
  ルーターの節電機能でインターネットを使用しない時間帯に LAN の機能を停止する等の設定をした場合、6 時間ごとの定期通信ができないことがあります。
  また、節電機能で日中（太陽光発電中）の時間帯に LAN の機能を停止する等の設定をした場合、モニタリングセンターでエラー情報が受信できず、点検などのご案内や対応ができないことがあります。

会員登録の状態を確認する

Web モニタリングサービスのお申し込み後に、モニタリングセンターで会員登録が完了しているか確認したいときは、以下の操作で確認できます。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ネットワーク設定 をタップする**

ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 **会員登録確認 をタップする**

会員登録確認画面が表示されます。

3 **画面の内容を確認して 実行 をタップする**

会員登録確認が実行されます。

4 **結果を確認する**

「モニタリング会員登録：登録済み」と表示されたときは、会員登録手続きは完了しています。
「モニタリング会員登録：未登録」と表示されたときは、画面の案内に従ってください。

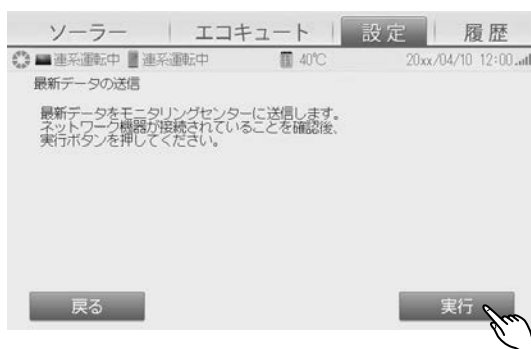
最新データをモニタリングセンターに送信する

マルチエネルギーモニタに記録されている最新のデータを、手動操作でモニタリングセンターに送信できます。
通常は6時間ごとに自動送信されますが、必要なときは以下の操作で送信してください。
また、この操作をすると、モニタリングセンターの各種履歴が最新状態に更新されます。
最新データをモニタリングセンターに送信すると、直近の自動送信がされない場合があります。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で［ネットワーク設定］をタップする**

ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 **［最新データ送信］をタップする**

最新データの送信画面が表示されます。

3 **画面の内容を確認して［実行］をタップする**

最新データが送信されます。

4 **結果を確認する**

「最新データを送信しました」と表示されたら、送信は成功しています。
「データ送信に失敗しました」と表示されたときは、通信テストをおこない、通信状態に問題がないか確認してください。
(☞120ページ)

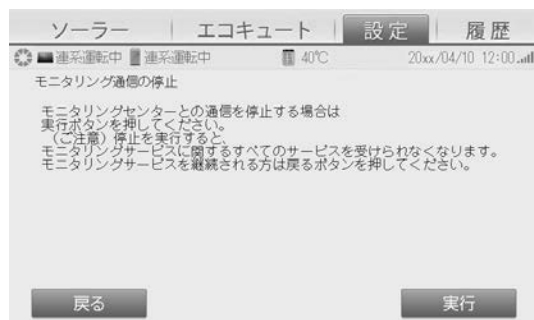
モニタリング通信を停止する

モニタリングセンターとの自動通信を停止します。停止すると、Web モニタリングサービスに関するすべてのサービスが受けられなくなります。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で [ネットワーク設定] をタップする**

ネットワーク設定のメニュー画面が表示されます。

2 **[モニタリング通信の停止] をタップする**

確認画面が表示されます。

3 **画面の内容を確認して [実行] または [戻る] をタップする**

モニタリングセンターとの通信を停止する場合は [実行] をタップしてください。

ご注意

停止を実行するとモニタリングサービスに関する全てのサービスを受けられなくなります。モニタリングサービスを継続される方は [戻る] をタップしてください。

4 **画面の内容を確認して [実行] または [戻る] をタップする**

- [実行]：自動通信の停止を実行して設定のトップ画面に戻ります。
- [戻る]：実行せずに設定のトップ画面に戻ります。

無線 LAN 接続ができないときは

無線接続ができないときは、以下の内容をご確認ください。

白の矢印（⇨）は「はい」、黒の矢印（➡）は「いいえ」を示します。

**無線 LAN の電波強度アイコンで、アンテナは十分立っていますか？（☞ 29 ページ）
電波強度アイコンが非表示の場合は、無線接続に設定してください。（☞ 115 ～ 119 ページ）**

➡ 無線 LAN 対応ブロードバンドルーターをマルチエネルギーモニタに近付けるか、中継器など（☞ 113 ページ）を利用し電波強度アイコンのアンテナが 5 本立つようにしてください。

⇩

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは AOSS に対応していますか？

⇨ AOSS の設定をおこなってください。（☞ 115 ページ）

⬇

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは WPS に対応していますか？

⇨ WPS の設定をおこなってください。（☞ 116 ページ）

⬇

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは WPS PIN 方式に対応していますか？

⇨ WPS PIN 方式の設定をおこなってください。（☞ 116 ページ）

⬇

無線接続の手動設定より設定していますか？

➡ 無線接続の手動設定をおこなってください。（☞ 117 ～ 119 ページ）

⇩

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID が、マルチエネルギーモニタに設定されている SSID と合っていますか？モニタの設定内容は現在の設定よりご確認ください。（☞ 115 ページ）

➡ 自動または手動設定にて、お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターの SSID を設定してください。（☞ 117 ページ）

⇩

**お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターと同じ暗号化方式（WEP など）および、暗号がマルチエネルギーモニタに設定されていますか？
マルチエネルギーモニタの設定内容は現在の設定よりご確認ください。（☞ 115 ページ）**

➡ お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターと同じ暗号化方式および、暗号をモニタに設定してください。（☞ 118 ページ）

⇩

お手持ちの無線 LAN 対応ブロードバンドルーターは DHCP 設定に対応していますか？

⇨ 再度、マルチエネルギーモニタのアドレス設定を自動（DHCP）に設定（☞ 119 ページ）してください。アドレスを手動で設定している場合は、設定しているアドレスをメモ帳などにメモしてください。

➡ アドレスを手動で設定してください。（☞ 117 ～ 119 ページ）

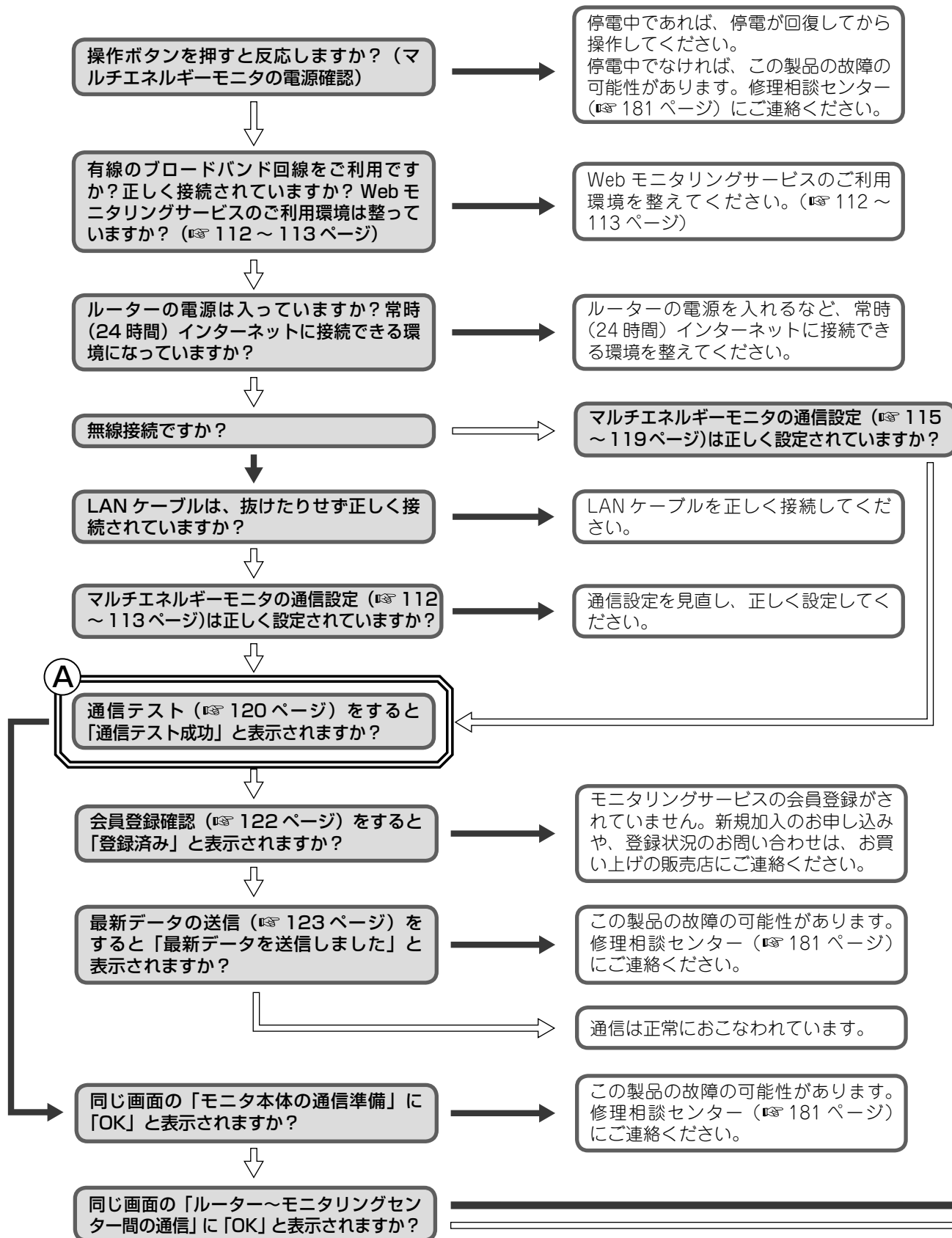
⇩

本書 126 ページの Ⓐ「通信テスト」（☞ 120 ページ）をすると「通信テスト成功」と表示されますか？」へ移動してください。

通信ができないときは

通信ができないときは、以下の内容をご確認ください。

白の矢印（⇨）は「はい」、黒の矢印（➡）は「いいえ」を示します。

もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
システムを使う
エコキュートを使う
発電実績
設定する
Webモニタリングサービス
このようなときは
索　引

無線 LAN 接続ができないときは（☞ 125 ページ）をご確認の上、正しく設定してください。

ネットワークサービスに問題があります。ご契約のインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。

パソコンでインターネット視聴やメール送受信はできますか？

接続機器（ブロードバンドルーターなど）は正しく設定されていますか？故障していませんか？

接続機器（ブロードバンドルーターなど）は、複数回線で接続可能な設定になっていますか？

設定を見直してください。接続機器の操作が分からない場合や故障の場合は、接続機器のメーカーにお問い合わせください。

お使いのインターネットサービスプロバイダーのサーバー、またはモニタリングセンターのサーバーは、定期メンテナンスの期間中ではありませんか？（モニタリングサーバーの定期メンテナンス期間はモニタリングセンターからのおしらせ（☞ 34 ページ）で通知します）

接続機器（ブロードバンドルーターなど）は正しく設定されていますか？故障していませんか？

定期メンテナンス期間が終了してから操作してください。

モニタリングセンターのサーバーに障害が発生している可能性があります。モニタリングセンター※にご連絡ください。

接続機器（ブロードバンドルーターなど）が正しく設定されていないか、故障している可能性があります。設定を見直してください。接続機器の操作が分からない場合や故障の場合は、接続機器のメーカーにお問い合わせください。

※ WEB モニタリングサービス加入済みのお客様へ送付している「WEB モニタリングサービス登録完了のご案内」に記載の電話番号にご連絡ください。未加入のお客様は、本サービスへの登録が必要となりますので、ご販売店にサービス加入についてご相談ください。

パソコンでできること

Web モニタリングサービスのパソコン用サイト（https://solar-monitor.sharp.co.jp/）では、以下のような機能が使用できます。

- 今日の発電実績の表示、過去の履歴の表示、省エネナビの表示
- 発電状況を表示できる「宅内モニタ」
- 発電状況を診断した「発電診断レポート」の表示
- 電気料金換算設定の利用
- お好きな待ち受け画像のアップロード
- 履歴データのダウンロード

待ち受け画像をアップロードする

お好きな画像を待ち受け画像表示用にアップロードできます。
アップロード後は、マルチエネルギーモニタで待ち受け画面の設定をしてください。
（☞ 95 ～ 96 ページ）

パソコン用サイトのトップページから……

省エネナビを使う

今月の省エネ率を確認したり、省エネ目標を設定したりできます。

発電診断レポートを見る

発電結果を診断したレポートを見られます。

宅内モニタを見る

宅内モニタは、ご家庭内のネットワークを利用して発電実績などのデータを確認できる機能です。
※宅内モニタについては、ご家庭内のネットワークを利用するため、インターネットに接続していなくてもご利用になれますが、外出先のパソコンではご利用になれません。

<現在の状況>

<現在の状況>ページでは、10 秒間隔でデータを更新します。
接続エラーなどで更新されない場合は、Web ブラウザにて手動で更新してください。
ほかにも、今日の実績、これまでの実績、発電量ランキングを確認できます。

電気料金換算設定を利用する

電気料金換算を設定することで、消費量、売電量、買電量を電気料金に換算して確認できます。
電気料金換算の設定は、「マイページ」→「履歴データ」→「電気料金換算」→「設定の照会 / 変更へ」から設定できます。
※ Web サイトで電気料金換算の設定後、マルチエネルギーモニタの「電気料金換算」で、料金計算方法を「詳細設定（Web サイトで設定)」に設定する（☞ 98 ページ）と、Web サイトで設定した内容にて消費量、売電量、買電量の各値を電気料金に換算して確認できます。

<電気料金換算値照会 / 変更>

メモ

- ●サイト内にある上記以外の機能やサービスについては、サイトの説明をご覧ください。また、機能やサービスは、予告なく変更されることがあります。
- ●パソコン用サイトからの画像のアップロードは当日の夜間におこないます。ルーターの節電機能でインターネットを使用しない時間帯に LAN の機能を停止する等の設定を利用されている場合は節電機能を解除してください。
- ●サイトに画像をアップロードしたあと、マルチエネルギーモニタに持ち受け画像として設定できるのは翌日以降になります。
- ●宅内モニタ及び Web モニタリングサービスは、蓄電池システムとエコキュートについては対象外となります。そのため、蓄電池システムをお使いのお客様は、マルチエネルギーモニタのトップ画面の消費電力の値と、宅内モニタの消費電力の値が異なることがあります。

テレビ（「AQUOS.jp」対応テレビ）でできること

Web モニタリングサービスのテレビ用サイト（https://solar-monitor.sharp.co.jp/）からは、以下のような機能が使用できます。

- 今日の発電実績の表示、過去の履歴の表示、省エネナビの表示
- 発電状況を表示できる「宅内モニタ」
- 発電状況を診断した「発電診断レポート」の表示

また、「AQUOS.jp」のオーナーズラウンジから、「AQUOS ライフ」→「エコロジー」→「ソーラー Web モニタリング」の順に選択してアクセスすることもできます。

テレビ用サイトのトップページから……

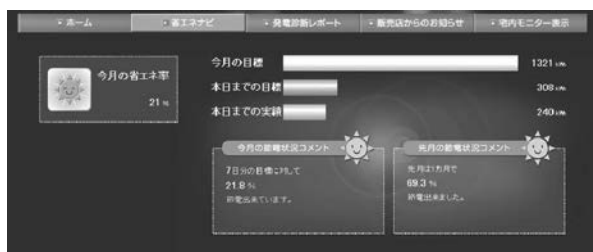
宅内モニタを見る

宅内モニタは、ご家庭内のネットワークを利用して発電実績などのデータを確認できる機能です。

＜現在の状況＞

＜現在の状況＞ページでは、60 秒間隔でデータを更新します。
接続エラーなどで更新されない場合は、Web ブラウザにて手動で更新してください。
ほかにも、今日の実績、これまでの実績、発電量ランキングを確認できます。

省エネナビを見る

今月の省エネ率を確認できます。

発電診断レポートを見る

発電結果を診断したレポートが見られます。

メモ

- サイト内にある上記以外の機能やサービスについては、サイトの説明をご覧ください。また、機能やサービスは、予告なく変更されることがあります。
- テレビの対応機種は、当社カタログまたはホームページをご覧ください。
  (http://www.sharp.co.jp/sunvista/select/monitoring/taiou_kishu_ichiran.html)
- 宅内モニタ及びＷｅｂモニタリングサービスは、蓄電池システムとエコキュートについては対象外となります。そのため、蓄電池システムをお使いのお客様は、マルチエネルギーモニタのトップ画面の消費電力の値と、宅内モニタの消費電力の値が異なることがあります。

携帯電話でできること

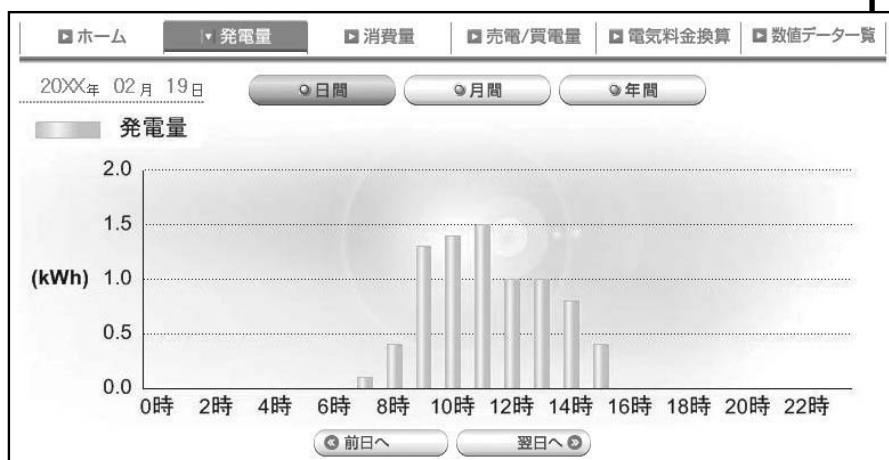
Web モニタリングサービスの携帯電話用サイト（https://solar-monitor.sharp.co.jp/）からは、今日の実績や履歴が手軽に確認できます。

携帯電話用サイトのトップページから……

実績を見る

ホーム画面では、今日の実績が確認できます。

各種の履歴を見る

発電量、消費量、売電／買電量の履歴を確認できます。

- ●サイト内にある上記以外の機能やサービスについては、サイトの説明をご覧ください。また、機能やサービスは、予告なく変更されることがあります。
- ●携帯電話はフルブラウザ対応の機種をお使いください。携帯電話サイトの動作確認は、当社製フルワイドVGA 液晶の携帯電話でおこなっています。お使いの携帯電話によっては、正しく表示されないことがあります。（☞ 113 ページ）
- ●パケット通信料が高額になることがありますので、定額料金サービスのご利用をおすすめします。
- ●携帯電話から確認できるデータは、6 時間ごとの自動通信でモニタリングセンターに送信されたデータです。現在のデータは確認できません。

宅内モニタを見る

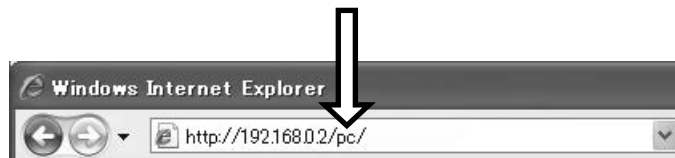
宅内モニタは、ご家庭内のネットワークを利用して、パソコンおよび「AQUOS.jp」対応テレビで発電量などを確認できる機能です。表示できる項目はWebモニタリングサービスのサイトと一部重複していますが、数値を見ることができます。
宅内モニタはパソコン用サイトやテレビ用サイトから表示できますが、IPアドレスを直接入力して表示することもできます（通常はサイトからご利用ください）。
お使いになる機器は、あらかじめ接続しておいてください（☞114ページ）。

通信設定が「自動設定（DHCP)」になっているときは、ブロードバンドルーターによってIPアドレスが自動取得されるため、一度確認したIPアドレスが変わることがあります。「自動設定（DHCP)」でお使いのときは、宅内モニタをお使いになるたびに、IPアドレスを確認してください。
なお、通信設定を「手動設定」にしてIPアドレスを入力すると（☞117～119ページ)、自動的に変わることはありません。ただし、手動設定にはブロードバンドルーターの設定も必要になるため、ブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧のうえで設定してください。

パソコンおよび「AQUOS.jp」対応テレビで見る

1 **「通信に必要な設定をする」(☞115ページ）の手順1～3をおこない、表示される「Pアドレス」の数値をメモする**

2 **パソコンまたはテレビのブラウザを立ち上げ、URL（アドレス）欄に以下のアドレスを入力する。**

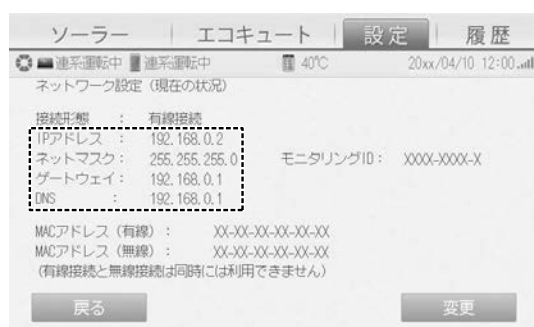
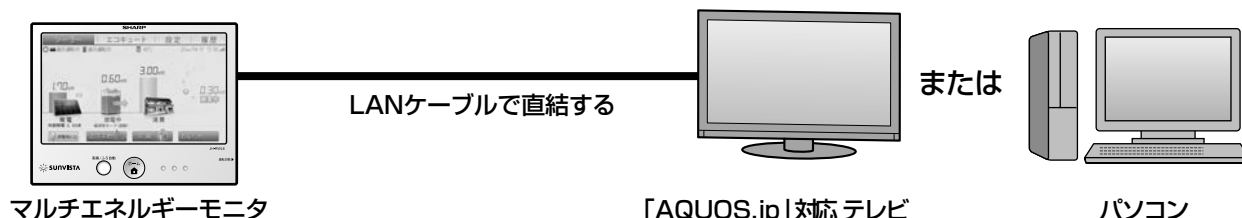
パソコン用アドレス：http://XXX.XXX.XXX（「IPアドレス」の数値）/pc/
テレビ用アドレス　：http://XXX.XXX.XXX（「IPアドレス」の数値）/tv/

入力例（IPアドレスが「192.168.0.2」のとき）

アドレスを正しく入力すると、宅内モニタが表示されます。操作は画面の案内に従ってください。

メモ

●宅内モニタには蓄電池、エコキュートの情報は表示されません。

LAN ケーブルで直結して見るには

パソコンおよび「AQUOS.jp」対応テレビでは、ブロードバンドルーターなどを経由せず、マルチエネルギーモニタを LAN ケーブルで直結して宅内モニタを見ることもできます。
表示画面については、パソコンでできること（☞ 128 ～ 129 ページ）、テレビ（「AQUOS.jp」対応テレビ）でできること（☞ 130 ページ）をご覧ください。

1 **接続が終わったら、「通信に必要な設定をする」（☞ 117～119ページ）で、「有線接続」の「手動（アドレス設定）」より、各値を以下のように設定する**

- IP アドレス：192.168.0.2
- ネットマスク：255.255.255.0
- ゲートウェイ：192.168.0.1
- DNS：192.168.0.1

2 **パソコンおよびテレビの LAN 設定画面（名称は異なることがあります）で、各値を以下のように設定する**

- IP アドレス：192.168.0.3
- ネットマスク：255.255.255.0
- ゲートウェイ：192.168.0.1
- DNS：192.168.0.1
- プロキシ：使用しない

機器の設定方法は、パソコンおよびテレビの取扱説明書や、ご利用のプロバイダーや回線業者から送られてくる資料などをご覧ください。

3 **ブラウザを立ち上げ、URL（アドレス）欄に 132 ページの手順 2 に記載しているアドレスを入力する（http://192.168.0.2/tv/ など）**

アドレスを正しく入力すると、宅内モニタが表示されます。操作は画面の案内に従ってください。

メモ

●手順 2 でマルチエネルギーモニタおよびパソコンまたはテレビの設定をおこなうとき、IP アドレスの末尾以外は同じ値を入力してください。

例：

マルチエネルギーモニタ：　192.168.0.2
パソコンまたはテレビ：　192.168.0.3

また、他の値も設定することができますが、その際はお客様ご自身で動作を確認された上でご使用ください。

●ファイヤーウォールを有効にしている場合など、パソコンの設定によっては接続できないことがあります。

スライドショーを見る

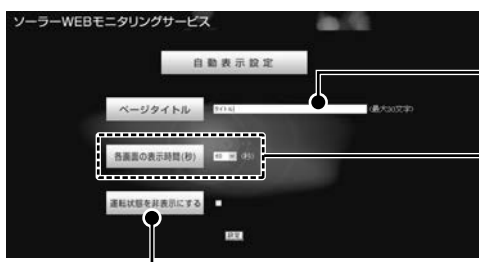
宅内モニタで表示できる画面の一部をスライドショーとして見ることができます。
パソコンまたはテレビのみ閲覧可能です。携帯電話は閲覧できません。
パソコンおよびテレビともスライドショーで見ることができる画面構成は同じです。

1 **132 ページを参考にパソコンまたはテレビのブラウザを立ち上げ、URL（アドレス）欄に以下のアドレスを入力する**

パソコン用アドレス：http://XXX.XXX.XXX.XXX（「IP アドレス」の数値）/pc/setup.html
テレビ用アドレス　：http://XXX.XXX.XXX.XXX（「IP アドレス」の数値）/tv/setup.html

入力例（IP アドレスが「192.168.0.2」のとき）

アドレスを正しく入力すると、宅内モニタが表示されます。操作は画面の案内に従ってください。

2 **設定画面のタイトル、各画面の表示時間、運転状態の表示 / 非表示の設定をおこなう**

スライドショーのタイトルを入力できます。

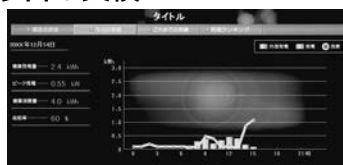
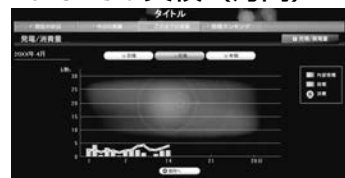
各画面の表示時間（スライドショーの切り替え時間）を設定できます。

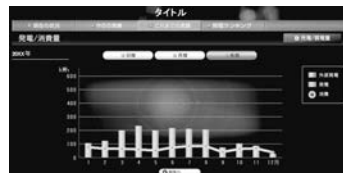
＜現在の状況＞画面で運転状態の表示 / 非表示を設定できます。

3 **設定を押す**

スライドショーが開始されます。
下記 5 つの画面が手順 2 で設定した各画面の表示時間ごとに切り換わり表示されます。

<現在の状況>

<今日の実績>

<これまでの実績（月間）>

<これまでの実績（年間）>

<発電ランキング>

メモ

- ●スライドショー実行中に Web ブラウザでブックマークをおこなうと、手順 2 の設定が保持されます。以後ブックマークで呼び出すと、保持された設定に従ってスライドショーが再開されます。
- ●スライドショーでは、手順 2 で設定した「各画面の表示時間」間隔でデータを更新します。接続エラーなどで更新されない場合は、Web ブラウザにて手動で更新してください。

このようなときは

太陽光発電システム・蓄電池システム

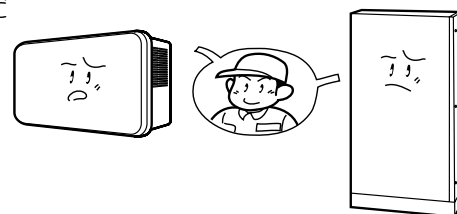
エコキュート

住宅用太陽光発電システム、蓄電池システムを長年ご使用いただくため、以下の要領でお手入れをお願いします。

ご注意

◆太陽電池モジュールは、屋根の上など高所に設置されることが多く、点検やお手入れは特に危険ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

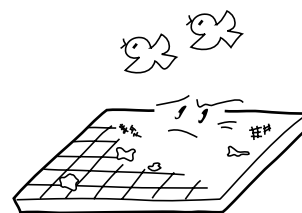
パワーコンディショナ、蓄電池のお手入れ

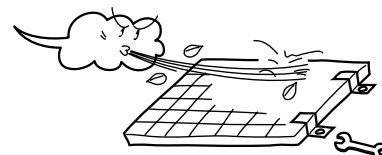
- お手入れの際は、必ずパワーコンディショナの運転を停止してください（☞ 137 ページ）。運転したままでのお手入れは危険です。
- 日常のお手入れ（パワーコンディショナ本体通気口のほこり取り、表面の清掃）以外は、お買い上げの販売店に依頼してください。

マルチエネルギーモニタのお手入れ

- 汚れのひどいときは、水にひたした布をよくしぼって、ふき取ります。その後、もう一度乾いた柔らかい布で水分をふき取ってください。液晶画面を拭くときは、あまり強く押さえないでください。故障の原因になります。
- マルチエネルギーモニタの内部には電子部品が入っていますので、水をかけないでください。
- 洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

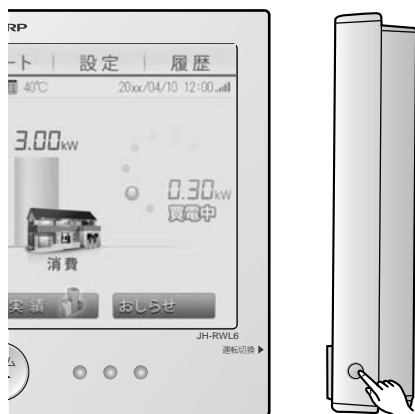
太陽光発電・蓄電池システム – 太陽光発電システムの保守・メンテナンス

太陽電池モジュールのガラス表面の清掃

- 通常の汚れは、発電には問題ありませんが、鳥のふん、火山灰、油煙などがつき、ガラス表面が著しく汚れた場合は、発電効果が低下して、発電量が少なくなります。この場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

台風シーズンの前後に

- 台風シーズンの前後や、地震、強風の後は、架台などの固定ネジにゆるみや異常がないかお買い上げの販売店にご相談ください。

保守・メンテナンス

- 住宅用太陽光発電システムは、定期的な点検をおこなうことをおすすめします。メンテナンスの内容については、お買い上げの販売店にご相談ください。

手動で運転の停止／開始ができます。点検などで一時的に運転を停止したいときは、以下の操作をしてください。
また、自立運転（☞ 138 ～ 141 ページ）を開始／停止するときも、以下の操作をしてください。

1 右側面の運転切換ボタンを押す

運転 / 停止、連系運転 / 自立運転の設定画面が表示されます。

※運転切換ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください。（☞ 21 ページ）

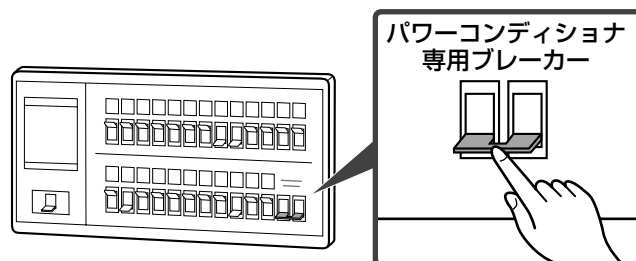
2 運転を停止するときは 停止 、運転を開始するときは 運転 をタップする

停止や開始には、ボタンをタップしてから数秒～数十秒かかります。

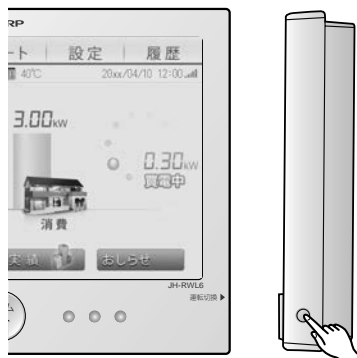
「全パワーコンディショナ」のボタンは、太陽電池パワーコンディショナと蓄電池パワーコンディショナの両方が接続されている場合は表示されません。

※蓄電池パワーコンディショナを自立、太陽電池パワーコンディショナを連系にしている場合には、太陽電池パワーコンディショナの [運転] は選択できません。

● **万一、パワーコンディショナから煙、異音、異臭などが発生したときは、下記手順 1、2 の操作をおこなって、パワーコンディショナを緊急停止してください。**

1 ご家庭の分電盤内のパワーコンディショナ専用ブレーカーを切る

2 お買い上げの販売店、または修理相談センター（☞ 181 ページ）に連絡する

お客様による再起動はおこなわないでください。

エラーなどでパワーコンディショナの再起動が必要なときは、以下の操作で再起動してください。
ただし、太陽電池パワーコンディショナの再起動は太陽光発電中（日中）のみ可能です。

1 右側面の運転切換ボタンを押す

運転 / 停止、連系運転 / 自立運転の設定画面が表示されます。

※運転切換ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください。
（☞ 21 ページ）

2 [解 除]をタップする

「点検」と表示されているパワーコンディショナの[解 除]をタップしてください。
パワーコンディショナが「手動停止中」になるので、[運転]をタップしてください。
パワーコンディショナが再起動します。

太陽光発電・蓄電池システム －停電したときは

電力会社の停電などによって外部からの電力供給がなくなると、パワーコンディショナの運転は停止し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します（太陽電池パワーコンディショナのみの場合、夜間を除く）。
停電が回復後、しばらくすると自動的にパワーコンディショナの運転を開始します。

停電が発生したことをディスプレイに表示します。

停電中は運転状態表示ランプが緑色点滅または消灯します。

■ 停電時に太陽光発電または蓄電池の電力を使用することができます（自立運転）

（☞ 139 ～ 142 ページ）

停電中に自立運転に切り替えると、太陽光発電で発電した電力や蓄電池の電力を使用することができます。

マルチエネルギーモニタ画面の[停電時には]をタップすると停電時の操作方法が表示されます。

※太陽電池パワーコンディショナを自立運転とした場合は、自立運転用コンセントに発電電力が供給されます。
蓄電池パワーコンディショナを自立運転とした場合は、専用コンセントに電力が供給されます。

ご注意

- ◆自立運転の注意事項（☞ 139 ～ 141 ページ）をよくお読みになってご使用ください。
- ◆エコキュートについては 170 ページを参照してください。

太陽光発電システム、蓄電池システムを両方お使いの場合

自立運転では、太陽光発電で発電した電気や蓄電池に貯めた電気を専用コンセントに供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。
自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（**☞ 142 ページ**）。**
- **太陽電池モジュールが発電していないときは蓄電池より電力を供給します。**
  夜間など発電できないときも蓄電池残量があれば、自立運転できます。
- **専用コンセントを使用してください。**
  自立運転では、専用コンセントのみに電力が供給されます。停電時にその他のコンセントは使用できません。
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
  自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **合計 1500W までの電気機器が使用できます。**
  専用コンセントで使用できる電力は最大で 1500W までです。消費電力が 1500W までの電気機器をご使用ください。
  モーターで作動する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
  太陽光発電で発電した電力の不足分は、蓄電池より供給されますが、蓄電池残量がなくなると自動的に自立運転を停止します。
- **自立運転時の発電量と専用コンセントからの消費量は積算されません。**
  自立運転時に太陽光発電した電力量と専用コンセントで消費した電力量は履歴表示には反映されません。
- **日中太陽光電池モジュールで発電した電力が蓄電池に充電されている状態でも、トップ画面では放電中と表示されます。**
  そのため、自立運転中は、放電中と表示されていても蓄電池残量が増えることがあります。

⚠ 警告

専用コンセントに以下の製品をつながないでください。

- 人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
- 灯油やガスを用いた暖房機器
- デスクトップパソコン等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジ等の調理器具

自立運転時の太陽光発電の発電電力は天候により変動します。発電電力が、専用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は、蓄電池から電力を補いますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある機器はご使用にならないでください。

メモ

- 専用コンセントの設置場所はお買い上げの販売店・工事店にご確認ください。
- 専用コンセントには平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により電力が供給されます。
- 蓄電池システムを設置されている場合は、蓄電池システムと連携している太陽光発電システムの自立運転は使用できません。そのため、自立運転用コンセントも設置できません。

蓄電池システムのみをお使いの場合

自立運転では、蓄電池に蓄えた電力を専用コンセントに供給します。
自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

- **自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り替えてください（☞ 142 ページ）。**
- **専用コンセントを使用してください。**
  自立運転では、専用コンセントのみに電力が供給されます。停電時にその他のコンセントは使用できません。
- **パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
  自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
- **合計 1500W までの電気機器が使用できます。**
  専用コンセントで使用できる電力は最大で 1500W までです。消費電力が 1500W までの電気機器をご使用ください。
  モーターで作動する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器は使用できない場合があります。
- **使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
  蓄電池より電力が供給されますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。
- **専用コンセントからの消費量は積算されません。**
  自立運転時に専用コンセントで消費した電力量は履歴表示には反映されません。

⚠ 警告

専用コンセントに以下の製品をつながないでください。

●人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
●灯油やガスを用いた暖房機器
●デスクトップパソコン等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジ等の調理器具
自立運転時には、蓄電池より電力を供給しますが、蓄電池残量がなくなると、電力供給を停止します。
途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある機器はご使用にならないでください。

- 専用コンセントの設置場所はお買い上げの販売店・工事店にご確認ください。
- 専用コンセントには平常時は電力会社からの電力が供給されます。停電時には自立運転により電力が供給されます。

太陽光発電システムのみをお使いの場合

自立運転では、太陽光発電で発電した電気を自立運転用のコンセントに供給します。余った電気を電力会社に売ることはできません。
自立運転では、発電した電力が自立運転用コンセントに接続されている機器の消費電力より大きな場合のみ運転することができます。
自立運転をおこなうときは、以下の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

自立運転のご注意

●**自立運転は、停電時の非常用電源としてお使いいただくための機能です。停電が回復したときは、運転モードを連系運転に切り換えてください（☞ 142 ページ）。**

●**太陽電池モジュールが発電していないときは使用できません。**
夜間など発電できないときは、自立運転できません。

●**自立運転用コンセントを使用してください。**
自立運転では、自立運転用コンセントのみに発電電力が供給されます。停電時にその他のコンセントは使用できません。

●**パワーコンディショナの運転音が大きくなる場合があります。**
自立運転中は、パワーコンディショナの運転音が連系運転中より大きくなる場合がありますが、異常ではありません。

●**発電電力より消費電力が小さな機器を使用してください。**
太陽光発電で発電した電力よりも自立運転用コンセントに接続した機器の消費電力が大きな場合、自立運転できません。
自立運転用コンセントで使用できる電力は最大で 1500W までです。消費電力が 1500W までの電気機器をご使用ください。
モーターで作動する機器（掃除機、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）や運転開始時に大きな電流が流れる機器は使用できない場合があります。

●**使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。**
太陽光発電で発電した電力のみを使用するため天候の変化などで発電電力が不安定になることがあります。発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。

●**自立運転が自動停止した翌日は、手動で自立運転を開始してください（☞ 142 ページ）。**
自立運転していると、日の入りとともに自動的に運転を停止しますが、翌朝に日の出を迎えても自動的に運転を開始しません。自立運転をおこなう場合は、手動で自立運転を開始してください。

●**自立運転時の発電量と自立運転用コンセントからの消費量は積算されません。**
自立運転時に太陽光発電した電力量と自立運転用コンセントで消費した電力量は履歴表示には反映されません。

⚠ 警告

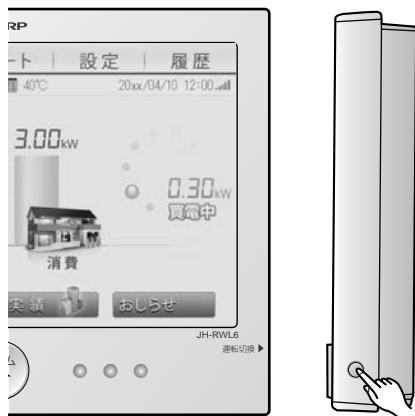
自立運転用コンセントに以下の製品をつながないでください。

●人命に直接かかわる医療機器および人身の損傷に至る可能性のある装置
●灯油やガスを用いた暖房機器
●デスクトップパソコン等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器、電子レンジ等の調理器具
自立運転時の発電電力は天候により変動します。パワーコンディショナの発電電力が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受ける恐れがある機器はご使用にならないでください。

メモ

● 自立運転用コンセントの設置場所はお買い上げの販売店・工事店にご確認ください。
● 自立運転用コンセントを設置するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
● 自立運転用コンセントは平常時は電力が供給されません。停電時に自立運転した場合に、電力が供給されます。

運転モードを切り替える

以下の操作で運転モードを自立運転に切替えたり、連系運転に戻すことができます。

1 **右側面の運転切換ボタンを押す**

運転 / 停止、連系運転 / 自立運転の設定画面が表示されます。

※運転切換ボタンがロックされている場合は、ロックを解除してから操作してください。
（☞ 21 ページ）

2 **自立運転にするときは、自立をタップする**

自立運転に切替わります。

連系運転にするときは、連系をタップする

連系運転に戻ります。

3 **運転をタップする**

それぞれの運転モードを開始します。

停止や開始には、ボタンをタップしてから数秒～数十秒かかります。

- 停電から復帰したら、必ず連系運転に戻してください。
- 自立運転に切り替わるまで２分程度かかる場合があります。
- お使いのシステムの接続機器によっては太陽電池パワーコンディショナの自立が非表示になる場合があります。
- 蓄電池パワーコンディショナを自立運転に切替えると、太陽電池パワーコンディショナが連系運転中の場合は連系手動停止になります。
- 蓄電池パワーコンディショナが 2 台の場合、片方の蓄電池パワーコンディショナを自立運転に切替えると、他の 1 台も自立運転に切替わります。
- 太陽電池パワーコンディショナを連系運転に戻す場合、蓄電池パワーコンディショナを先に連系運転に戻す必要があります。

電圧アイコン が表示されたら

家庭内に供給される電圧が高くなりすぎると、家庭内の電気機器に悪影響を与えることがあります。マルチエネルギーモニタに電圧アイコン が表示されたときは、電圧の上昇を防ぐため、パワーコンディショナの出力を一時的に抑えています。
この表示が出たときは、通常は故障ではありません。電圧が正常に戻ると、表示は消えます。

電圧アイコン：
電圧の上昇を防ぐため、出力を抑えています。
電圧は周辺世帯の電力使用量、売電時の出力上昇などによって変動することがあります。

■電圧抑制の履歴を確認するには

電圧上昇抑制機能が動作した日時を確認できます（最新の 1 件のみ）。
履歴のトップ画面から 電圧上昇抑制 をタップすると、動作した日時が表示されます。

⇒

■電圧上昇とは

朝夕食時など、多くの家庭が一斉に水道の水を使うと水圧が下がり水の流れが弱くなるように、電力会社から供給されている電力も、多くの家庭が一斉に電力を使うと電力会社で規定された範囲内で電圧が低くなったり、逆に電力の使用量が減ると電圧が高くなったりすることがあります。
一方、水が水位の高い所から低い所に流れるように、電力も電圧の高い所から低い所に流れるため、電力会社へ売電する場合、パワーコンディショナの出力電圧は電力会社側の電圧よりも高くなります。
このことから、電力会社側の電圧が高くなったときに売電する場合は、パワーコンディショナの出力電圧もさらに高くなります。
このようなさまざまな要因が重なりパワーコンディショナの出力電圧が高くなりすぎると、ご家庭内の電気機器の破損、寿命低下を引き起こす恐れがあるため、パワーコンディショナは出力電圧を監視し設定電圧値以上高くならないように出力を一時的に抑制する保護機能を備えています。
電圧上昇抑制機能を動作させる設定電圧値は予め連系協議の際に電力会社が決定しています。

メモ

●電圧アイコンが頻繁に表示されたり、長時間消えないときは、修理相談センター（☞181 ページ）にご相談ください。

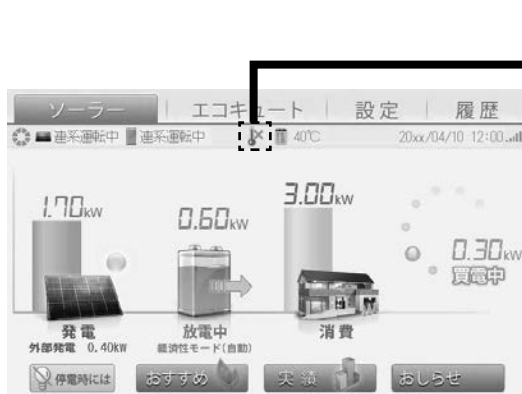
■ 温度アイコン が表示されたら

パワーコンディショナ内部の温度が高くなりすぎると、パワーコンディショナに悪影響を与えることがあります。マルチエネルギーモニタに温度アイコン が表示されたときは、温度の上昇を防ぐため、パワーコンディショナ出力を一時的に抑えています。
この表示が出たときは、通常は故障ではありません。温度が正常に戻ると、表示は消えます。

温度アイコン：
パワーコンディショナ内部の温度上昇を防ぐため、出力を抑えています。

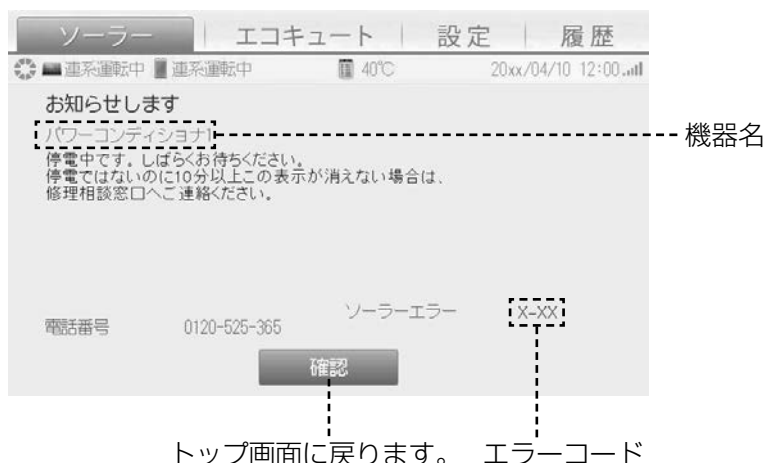
● 温度アイコンが頻繁に表示されたり、長時間消えないときは、修理相談センター（☞ 181 ページ）にご相談ください。

■ 温度範囲外アイコン が表示されたら

蓄電池内部の温度が動作温度範囲を外れた状態で充放電をおこなうと、蓄電池に悪影響を与えることがあります。マルチエネルギーモニタに温度範囲外アイコン が表示されたときは、温度が動作温度範囲に入るまで、一時的に、充電または放電を停止しています。この表示が出たときは、通常は故障ではありません。温度が正常に戻ると、表示は消えます。自立運転時には、温度範囲外アイコン は表示されず、エラー表示されます。

温度範囲外アイコン：
蓄電池の温度が動作範囲外になると、蓄電池パワーコンディショナの運転を停止します。
充電時と放電時では動作温度範囲が異なるため、 が表示されても、放電をおこなう場合があります。

● 温度範囲外アイコンが頻繁に表示したり、長時間消えないときは、修理相談センター（☞ 181 ページ）にご相談ください。

「お知らせします」と表示されたら

マルチエネルギーモニタに「お知らせします」と表示され、以下のような画面が表示されたときやタブに ⚠ が表示されているときは、何らかのエラーが発生しています。画面に表示される対処法に従って、ご対応ください。
修理相談センター（ ☞ 181 ページ）にエラーをご連絡いただくときは、エラーメッセージの末尾に表示されるエラーコード（アルファベットと 2 桁の数字）（ ☞ 150 ～ 154 ページ）と「お知らせします」の下に表示される機器名を合わせておしらせください。パワーコンディショナの場合には、下記のパワーコンディショナの確認方法で、太陽電池パワーコンディショナか蓄電池パワーコンディショナかを確認されて、その結果も合わせてお知らせください。

蓄電池パワーコンディショナのエラーの場合にも、「ソーラーエラー」と表示されます。
エラーが発生しているパワーコンディショナが太陽電池パワーコンディショナか蓄電池パワーコンディショナか確認してください。蓄電池パワーコンディショナの場合には、Web モニタリング対象外となりますので、弊社ではエラーの発生状況は把握できません。エラーが解消しないときは、お買い上げの販売店または修理相談センター（ ☞ 181 ページ）までご連絡ください。

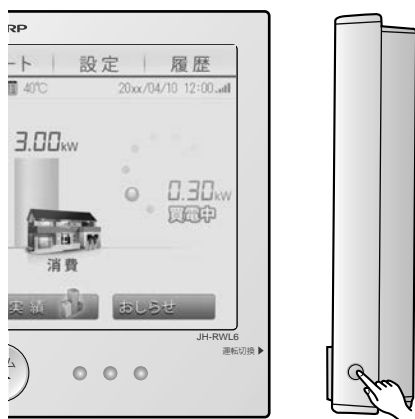
パワーコンディショナの種類の確認方法

1 **マルチエネルギーモニタの右側面の運転切換ボタンを押す**

運転／停止、連系運転／自立運転の設定画面が表示されます。

ソーラー　エコキュート　設定　履歴
連系運転中　40℃　20xx/04/10 12:00
運転／停止、連系／自立設定

	現在の状態	設定切替
全パワーコンディショナ		
パワーコンディショナ1	連系運転中	運転　停止　連系
パワーコンディショナ2 蓄電池1	連系手動停止中	運転　停止　連系　自立
パワーコンディショナ3 蓄電池2	点検（エラー休止）	解除

戻る

2 **エラーの発生しているパワーコンディショナが太陽電池パワーコンディショナか蓄電池パワーコンディショナかを確認する**

蓄電池パワーコンディショナの場合にはパワーコンディショナ名の下に「蓄電池 1」または「蓄電池 2」と表示されています。
太陽電池パワーコンディショナの場合には、何も表示されていません。

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

	こんなときに	確認してください	ページ
マルチエネルギーモニタ	トップ画面上部に電圧アイコンが表示される	パワーコンディショナの保護機能により出力電圧が設定電圧以上高くならないように一時的に出力を抑制している状態です。通常は故障ではなく、電圧が正常に戻ると表示は消えます。なお、パワーコンディショナの電圧上昇抑制機能を動作させる設定電圧は電力会社との協議によって決められています。	143
	トップ画面上部に温度アイコンが表示される	パワーコンディショナの保護機能により温度が高くならないように一時的に出力を抑制している状態です。通常は故障ではなく、温度が正常に戻ると表示は消えます。	144
	トップ画面上部に温度範囲外アイコンが表示される	蓄電池の保護機能により、蓄電池の温度が動作温度範囲外になると、蓄電池パワーコンディショナの動作を停止します。通常は故障ではなく、温度が動作温度範囲内になると、表示は消えます。	144
	トップ画面左上に運転状態表示がない	太陽電池パワーコンディショナや蓄電池パワーコンディショナをそれぞれ複数台設置しているときは、トップ画面左上に運転状態は表示されません。各パワーコンディショナの運転状態はマルチエネルギーモニタの運転状態表示ランプで表示します。	28、30
	トップ画面の消費電力が大きい	消費電力は、総発電電力（発電電力＋外部発電電力）と売買電力および充放電電力から計算しています。 画面中央部の発電電力、消費電力、売買電力、充放電電力だけでなく、外部発電電力も計算式に含まれますのでご注意ください。 なお本機は発電電力に外部発電電力を含んだ総発電電力表示が可能です。その総発電電力と売買電力をもとに計算される消費電力も正しく表示されます。 ただし、発電電力量をもとに計算される以下の項目に関しては外部発電量は含まれません。 （積算発電量、CO_2削減量換算、成木換算、石油換算、自家消費量、自家消費量料金換算、ピーク発電）	－
	ピーク発電の履歴でパワーコンディショナの定格出力以上の値が表示される	気象や日照条件、設置条件によって、瞬間的に発電量がパワーコンディショナの定格出力以上となります。 このとき、パワーコンディショナで定格出力以上であることを感知して、通常の出力範囲へ抑制しますが、瞬間的な発電量をピーク発電として記録することがあります。通常は故障ではありません。	－
	トップ画面で消費量が瞬間的に大きく変動する	気象や日照条件、設置条件によって、瞬間的に発電電力が変動することがあります。通常はその変化に合わせて、売買電力、消費電力が変化します。マルチエネルギーモニタとの通信のタイミングによっては発電電力は変化し、売買電力は変化しない場合があります。消費電力は発電電力と売買電力から計算しているため、瞬間的に消費電力が大きく変動したように表示されることがあります。通常は故障ではありません。	－
	運用開始日がすでに設定されている	運用開始日は、設置工事時に時刻設定された日を記憶しています。運用開始日は変更することができます。	94
	「お知らせします」と表示される	何らかのエラーが発生しています。画面の指示に従ってください。また本書にエラーメッセージ、エラーコードの一覧表が記載されています。	145、150～154
	マルチエネルギーモニタの画面に輝点や黒点が出る	マルチエネルギーモニタのディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合はあります。また、見る角度によっては、色ムラやるさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	15
	マルチエネルギーモニタが再起動する	マルチエネルギーモニタの安定動作をはかるために、定期的に再起動をおこないます。お客様のデータは保持されています。	－
	ディスプレイ内のボタンを押してもなかなか反応しない	「タッチパネル設定」をおこなってください。 タッチパネルの位置補正をします。	100

	こんなときに	確認してください	ページ
マルチエネルギーモニタ	無線 LAN 機能が利用できない	無線 LAN の設定が正しいか確認してください。	115 ～ 119
		ルーターと他のネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。	−
		無線 LAN の電波の強さが十分か確認してください。	29
		電子レンジや冷蔵庫などからの電磁波がルーターの電波に影響しないようにはなして設置してください。	−
		ルーターが IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n、で動作しているか確認してください。 ルーターの動作を確認する方法については、ルーターに付属の取扱説明書を確認するか、メーカーにお問い合わせください。	−
		ひかり回線など IPv6 を利用されている場合、まれに無線 LAN が接続できなくなることがあります。これは映像や音声の大量のデータを利用するアプリケーションと同時に利用したときに、通信機器が処理しきれないためです。詳しくはお使いのルーターのメーカー、またはご利用のネットワークプロバイダにお問い合わせください。	−
	無線接続を自動で設定したい	AOSS または WPS で無線接続をおこなってください。	115 ～ 116
	無線接続を手動で設定したい	AOSS または WPS に対応していないルーターに接続する場合は手動で設定をおこなってください。	117 ～ 119
	トップ画面の消費電力と履歴の消費量の値が異なる	トップ画面の消費電力と履歴の消費量では計算式が異なるため、蓄電池システムを設置されている場合、トップ画面に表示される消費電力と履歴の消費量の値が異なることがあります。履歴の消費量は総発電量（発電量＋外部発電量）と売電量と買電量から計算しています。 ・消費量＝（発電量＋外部発電量）＋買電量−売電量	28 ～ 29 80 ～ 82
	マルチエネルギーモニタの消費電力と宅内モニタの消費電力の値が違う	蓄電池システムを設置されている場合、マルチエネルギーモニタのトップ画面の消費電力と宅内モニタの消費電力の値が異なることがあります。 宅内モニタ及び Web モニタリングサービスは、蓄電池システム、エコキュートについては対象外となります。宅内モニタの消費電力は、総発電電力（発電電力＋外部発電電力）と売買電力から計算しています。 ・売電時消費電力＝（発電電力＋外部発電電力）−売電電力 ・買電時消費電力＝（発電電力＋外部発電電力）＋買電電力	129
	自立運転にすると、トップ画面の発電電力が 0kW になる	自立運転では、トップ画面の発電電力表示は 0 kW になります。自立運転用コンセントにつないだ機器を動作させたときは、消費電力＝発電電力としてトップ画面に表示されます。専用コンセントにつないだ機器を動作させたときは、 消費電力＝放電電力としてトップ画面に表示されます。	139 ～ 141
	自立運転中、太陽電池モジュールで発電した電力が蓄電池に充電されていても充電中と表示されない	蓄電池システムを自立運転で使用した場合、消費電力＝放電電力としてトップ画面に表示されるため、太陽電池モジュールで発電した電力が蓄電池に充電されている状態でも、トップ画面では放電中と表示されます。 そのため、自立運転中は、放電中と表示されていても蓄電池残量が増えることがあります。	−
	履歴が表示されない	履歴データは、1 日 1 回データ集計をおこないマルチエネルギーモニタに記録されます。そのため、その時に停電等でマルチエネルギーモニタに電力が供給されていないと、データが記録されず、履歴が表示されません。	−
		電力モニタに保存されている各電力量データや電気料金換算データなどは電力モニタの故障、パワーコンディショナの故障や長時間の停電があると正しく保存されないことがあります。この様な時には上記データの復旧はできないことがあります。	

	こんなときに	確認してください	ページ
Web モニタリングサービス	宅内モニタが表示されない	URL（アドレス）をご確認ください。IP アドレスが間違っている場合、宅内モニタは表示されません。	132 ～ 134
		ご家庭内のネットワークを利用するため、外出先のパソコンで見ることはできません。	129
		Web ブラウザの機能で、コンテンツがブロックされ表示できない場合があります。情報バーを選択し、コンテンツを許可してください。	ー
	宅内モニタの「現在の状況」が自動更新されない	パソコンでご覧の場合は 10 秒間隔、テレビでご覧の場合は 60 秒間隔で更新されますが、通信接続エラー画面が表示される場合があります。その場合は、Web ブラウザの更新機能を使って、手動で更新してください。	128 ～ 130
	携帯電話で Web モニタリングサービスのサイトが開けない	フルブラウザを使用してください。 フルブラウザについては、各携帯電話会社に確認してください。	131
その他	自立運転時にエラーが表示され、運転が停止した	自立運転用コンセントまたは専用コンセントにつないでいる機器の消費電力が大きすぎる可能性があります。自立運転用コンセントまたは専用コンセントにつながれている機器を減らすことで正常に戻ります。	ー
	パワーコンディショナの運転音が発生しない	気象や日照条件によって、パワーコンディショナの温度が上昇することで空冷ファンが動作します。温度上昇が少ない、または夜間でパワーコンディショナが停止している、などで空冷ファンが動作していない場合は、パワーコンディショナから運転音が発生しません。 通常は故障ではありません。	ー
	ラジオ・テレビなどの電波の受信状態が悪い	ラジオ･テレビなど電波を利用する機器はパワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタが近すぎることで受信障害を引き起こすことがあります。パワーコンディショナ、蓄電池、マルチエネルギーモニタから 3m 以上離してください。	7
	薄膜モジュールで設置直後に比べて発電量が減少した	薄膜太陽電池モジュールは、出荷直後の出力が公称値（カタログ値）に比べて 20%程度大きいという特徴があります。設置直後から約 1 ヶ月ほどで公称値へ収束いたしますので、あらかじめご了承ください。	18・追補版（仕様）
	家電製品を使用しても蓄電池の放電電力が増えない	家電製品のご使用状況によっては蓄電池から家電製品への供給電力が減少し、買電量が増加する場合があります。	31
	蓄電池残量が残っている状態でも蓄電池から放電されない	蓄電池モジュール内のセル電圧のアンバランスを検知すると、蓄電池残量が 0%以上でも放電されずに待機状態となることがあります。 蓄電池残量が 100％になるまで充電することで、蓄電池モジュール内のセル電圧のバランスを取ることができます。	ー
	自立運転時に蓄電池残量が 0 になる前に放電が停止する	災害による長時間停電等により、蓄電池に数日間充電されない状態が続いた後でも、正常に蓄電池システムが起動できるように、自立運転時は蓄電池残量が 0 になる前に放電を停止する仕様になっています。	ー
	充電設定していない時間帯にも関わらず、充電が開始される	蓄電池残量が 0 の状態が続くと、過放電を避けるために、自動的に補充電がおこなわれる仕様になっています。	ー

エラーメッセージ一覧

表示されるエラーメッセージの種類は以下のとおりです。
文中の「X-XX」はエラーコード（☞ 150 ～ 154 ページ）です。実際には「d-19」や「E-21」のように、アルファベットと 2 桁の数字が入ります。

エラーメッセージ	対処
停電中です。しばらくお待ちください。停電ではないのに 10 分以上この表示が消えない場合は修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-525-365 X-XX	停電が回復してから約 5 分で自動的に運転を再開します。そのままの状態でお待ちください。 停電ではないのに約 10 分以上表示が変わらない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
10 秒間お待ちください。 自動復帰します。 X-XX	約 10 秒間そのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
日射不足です。 しばらくお待ちください。	曇りや雨など、天候によって太陽光が不足しています。天候が回復し、太陽光が十分に戻るまでお待ちください。
外気温の低下に伴い太陽電池の出力電圧が高くなっています。 しばらくお待ちください。 気温上昇後も復帰しない場合は修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-525-365 X-XX	外気温が上昇するまで、しばらくお待ちください。 外気温が上昇してしばらくしてもこの表示が消えないときや、たびたび表示される場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-525-365 X-XX	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
パワーコンディショナの温度が高くなっています。パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないかご確認ください。表示が消えない場合は修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-525-365 X-XX	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認してください。 対処しても表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご相談ください。
自立運転用コンセントまたは、専用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。 接続されている機器を減らしてください。 X-XX	自立運転で使用できる電力よりも、機器の消費電力が大きくなっています。 自立運転用コンセントまたは、専用コンセントに接続されている機器を減らして、消費電力を下げてください。
下記手順でパワーコンディショナの再起動をしてください。（ただし、太陽電池パワーコンディショナは夜間に動作していないので日中に再起動してください。） 1. 運転切換ボタンを押し、画面を表示する。 2. 解除ボタンを押す。（パワーコンディショナを複数台ご使用のかたは、運転状態が「点検」となっているパワーコンディショナの解除ボタンを押してください。） それでも表示が消えない場合はエラーコードを控えて修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-525-365 X-XX	パワーコンディショナを再起動してください。但し、太陽電池パワーコンディショナの再起動は太陽光発電中（日中）のみ可能です （☞ 138 ページ） 再起動しても表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
センサーと通信できません。 停電でなければ修理相談窓口へご連絡ください。 電話 0120-525-365 X-XX	停電であれば、回復するまでお待ちください。 停電でなければ、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
蓄電池の内部温度が充電動作温度範囲外のため一時的に、蓄電池の充電を停止しています。 X-XX	蓄電池の内部温度が充電動作温度範囲内に入るまで一時的に、蓄電池の充電を停止しています。 しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。
蓄電池の内部温度が動作温度範囲外のため一時的に、蓄電池の充電または放電を停止しています。 蓄電池からの放電電力は専用コンセントに供給されません。 X-XX	蓄電池の内部温度が動作温度範囲内に入るまで一時的に、蓄電池の充電または放電を停止しています。しばらくお待ちください。自動的に運転を再開します。

もくじ はじめに 各部の名前とはたらき システムを使う エコキュートを使う 発電実績 設定する Webモニタリングサービス このようなときは 索引

エラーコード一覧

エラーメッセージの最後に表示されるアルファベットと 2 桁の数字はエラーコードです。
修理相談センターにご連絡いただくときは、エラーコードと「お知らせします」の下に表示される機器名もご連絡ください。
パワーコンディショナの場合には、145 ページのパワーコンディショナの種類の確認方法で、太陽電池パワーコンディショナか蓄電池パワーコンディショナかを確認されて、その結果も合わせてお知らせください。

「d-XX」という表示の場合

パワーコンディショナに異常を検出しました。安全のため、パワーコンディショナの運転を停止しています。

エラーコード	意味	対処
d-01	パワーコンディショナ内部にある DC/DC コンバーターが一定期間動作しなかった可能性があります。	積雪などにより、30 日間発電しない状況が続くと、d-01 ～ d-05 のエラーコードが表示されます。パワーコンディショナを再起動してください。それ以外の状況で、d-01 ～ d-05 のエラーコードが表示される場合は、パワーコンディショナを再起動し、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
d-02		
d-03		
d-04		
d-05		
d-19	パワーコンディショナの出力回路部分に異常が発生し、回路を保護するため出力ヒューズが切れた可能性があります（連系運転時に検知）。	パワーコンディショナを再起動してください。(☞ 138 ページ) それでも表示が消えない場合または再発する場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
d-20	パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、回路を保護するため温度ヒューズが切れた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-21	パワーコンディショナの出力側に過電流が流れた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-22	パワーコンディショナの出力電流波形に異常を検出しました（連系運転時に検知）。 商用電源の電圧が一時的に不安定になった可能性があります。	
d-23	パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています（連系運転時に検知）。	
d-24	パワーコンディショナの内部回路に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-25	パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-26	パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています（連系運転時に検知）。	
d-27	パワーコンディショナの出力回路に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-29	パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
d-30	パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、回路を保護するため温度ヒューズが切れた可能性があります（自立運転時に検知）。	
d-33	パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています（自立運転時に検知）。	
d-34	パワーコンディショナの内部回路に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	
d-35	パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	
d-36	パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています（自立運転時に検知）。	
d-39	パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	
d-40	パワーコンディショナの内部メモリに異常が発見されました。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
d-45	太陽電池の絶縁抵抗が劣化している可能性があります。	太陽電池モジュール、パワーコンディショナ、ケーブルには触らないでください。エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
d-46		
d-47		

「E-XX」という表示の場合

パワーコンディショナの運転が一時的に不安定になりました。安全のため、パワーコンディショナの運転を一時的に停止しています。

エラーコード	意味	対処
E-19	パワーコンディショナの出力回路部分に異常が発生し、回路を保護するため出力ヒューズが切れた可能性があります（連系運転時に検知）。	しばらく（10 秒間）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
E-21	パワーコンディショナの出力側に過電流が流れた可能性があります（連系運転時に検知）。	
E-22	パワーコンディショナの出力電流波形に異常を検出しました（連系運転時に検知）。 商用電源の電圧が一時的に不安定になった可能性があります。	
E-23	パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています（連系運転時に検知）。	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認し、温度が低下するまでお待ちください。 それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)へご連絡ください。
E-24	パワーコンディショナの内部回路に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	しばらく（10 秒間）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
E-25	パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
E-26	パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています（連系運転時に検知）。	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認し、温度が低下するまでお待ちください。 それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)へご連絡ください。
E-27	パワーコンディショナの出力回路に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	しばらく（10 秒間）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
E-28	パワーコンディショナの内部電圧に異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
E-29	パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります（連系運転時に検知）。	
E-31	自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器が瞬間的に大きな電流を消費しました（自立運転時に検知）。	
E-32	自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。接続機器を減らしてください（自立運転時に検知）。	自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器を減らしてください。
E-33	パワーコンディショナ内部にある出力回路部品の温度が上昇しています（自立運転時に検知）。	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認し、温度が低下するまでお待ちください。 それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)へご連絡ください。
E-34	パワーコンディショナの内部回路に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	しばらく（10 秒間）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
E-35	パワーコンディショナ内部にあるスイッチング素子に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	

エラーコード	意味	対処
E-36	パワーコンディショナ内部にある入力回路部品の温度が上昇しています（自立運転時に検知）。	パワーコンディショナの周囲に物が置かれていないか、通気口がふさがれていないかを確認し、温度が低下するまでお待ちください。 それでも表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)へご連絡ください。
E-37	自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎます。接続機器を減らしてください（自立運転時に検知）。	自立運転用コンセントまたは専用コンセントに接続された機器を減らしてください。
E-38	パワーコンディショナの内部電圧に異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	しばらく（10 秒間）そのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
E-39	パワーコンディショナ内部にある冷却ファンに異常がおきた可能性があります（自立運転時に検知）。	

「F-XX」という表示の場合

停電など商用電源の異常のため、パワーコンディショナの運転を停止しました。
停電時には、太陽光発電システム、蓄電池システムともに商用電源との連系運転をすることができません。
そのため、パワーコンディショナが自動停止し、電源復帰を待っています。
自立運転を開始すると、太陽光発電システムで発電した電力を自立運転用コンセントで使用することができます。自立運転を開始する場合は、☞ 139 ～ 141 ページをご覧ください。
停電ではないのに 10 分以上この表示が消えない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター（☞ 181 ページ）へご連絡ください。

エラーコード	意味	対処
F-00	商用電源の電圧が上昇しています。	商用電源の異常が回復してから約５分で自動的に運転を再開します。そのままの状態でお待ちください。 停電ではないのに約 10 分以上表示が変わらない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。 日中に停電があると、エラーコードが履歴にのこる場合があります。
F-01	商用電源の電圧が低下しています。	
F-02	商用電源の周波数が上昇しています。	
F-03	商用電源の周波数が低下しています。	
F-04	商用電源の電圧が高くなっています。	
F-05	商用電源の停電を検出しました（電源電圧の位相変動を検出）。	
F-06	商用電源の停電を検出しました（周波数シフト方式による出力周波数低下を検出）。	
F-07	商用電源の停電を検出しました（周波数シフト方式による出力周波数上昇を検出）。	
F-08	商用電源が停電、もしくは商用電源の周波数が大幅に低くなっています。	
F-09	商用電源が停電、もしくは商用電源の周波数が大幅に高くなっています。	

「J-XX」という表示の場合

蓄電池の異常を検出し、安全のため運転を停止しました。

エラーコード	意味	対処
J-00	蓄電池コントローラが充放電禁止状態です。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
J-05	蓄電池コントローラが蓄電池モジュールを検出できません。	
J-10	蓄電池コントローラが過電流です。	
J-15	蓄電池コントローラが過放電です。	
J-25	蓄電池コントローラが通信異常です。	
J-30	蓄電池コントローラ端子台温度ヒューズが切れました。	
J-35	蓄電池コントローラ ブレーカーが切れています。	
J-50	蓄電池モジュールが通信異常です。	
J-55	蓄電池モジュールが過電圧です。	
J-60	蓄電池モジュールが過放電です。	
J-65	蓄電池モジュールが過電流です。	
J-70	蓄電池モジュールのセル電圧がアンバランスです。	
J-75	蓄電池モジュールが温度異常です。	
J-80	蓄電池モジュールのアドレス設定が誤っています。	
J-90	蓄電池その他の異常です。	
J-95	蓄電池切替器温度ヒューズが切れました。	
J-96	蓄電池切替器が異常です。	

「K-XX」という表示の場合

蓄電池の異常を検出し、安全のため一時的に運転を待機しています。

エラーコード	意味	対処
K-00	蓄電池コントローラ充放電異常です。	しばらく（約 10 秒）そのままの状態でお待ちください。自動的に運転を再開します。
K-25	蓄電池コントローラーと蓄電池パワーコンディショナ間の通信が異常です。	
K-50	蓄電池コントローラーと蓄電池モジュール間の通信が異常です。	
K-75	蓄電池モジュールの温度が異常です。	蓄電池の温度が動作温度範囲内になると表示が消えます。表示が消えない場合は修理相談センター(☞ 181 ページ)へご連絡ください
K-85	充電温度範囲外です。	蓄電池の内部温度が充電動作温度範囲外のため一時的に、蓄電池の充電を停止しています。自動的に運転を再開します。
K-90	放電温度範囲外または充放電温度範囲外です。	蓄電池の内部温度が動作温度範囲外のため一時的に、蓄電池の充電または放電を停止しています。蓄電池からの放電電力は専用コンセントに供給されません。自動的に運転を再開します。

「L-XX」という表示の場合

蓄電池パワーコンディショナの異常を検出し、安全のため運転を停止しました。

エラーコード	意味	対処
L-00	双方向 DCDC コンバータの出力電圧異常です。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
L-05	双方向 DCDC コンバータの入力電圧異常です。	
L-10	双方向 DCDC コンバータの入力電圧異常です。	
L-15	双方向 DCDC コンバータの充電電流異常です。	
L-20	双方向 DCDC コンバータの放電電流異常です。	
L-25	蓄電池電力線未接続です。	
L-30	双方向 DCDC コンバータリレーが開です。	
L-35	双方向 DCDC コンバータが温度異常です。	
L-40	双方向 DCDC コンバータの通信異常です。	
L-45	双方向 DCDC コンバータの IPM 異常です。	
L-50	双方向 DCDC コンバータの地絡検出です。	
L-55	双方向 DCDC コンバータのその他の異常です。	
L-80	RPR センサーが未接続です。	
L-95	双方向 DCDC コンバータのその他の異常です。	

「P-XX」という表示の場合

太陽電池パネルの出力電圧が規定値を超えたため、パワーコンディショナの運転を停止しました。

エラーコード	意味	対処
P-11	外気温が低下したため、太陽電池モジュールの出力電圧が高くなっています(連系運転時に検知)。	外気温が上昇するまで、しばらくお待ちください。外気温が上昇してしばらくしてもこの表示が消えないときや、たびたび表示される場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
P-13	外気温が低下したため、太陽電池モジュールの出力電圧が高くなっています(自立運転時に検知)。	

「R-XX」という表示の場合

マルチエネルギーモニタの内部処理に異常を検出しました。

エラーコード	意味	対処
R-00	データを保存する際に、異常を検出しました。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
R-01	データを消去する際に、異常を検出しました。	
R-02	時刻データに異常を検出しました。	
R-03	割り込み信号に異常を検出しました。	
R-04	通信データに異常を検出しました。	
R-09	パワーコンディショナ運転切換が失敗しました。	

「S-XX」という表示の場合

売買センサー、外部発電センサー、発電センサーとマルチエネルギーモニタ間の通信に異常があります。

エラーコード	意味	対処
S-00	売買センサー※1とマルチエネルギーモニタ間の通信ができません。	停電の場合は、回復するまでお待ちください。 停電でない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。 日中に停電があると、エラーコードが履歴にのこる場合があります。
S-01	売買センサーからの通信に異常があります。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
S-10	外部発電センサー※2とマルチエネルギーモニタ間の通信ができません。	停電の場合は、回復するまでお待ちください。 停電でない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。 日中に停電があると、エラーコードが履歴にのこる場合があります。
S-11	外部発電センサーからの通信に異常があります。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。
S-20	発電センサー※3とマルチエネルギーモニタ間の通信ができません。	停電の場合は、回復するまでお待ちください。 停電でない場合は、エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。 日中に停電があると、エラーコードが履歴にのこる場合があります。
S-21	発電センサーからの通信に異常があります。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。

※ 1 売買センサーとは、マルチエネルギーモニタに表示する売電量／買電量を計量するセンサーです。
※ 2 外部発電センサーとは、本製品と合わせて使用できる燃料電池やガス発電機などの発電量を計量するセンサーです。
※ 3 発電センサーとは、太陽光発電システムによる発電量を計量するセンサーです。

「U-XX」という表示の場合

蓄電池パワーコンディショナの異常を検出し、安全のため一時的に運転を待機しています。

エラーコード	意味	対処
U-00	内部回路の出力電圧が異常です。	しばらく（約 10 秒）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
U-05	内部回路の入力電圧が異常です。（過電圧）	
U-10	内部回路の入力電圧が異常です。（過放電）	
U-35	内部回路の温度が異常です。	蓄電池パワーコンディショナの温度が高くなっています。パワーコンディショナの周囲に物を置かれていないかご確認ください。 表示が消えない場合は修理相談センター(☞ 181 ページ)へご連絡ください。
U-40	双方向 DCDC コンバータの通信異常です。	しばらく（約 10 秒）そのままの状態でお待ちください。 自動的に運転を再開します。
U-45	蓄電池内部回路のパワーモジュールが異常です。	
U-55	双方向 DCDC コンバータのその他の異常です。	
U-85	RPR が作動しました。	エラーコードを控えて修理相談センター(☞ 181 ページ)にご連絡ください。

エコキュートのお手入れ

お願い

- 機種によって作業内容が異なることがあります。取扱説明書(追補版)がある場合は、本書とあわせてご確認ください。

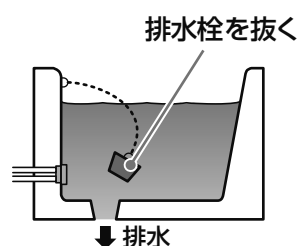
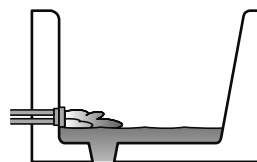
(1) 日常のお手入れ

ふろ配管の洗浄(自動配管洗浄)

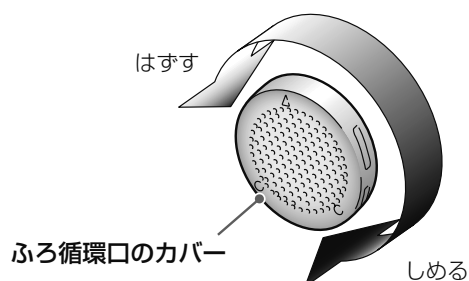
- おふろのお湯を排水すると、自動でふろ配管をきれいな水で洗浄します。

⚠警告

●洗浄するときはふろ循環口から離れる
やけどをすることがあります。

1 **おふろの排水栓を抜き、排水する**

■ふろ循環口付近まで減ると、浴室リモコンの「配管洗浄」が点灯して自動でふろ配管を洗浄します

- 市販または洗濯機付属のふろポンプなどで洗濯用にくみ上げて残り湯が減った場合は、機器が排水を検知できないため、自動配管洗浄が作動しない場合があります。
- 洗浄剤を使ってふろ配管の洗浄をおこなうこともできます。「ふろ配管のお手入れ」(☞157ページ)をご覧ください。
- 初期設定は、ふろ自動洗浄「あり」です。自動配管洗浄をおこなわないようにするには、オプション設定の「ふろ自動洗浄」で「なし」に設定してください。(☞68ページ)
- 入浴中にお湯がふろ循環口付近まで減ると、浴室リモコンの「配管洗浄」が点灯して自動配管洗浄することがあります。
- 湯水混合栓から湯張りをおこなったときは、自動配管洗浄をおこないません。
- ふろ自動ランプ点灯中(保温中)、たし湯中、高温さし湯中、追いだき中、さし水中は自動配管洗浄をおこないません。

（2）１ 週間に １ 回程度のお手入れ

ふろ循環口のお手入れ

■ ふろ循環口のカバーを取りはずし、歯ブラシなどでフィルター部のゴミや湯アカ等の汚れを落とします

お願い

●取り付けがゆるいと、運転中にはずれ故障の原因になります。確実に元どおりに取り付けてください。

メモ

●フィルターが詰まると、ふろ自動運転のときにふろ湯量やふろ温度が設定したとおりにならないことがあります。
●ふろ循環口の形状は、メーカーによって若干異なります。

（3）１ 年に ２ ～ ３ 回程度のお手入れ

漏電ブレーカーの動作確認

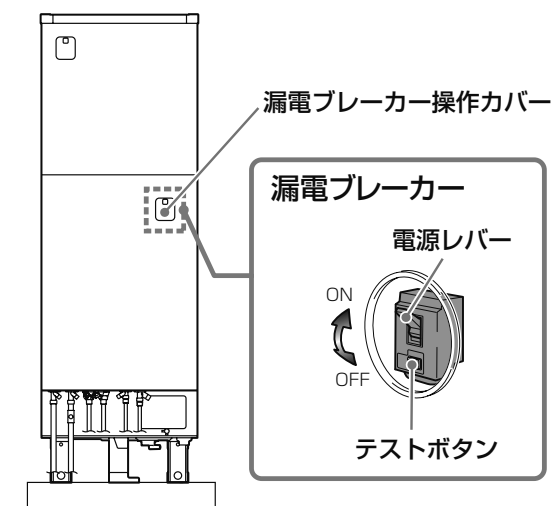
⚠警告

●**漏電ブレーカーの動作を確認する**
故障のまま使用すると、感電することがあります。

●**漏電ブレーカーを操作するときは、ぬれた手でおこなわない**
感電することがあります。

⚠注意

●**動作確認後、漏電ブレーカー操作カバーを閉じる**
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

◆ 貯湯ユニット

1 漏電ブレーカー操作カバーをはずし、漏電ブレーカーのテストボタンを押す

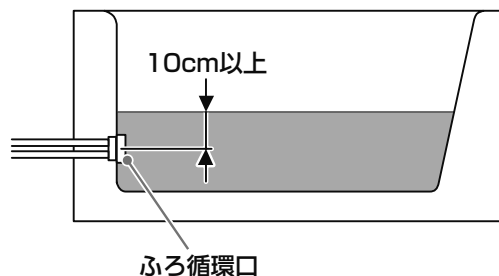
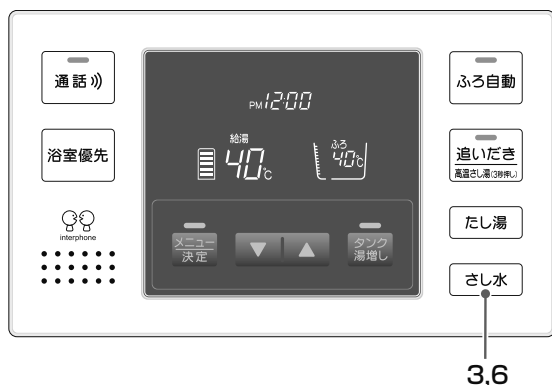
● 電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。

2 点検終了後、電源レバーを「ON」に戻し、操作カバーを元どおりに取り付ける

（4）1 年に 2 ～ 3 回程度のお手入れ

ふろ配管のお手入れ

⚠警告

●洗浄するときはふろ循環口から離れる
やけどをすることがあります。

◆ 浴室リモコン

◆ 浴室リモコン表示部

お願い

●正しい手順で最後まで作業をおこなってください。手順 6 のすすぎ作業を途中でやめると、次回の湯張り時に洗浄剤のまじったお湯が出ます。

●ふろ配管からの汚れが気になるような場合は、洗浄剤を使ってふろ配管を洗浄することができます。

1 **入浴後、おふろのお湯を排水せずに残しておく**

- 残り湯がふろ循環口中心より 10cm 以上あることを確認してください。

2 **おふろに洗浄剤を入れる**

- 洗浄剤は市販のジョンソン株式会社製「ジャバ（1 つ穴用）」をおすすめします。
- 使用量などの取扱いについては、洗浄剤付属の説明書にしたがってください。

3 **おふろに水があることを確認して、[さし水]を 3 秒以上長押しする（洗浄）**

- 「配管洗浄」が点灯して、ふろ配管を洗浄します。音声で「配管洗浄をします」とおしらせします。
- ふろ注湯表示バーが点滅します。
- 配管洗浄運転では、約 15L の水をふろ循環口から出した後、ふろ配管に水（お湯）を約 15 分循環させます。

4 **「配管洗浄」が消灯したら、おふろの水（お湯）を排水する**

5 **ふろ循環口のカバーを取りはずし、歯ブラシなどでフィルター部のゴミや湯アカ等の汚れを落とす**

6 **おふろに水がないことを確認して、[さし水]を 3 秒以上長押しする（すすぎ）**

- 「配管洗浄」が表示され、ふろ配管に水を約15L流します。
- ふろ注湯表示バーが点滅します。

7 **洗浄剤のまじった水が出なくなるまで数回手順 6 を繰り返す。浴槽内の汚れはシャワー等で流し、ふろ循環口のカバーを元どおりに取り付ける**

（5）1 年に 2 ～ 3 回程度のお手入れ

逃し弁の点検

⚠警告

●逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない
やけどをすることがあります。

◆ 貯湯ユニット

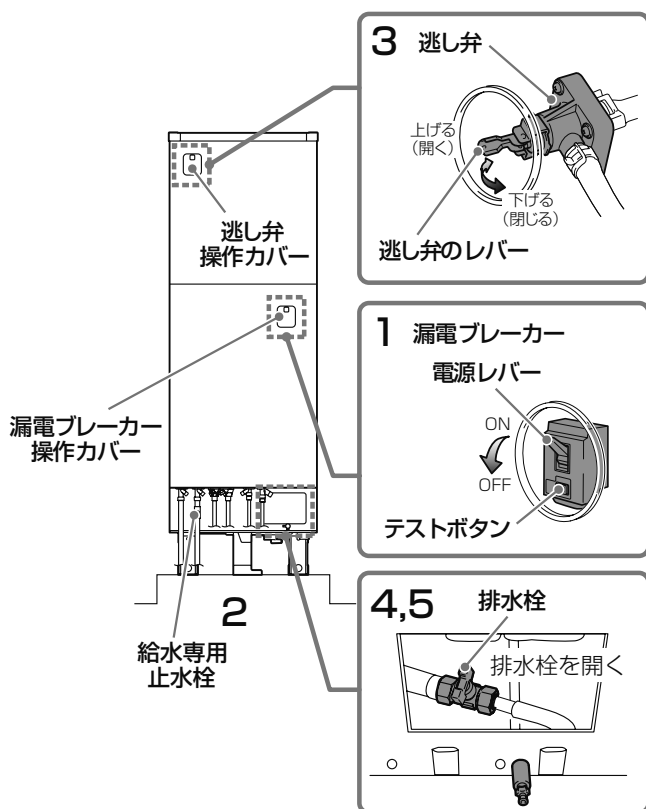
⚠注意

●逃し弁の点検をする
正しく作動しないと貯湯ユニットや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

●点検後、逃し弁操作カバーを閉じる
開けたままにしておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

1 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを 2 ～ 3 回上下に動かす
- 上げたときのみ、排水口から水（お湯）が出れば正常です。

2 点検終了後、逃し弁のレバーを下げ、操作カバーを元どおりに取り付ける

貯湯ユニット（タンク）のお手入れ

●貯湯ユニット（タンク）内の汚れなどを排水してください。

◆ 貯湯ユニット

⚠警告

●排水時にはお湯に手を触れない
やけどをすることがあります。

●漏電ブレーカーを操作するときは、ぬれた手でおこなわない
感電することがあります。

1 漏電ブレーカー操作カバーをはずし、漏電ブレーカーの電源レバーを「OFF」にする

2 給水専用止水栓を閉じる

3 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる

4 排水栓を開き、貯湯ユニット内の水を排水する

5 1 ～ 2 分間排水し、汚れがなくなったら排水栓を閉じる

6 お手入れ完了後「水抜き後、ご使用になるとき」の手順で作業をおこなう（☞ 167 ページ）

（6）1 年に 1 回程度のお手入れ

貯湯ユニット（タンク）のお手入れ

1 貯湯ユニット内の水をすべて排水する

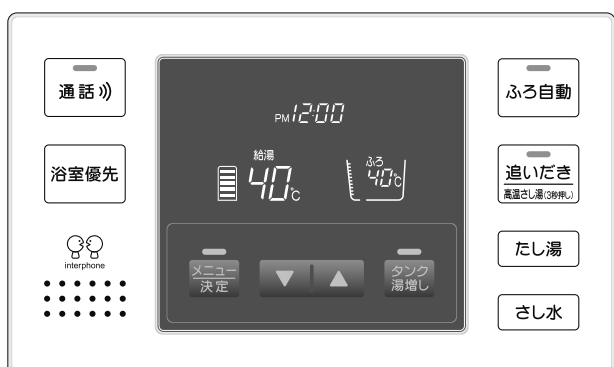
- 「 長期間お湯を使用しないとき」（☞ 164 ～ 166 ページ）を参照してください。

2 排水完了後、水のにごりがなくなるまで、給水・排水を繰り返す

3 お手入れ完了後、貯湯ユニット内を満水にする

- 「 水抜き後、ご使用になるとき」（☞ 167 ～ 168 ページ）を参照してください。

■ リモコンのお手入れ

◆ 浴室リモコン

■ リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ります

お願い

- リモコン内部には電子部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。
- 洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

時刻の確認

●時刻がずれている場合は、マルチエネルギーモニタで時刻を合わせてください。（☞ 92 ページ）
時刻がずれていると、電気料金が高くなる場合があります。（☞ 109 ～ 110 ページ）

エコキュート

● 家庭用ヒートポンプ給湯機を長くお使いいただくために、3～4年に一度定期点検（有料）をおこなってください。

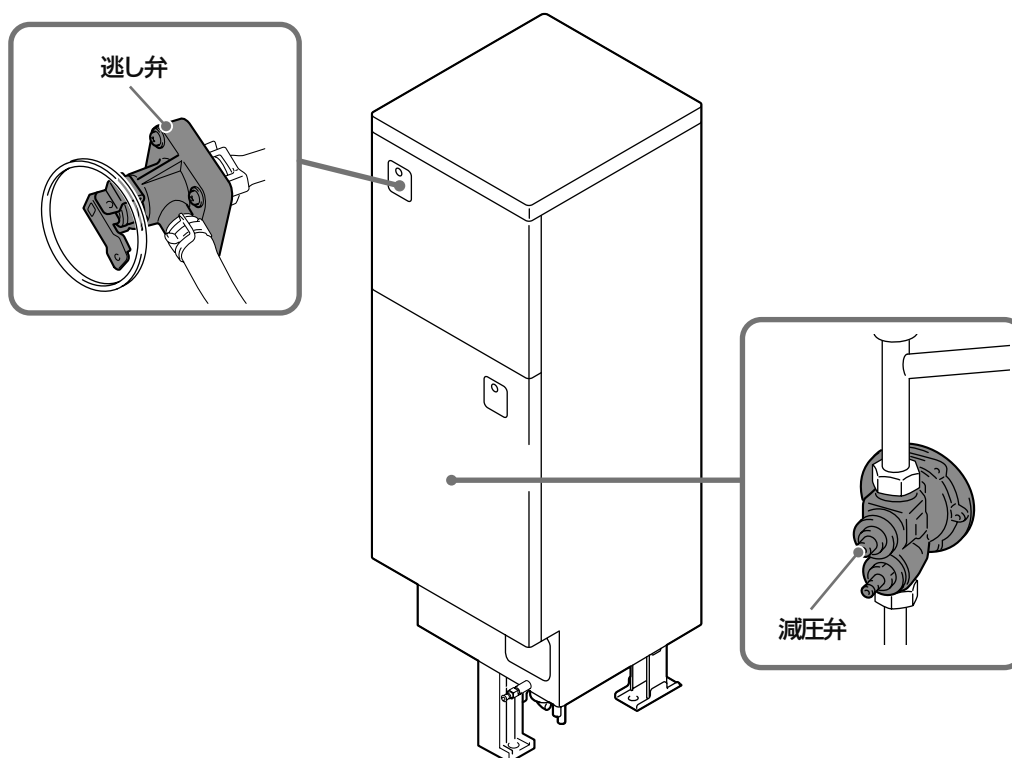
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検（有料）の実施をおすすめします。時期は４～６年に１度程度をおすすめします。

定期点検の主な内容

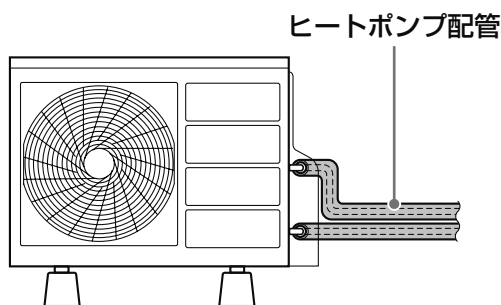
定期点検については、販売店にご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

項　目	内　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処理、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（逃し弁減圧弁）などの点検。
清　掃	貯湯ユニット内の清掃。（タンク内沈殿物の除去など）

消耗部品の交換

逃し弁、減圧弁は消耗品です。

冬期は暖かい地域でも、給水・給湯配管、ふろ配管、ヒートポンプ配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
お買い上げの販売店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

ヒートポンプ配管の凍結予防

●凍結しそうな外気温になると、ヒートポンプユニットを自動的に運転してヒートポンプ配管内の凍結を予防します。

⚠注意

●電源を「OFF」にしない
冬期は凍結して機器が破損することがあります。電源を「OFF」にする場合は、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。（☞ 164 ～ 166 ページ）。

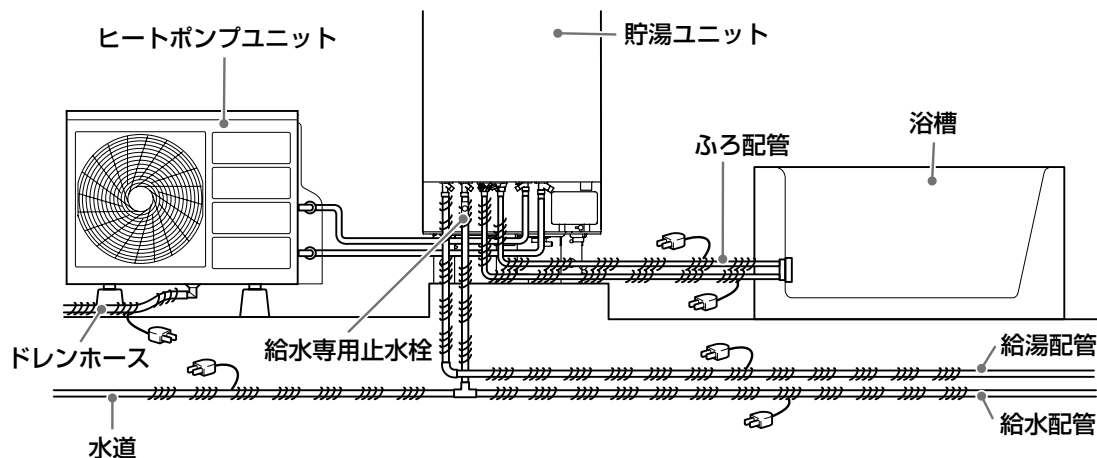
■ 電源を入れたままにしておきます

●外気温が約 3℃以下になると、自動でヒートポンプ配管に水を循環させます。また、外気温がさらに低いときには、ヒートポンプユニットが運転する場合があります。

凍結防止ヒーター（その他配管の凍結予防）

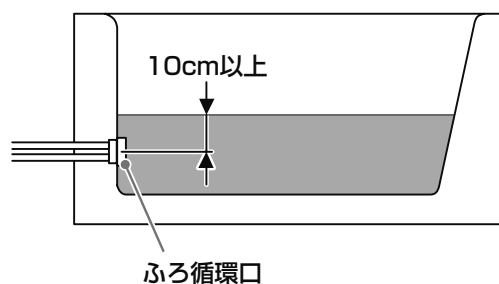
● 凍結防止ヒーターを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込みます。
● 凍結防止ヒーターを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

●配管の凍結防止対策を確認する
凍結すると機器が破損したり、配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

お願い

● 配管が凍結した場合は、給水専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ふろ配管の凍結予防（おふろの残り湯循環）

●ふろ自動保温または追いだき終了後、凍結しそうな外気温になると、循環ポンプを自動的に運転してふろ配管の凍結を予防します。凍結するおそれのある地域では、凍結防止ヒーターでの凍結予防もおこなってください。

■ **入浴後、おふろのお湯を排水せず残しておきます**

● 循環ポンプが凍結するおそれのある気温になると、循環ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。凍結のおそれのあるときは、おふろに循環口より 10cm 以上水を残して、循環ポンプが空運転しないよう注意してください。

この方法は、循環ポンプの凍結は予防しますが、ふろ配管の凍結は防げませんので、ふろ配管は必ず保温材を巻くなどして凍結予防の処置をしてください。

また、貯湯ユニットやふろ循環口との接続部についても、露出していると凍結のおそれがありますので必ず保温してください。

メモ

●ふろ自動保温または追いだき終了後、入浴中でも凍結予防運転が働き、配管内の冷めたお湯がおふろに出ることがあります。
●残り湯がある場合は、凍結予防の条件になると繰り返し凍結予防運転をおこないます。
●残り湯が少ないときや、ない場合は、ふろ循環口からボコボコと音がしたり、水が出たりすることがありますが、異常ではありません。

不凍結水栓により給水・給湯配管の凍結予防をおこなう場合

⚠警告

●**お湯を使う前には必ず湯温を確認する**
やけどをすることがあります。

—不凍結水栓をご使用になる地域のお客様へ—

●不凍結水栓で水抜きをした翌日の給湯は、給水・給湯配管の水が抜けているため、お湯・シャワーが一時的に途切れたり、湯温が変動する場合があります。

エコキュート －休止設定（15 日間まで）

旅行などで数日間お湯を使用しないときは、沸きあげを休止させることができます。
最長 15 日間までの設定ができます。（ただし、午前 0 時～ 2 時の間は、14 日間までしか設定できません。）
マルチエネルギーモニタからおこないます。

⚠注意

●電源を「OFF」にしない
冬の凍結のおそれがあるときには、自動的に凍結予防運転をおこない、ヒートポンプ配管およびヒートポンプユニットの凍結を予防します。また、貯湯ユニットは凍結防止ヒーターで凍結を予防します。

お願い

15 日間までの休止設定はできますが、16 日間以上の長期間不在の場合は、水抜きをおこなってください。（☞ 164 ～ 166 ページ）

1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面 2/2 へ移行し、［エコキュート休止設定］をタップする

エコキュート休止設定の画面が表示されます。

2 帰宅予定日を入力して［決定］をタップする

「年」の入力枠をタップし、右のテンキーで年を入力します。次に「月」の入力枠をタップし、右のテンキーで月を入力します。最後に「日」の入力枠をタップし、右のテンキーで日を入力します。設定が完了したら、［決定］をタップします。

3 画面の内容を確認して［決定］をタップする

● 「しばらくお待ちください」と表示後、「設定されました」と音声でおしらせし、設定画面 2/2 に戻ります。

4 エコキュートのトップ画面に帰宅予定日が表示されます

［設定］をタップすると、エコキュート休止設定の画面に移行します。

エコキュート休止設定を解除する場合は、手順 2 のエコキュート休止設定で［解除］をタップし、確認画面で［決定］をタップしてください。

長時間（16 日間以上）お湯を使用しないときは、以下の方法で水抜きをしてください。

お願い

● 機種によって作業内容が異なることがあります。取扱説明書(追補版)がある場合は、本書とあわせてご確認ください。

⚠警告

●排水時はお湯に手を触れない
やけどをすることがあります。

●貯湯ユニットの内部配管には手を触れない
やけどをすることがあります。

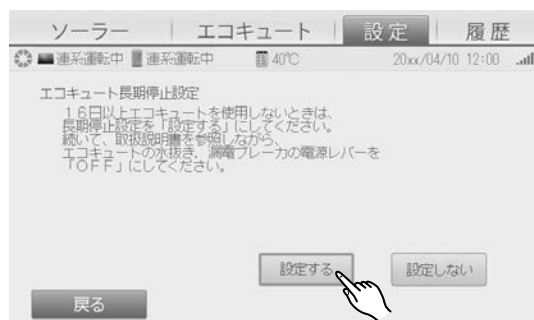
●漏電ブレーカーを操作するときは、ぬれた手でおこなわない
感電するおそれがあります。

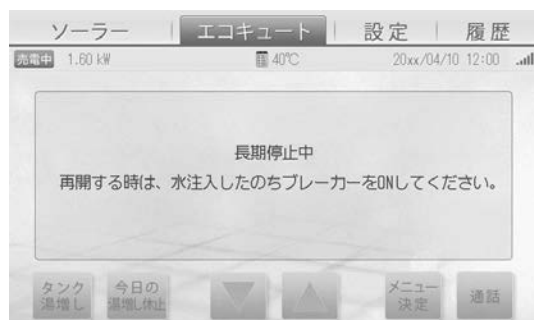
⚠注意

● 16 日間以上使用しないときは、漏電ブレーカーの電源レバーを「OFF」にして貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をする
排水をしないと水質が変化することがあります。また、冬期は凍結して機器が破損することがあります。

●操作カバーを閉じる
開けたままにしておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

1 **設定のタブをタップし、設定のトップ画面で ▶ をタップして設定画面 2/2 へ移行し、［エコキュート長期停止設定］をタップする**

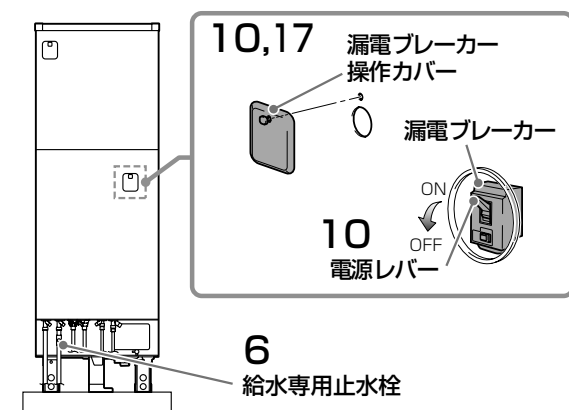
エコキュート長期停止設定の画面が表示されます。

2 **［設定する］をタップする**

● 「しばらくお待ちください」と表示後、「設定されました」と音声でおしらせし、設定画面 2/2 に戻ります。

3 **エコキュートのトップ画面に「長期停止中 再開する時は、水注入したのちブレーカーをONしてください。」と表示される**

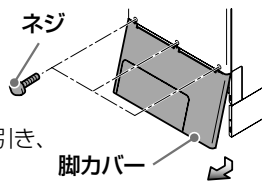
以下水抜き作業になります。（手順 4 へ）

エコキュート長期停止の設定をしたが、すぐに設定を解除するなど、ブレーカーを OFF にせずに解除する場合は再度手順 1、2 より［設定しない］をタップしてください。

メモ

●お湯を使用しない期間が 15 日間以内の場合は、休止設定をおすすめします。（☞ 163 ページ）

◆ 貯湯ユニット

別売部品の配管カバーまたは脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。
（カバーの端面で手を切らないよう注意してください。）

【はずし方】
(1)ネジ3本をはずす。
(2)カバーを上下に
動かしながら手前に引き、
ツメをはずす。

4 湯水混合栓を湯側全開にして、貯湯ユニット内をほぼ水の状態にする

5 お湯がぬるくなったら、湯水混合栓を閉じる

貯湯ユニットの熱湯を下水に流さないための必要な操作です。

6 給水専用主水栓を閉じる

7 おふろの排水栓を抜く

手順８の操作をするとふろ配管の水抜きをします。

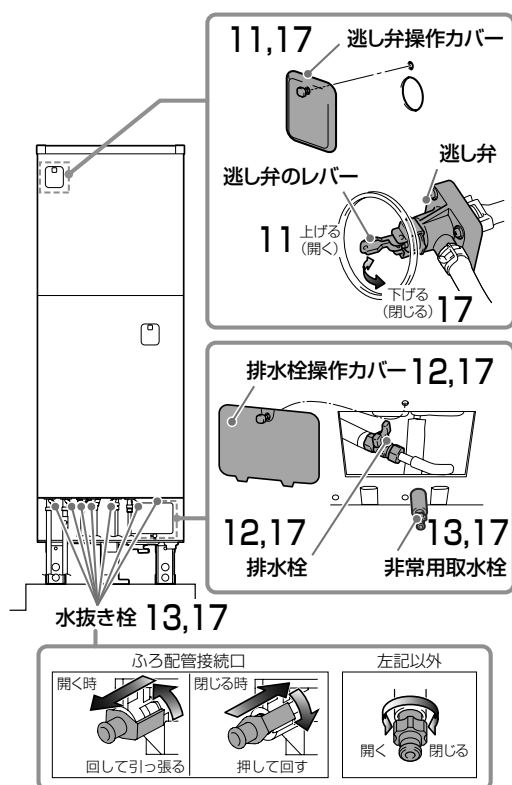
8 （ホーム）を５秒以上長押しする

ショートカット画面が表示されます。（☞ 109ページ）

9 ［水抜き制御］をタップする

「水抜き中」が画面に表示されます。
「水抜き」をやめる場合は（メニュー決定）をタップする。
ふろ配管の水抜きが完了すると通常表示になります。

10 漏電ブレーカー操作カバーをはずし、漏電ブレーカーの電源レバーを「OFF」にする

<以下次のページに続く>

◆ 貯湯ユニット

◆ ヒートポンプユニット

11 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる

12 排水栓操作カバーをはずし、排水栓を開く

※ 排水が終わるまでに 30 ～ 40 分かかります。

13 排水が終わったら貯湯ユニットの水抜き栓（7 ヵ所）と非常用取水栓を開く

（必要な場合はバケツ等で水を受けてください。）

◆ ヒートポンプユニット

14 ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを止めているネジをはずし、下へスライドさせツメ（5ヵ所）をはずしカバーを取りはずす

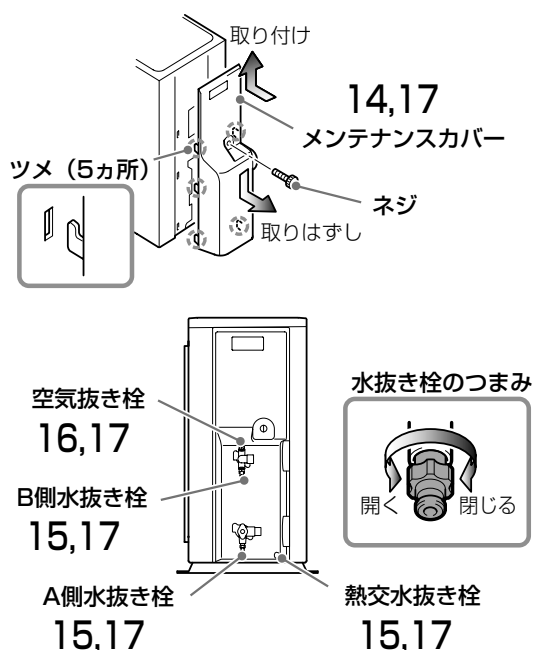
必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

15 ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、次に A 側および B 側の水抜き栓を開く

※ 排水が終わるまでに約 20 分かかります。

16 ヒートポンプユニットの空気抜き栓を開き、各水抜き栓からの排水を確認する

※ 機種によっては、空気抜き栓がない場合があります。空気抜き栓のない場合は、取扱説明書（追補版）の手順に従ってください。

17 排水が終わったら、逃し弁のレバーを下げて、すべての栓と操作カバーおよびヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを元どおりに戻す

お願い

●長期間お湯を使用しない間に、凍結のおそれがある場合で、水抜き作業が困難な場合は、お買い上げの販売店に依頼してください。

水抜き後、ご使用になるときは、以下の作業をおこなってください。

お願い

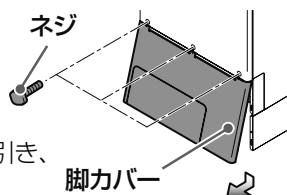
● 機種によって作業内容が異なることがあります。取扱説明書(追補版)がある場合は、本書とあわせてご確認ください。

別売部品の配管カバーまたは脚カバーを装着している場合は、カバーをはずしてください。

(カバーの端面で手を切らないよう注意してください。)

【はずし方】

(1)ネジ3本をはずす。

(2)カバーを上下に動かしながら手前に引き、ツメをはずす。

⚠警告

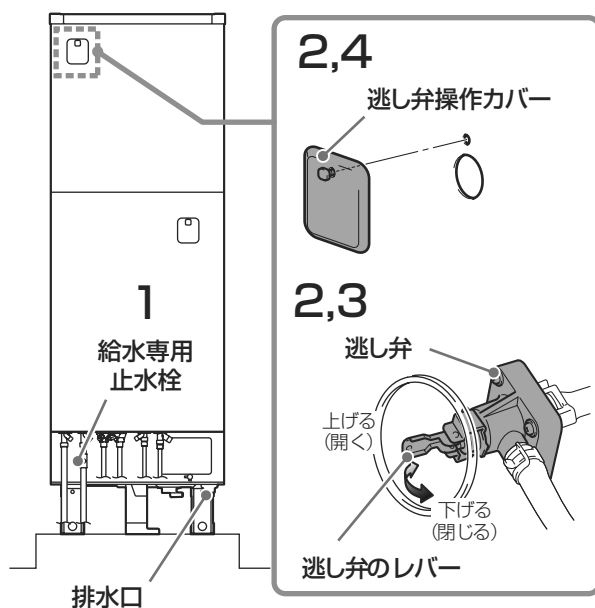
●**漏電ブレーカーを操作するときは、ぬれた手でおこなわない**

感電することがあります。

⚠注意

●**貯湯ユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる**

満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

◆ 貯湯ユニット

貯湯ユニットとヒートポンプユニットを満水にする

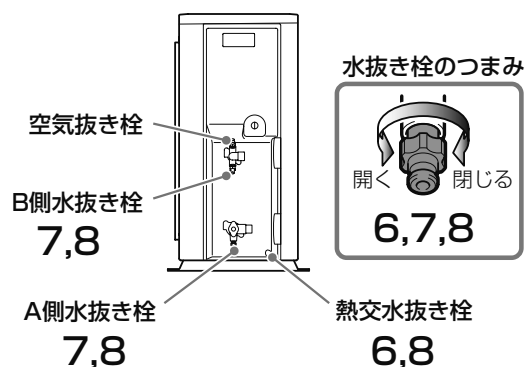
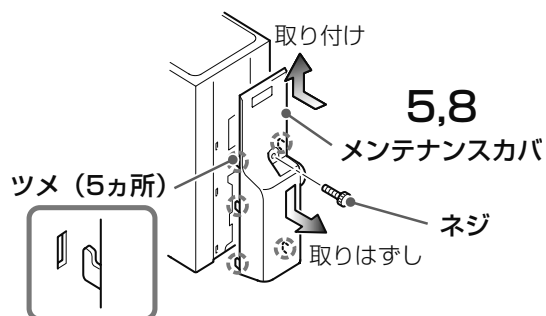
1 給水専用止水栓を開く

2 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる

約 30 分で貯湯ユニットが満水になります。

3 排水口から水が出たら逃し弁のレバーを下げる

4 逃し弁操作カバーを元どおりに取り付ける

〈以下次ページに続く〉

◆ ヒートポンプユニット

5 ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを止めているネジをはずし、下へスライドさせツメ（5ヵ所）をはずしカバーを取りはずす

- 必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

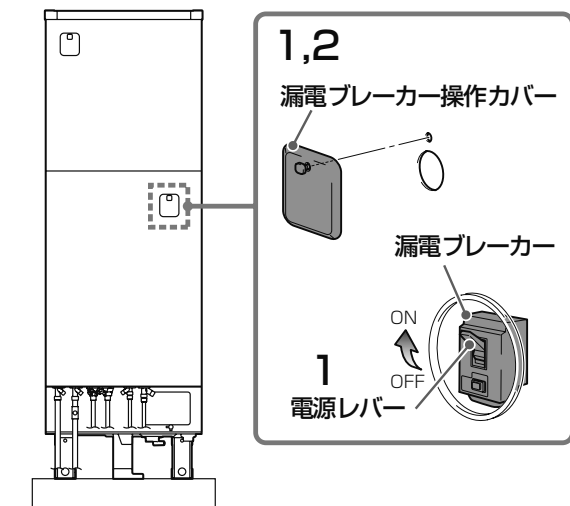
6 ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、エア抜きをする

- 2分以上､十分にエアが抜けるまでおこなってください。

7 ヒートポンプユニットのA側およびB側の水抜き栓を開き、エア抜きをする

- 十分なエア抜きをおこなってください。
- 空気抜き栓がない機種の場合は、A側水抜き栓は開けないでください。

8 エア抜きが終わったら水抜き栓（A側、熱交､B側）を閉じ､メンテナンスカバーを元どおりに取り付ける

◆ 貯湯ユニット

電源を入れる

1 漏電ブレーカー操作カバーをはずし、漏電ブレーカーの電源レバーを「ON」にする

- ヒートポンプ配管のエア抜き運転を開始します。
  「ヒートポンプ エア抜き中」が表示されます。

※ 電源を「OFF」にしていた期間が24時間以内であれば、エア抜き運転はおこないません。

- 約10分でエア抜き運転が終了します。
- エア抜き運転が終了すると、ヒートポンプユニットが運転をはじめ、「湯増し」が表示されます。

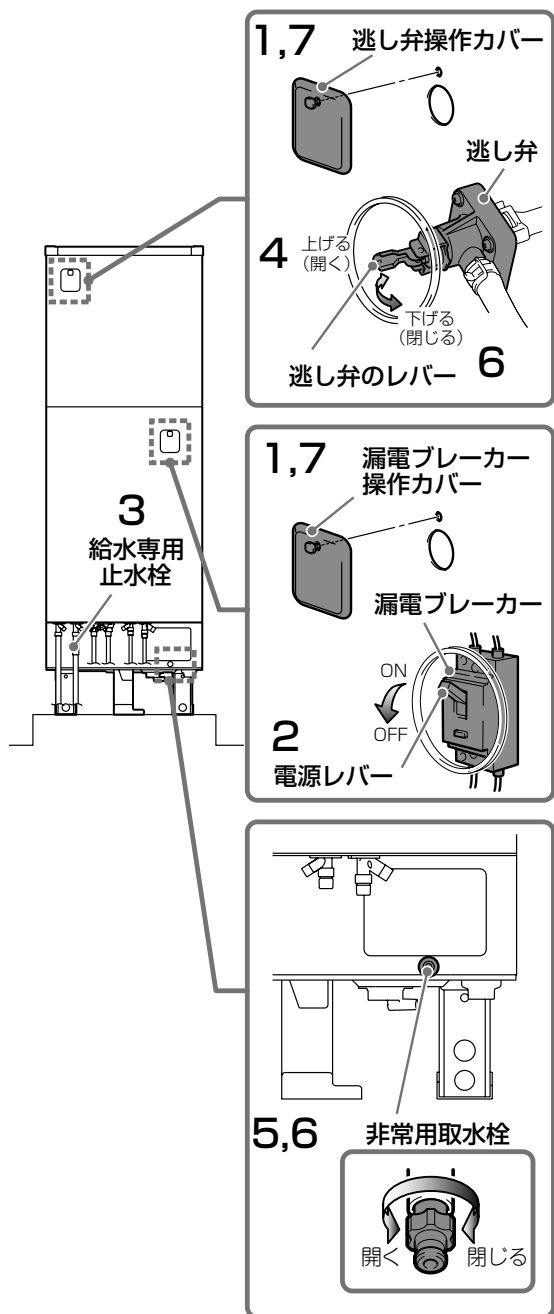
2 漏電ブレーカー操作カバーを元どおりに取り付ける

※マルチエネルギーモニタの時刻が間違っている場合は、時刻を合わせ（☞92ページ）、各種設定（給湯温度、ふろ温度）をしてください。

地震などの災害時や断水時に、貯湯ユニット内のお湯（水）を生活用水として使用することができます。

お願い

● 機種によって作業内容が異なることがあります。取扱説明書(追補版)がある場合は、本書とあわせてご確認ください。

◆ 貯湯ユニット

⚠警告

●**取水時はお湯に手を触れない**
やけどをすることがあります。

●**漏電ブレーカーを操作するときは、ぬれた手でおこなわない**
感電することがあります。

⚠注意

●**飲用には用いないでください**
貯湯ユニットに滞留していた水なので、生活用水として使用してください。

※準備するもの
容器（やかん、バケツなど）

1 貯湯ユニットの操作カバー（逃し弁、漏電ブレーカー）をはずす

2 漏電ブレーカーの電源レバーを「OFF」にする

3 給水専用止水栓を閉じる

4 逃し弁のレバーを上げる

5 非常用取水栓を開き、容器に水を受ける

6 取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げる

7 操作カバー（逃し弁、漏電ブレーカー）を元どおりに取り付ける

お願い

●再びご使用になるときは「水抜き後、ご使用になるとき」（☞ 167 ～ 168 ページ）の手順で作業をおこなってください。

停電したとき

●この給湯機は、停電してもお客様の設定した「時刻」、「運転モード」などの設定は記憶しています。ただし、24 時間以上停電が続いた場合、下記の設定が初期設定に戻りますので、その場合は再度設定をしなおしてください。

停電した場合

ふろ自動運転が停止することがあります。

●停電によってふろ自動運転が停止し浴槽の湯が冷めてしまった場合は、浴槽内の湯を全部排水してから、ふろ自動運転をおこなってください。
停電終了後、再度ふろ自動運転をおこなってください。

●瞬時の停電であれば、停電終了後、ふろ自動運転を再開します。

停電が 24 時間以上続いた場合

各設定がリセットされています。

●給湯温度（☞ 42 ～ 43 ページ）、ふろ温度（☞ 51 ページ）が初期設定に戻ります。
再度設定をしてください。

湯切れする場合があります。

●「タンク湯増し」（☞ 44 ページ）をおこなうか、運転モードを「満タン」に設定してください。（☞ 61 ページ）

湯張りの予約（ふろ予約）が解除されています。

●再度予約をしてください。（☞ 66 ページ）

長時間の停電となる場合

●冬期は凍結して機器が破損することがあります。貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。（☞ 164 ～ 166 ページ）

マルチエネルギーモニタの表示が「－－：－－」で点滅している場合

時刻がリセットされています。

●時刻合わせをしてください。（☞ 92 ページ）

断水・水道工事がおこなわれるとき

●断水したときや、近くで水道工事がおこなわれるときは、貯湯ユニットの給水専用止水栓を閉じてください。

●断水・水道工事が終了したら、水道用の蛇口を開き、水の汚れがなくなったことを確認してから、貯湯ユニットの給水専用止水栓を開いてください。水の汚れがなくならないうちに開くと、にごった水が貯湯ユニット内のストレーナを目詰まりさせ、お湯の出が悪くなったり、お湯がにごる原因になります。

●断水・水道工事中は、お湯を使用しないでください。エラーを表示する場合があります。

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

Q ふろ循環口からボコボコ音がする。

A 気温が低いとき、ふろ配管の凍結予防のため、おふろの残り湯をポンプで循環させます。特に残り湯がない場合または残り湯の水面がふろ循環口付近の場合は、ボコボコ音が出ます。
（「凍結予防」（☞161～162ページ）を参照してください。）

Q 浴槽や洗面器具に青いすじがつく。

A 水中に含まれる銅イオンと石けんなどに含まれている脂肪酸が反応してできた青色の銅石けんが付着したものです。処置の方法は176ページを参照してください。

Q お湯から油がでる、お湯が臭い。

A 初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

Q お湯が白くにごって見える。

A 水に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。

Q ふろ専用の洗浄剤は使えますか？

A 洗浄剤の利用は可能です。洗浄方法は「ふろ配管のお手入れ」（☞157ページ）を参照してください。

Q マルチエネルギーモニタの表示が「- - : - -」で点滅している。

A 時刻がリセットされています。時刻を合わせてください(☞92ページ)。

Q お湯を使っていないのに、マルチエネルギーモニタの貯湯量表示が減る。

A マルチエネルギーモニタの貯湯量表示は、貯湯ユニット内の約50℃以上のお湯の量を表示しています。

例1）朝は貯湯量表示が5本なのに、帰宅すると貯湯量表示が減っている場合
答1）貯湯ユニット内のお湯は自然放熱により冷めます。お湯を使わない場合でも、貯湯ユニット内のお湯の温度が低下すると貯湯量表示が減ります。
例2）追いだきをすると貯湯量表示が減る場合
答2）追いだきは、貯湯ユニット内のお湯の熱を利用します。このとき貯湯ユニット内のお湯の温度が低下すると貯湯量表示が減ります。

Q 浴室リモコンと通話できない。

A 定期メンテナンス中/再起動中は、浴室リモコンとの通話はできません。

Q ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す。

A 気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。
また、ヒートポンプ配管およびヒートポンプユニット内の凍結予防のため、運転／停止を繰り返します。

Q 沸きあげ運転中、ヒートポンプユニットの下部から水が出る。

A ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出ます。
また、気温が低いときは、熱交換器の除霜のため、溶けた水が多く出ます。

Q ヒートポンプユニットが深夜時間帯に運転していない。

A 運転開始時間は、今までの使用湯量を考慮して自動制御しています。（早く沸かしすぎて冷めないように制御しています。）

Q 沸きあげ運転中、ヒートポンプユニットの背面の熱交換器が霜で白くなる

A 冬期運転中は熱交換器に霜がつくことがあります。

Q 貯湯ユニットの排水口からお湯が出ている。

A 沸きあげ運転時は、貯湯ユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

Q お湯が出ない。

A どこの蛇口からもお湯が出なければ凍結の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
（「凍結予防」☞161～162ページを参照してください。）

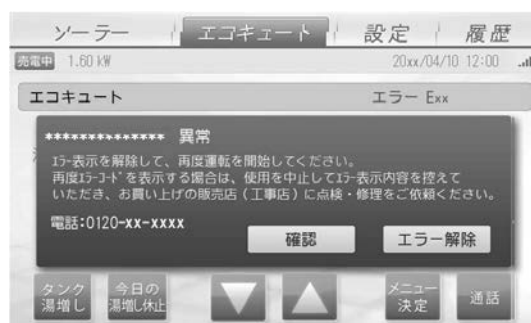
エラー表示

機器に異常が発生したとき、マルチエネルギーモニタに次のように表示し、異常をおしらせします。

◆ マルチエネルギーモニタ

● エラー表示　E12、E39 以外の場合

1. ①と②を約 3 秒間隔で交互に表示します。

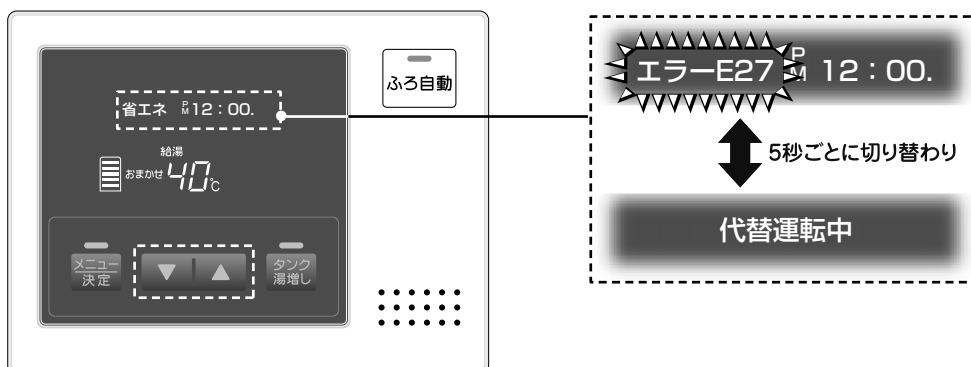
2. [詳細] をタップすると、エラーの詳細、対応が表示されます。

● エラー表示　E12、E39 の場合

1. 次の画面が表示され、ブザーが鳴ります。

[ブザー停止] をタップするか、(ホーム) または (実績/ふろ自動) を押すか、1 分経過後に、エラー表示画面に変わります。

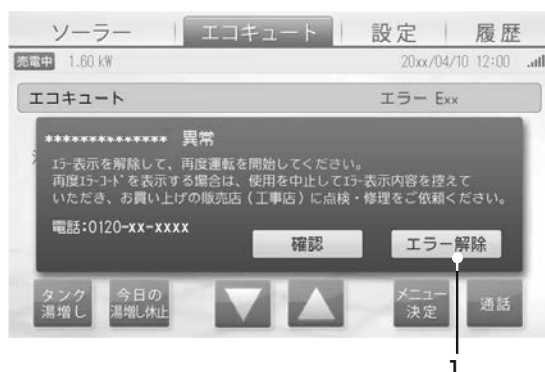
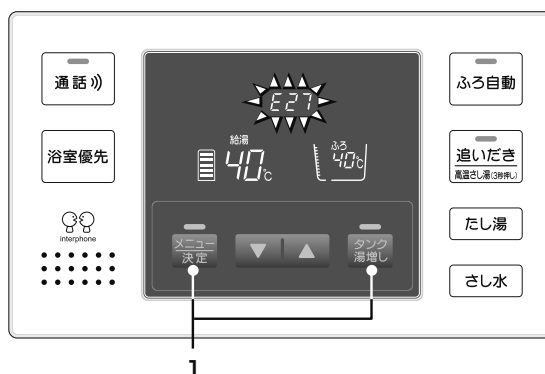
2. [詳細] をタップすると、エラーの詳細、対応が表示されます。

◆ 増設リモコン

機器に異常が発生したとき、リモコンで次のように表示して、警告音が鳴って異常をおしらせします。
（約 5 秒ごとに表示が切り替わります。）

● 「エラー＊＊＊TEL＊＊＊」や「エラー＊＊＊修理必要」と表示されたときは、機器は停止しています。
● 「代替運転中」や「湯はり停止中」などと表示されたときは、機器は作動しています。

もくじ
はじめに
各部の名前とはたらき
システムを使う
エコキュートを使う
発電実績
設定する
Webモニタリングサービス
このようなときは
索引

エラー表示を解除するとき

◆ マルチエネルギーモニタ

◆ 浴室リモコン

1 マルチエネルギーモニタの エラー解除 をタップする（E12 は解除できません）

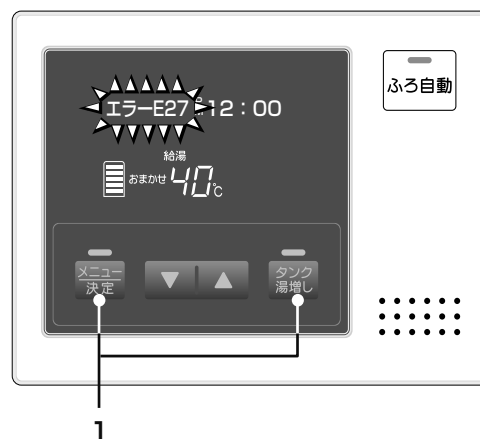
浴室リモコンの メニュー決定 と タンク湯増し を同時に 5 秒以上長押しします。

- エラー表示が消え、通常表示に戻ります。
- エラーコードを表示しない場合は、そのままご使用ください。
- 再度エラーコードを表示する場合は､使用を中止して「エコキュートエラー」ということとエラーコードを控えていただき、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
- 増設リモコンからも メニュー決定 と タンク湯増し を同時に 5 秒以上長押しするとエラー表示を解除できます。

表　示	原　因	処　置
E01 ～ E52	貯湯ユニット関係の故障	エラー表示を解除して、再度運転を開始してください。再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
H03 ～ H31	ヒートポンプユニット関係の故障	
E12	給湯高温異常	給湯の使用を中止して、お買い上げの販売店までご連絡ください。
E37	別売部品の漏水センサー作動	貯湯ユニットの専用止水栓（給水配管）を閉じ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆ 増設リモコン

1 メニュー決定 と タンク湯増し を同時に 5 秒以上長押しする

- エラー表示が消え、通常表示に戻ります。
- エラーコードを表示しない場合は、そのままご使用ください。
- 再度エラーコードを表示する場合は、使用を中止してエラー表示内容を控えていただき、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

エラー表示がない場合

	症　状	調べるところ・原因	処置・説明
沸上げ	貯湯量表示の減りが早い ●貯湯量表示は、約 50℃以上のお湯の量を表示しています。	外泊などで 1 日以上お湯を使用していない。	貯湯ユニット内のお湯の温度が低下し、早めに表示が減少することがあります。
		給水温度が低い。	貯湯ユニット内のお湯と水道水を混ぜて、約 40℃で給湯します。 給水温度が低い冬は夏よりも貯湯量表示が早く減ります。
		ふろの追いだきをすると貯湯量表示が減る。	追いだき運転やふろ自動運転をおこなうと、貯湯ユニットの貯湯量表示が減ることがあります。 湯増しをしてください。(☞ 44 ページ)
	深夜時間帯以外に沸きあげしている	お湯の使用量によっては、昼間でも湯増し運転をおこないます。ただし、運転モードを使いきりに設定している場合は昼間の湯増し運転はおこないません。(☞ 41、62 ページ)	その日だけ休止できる「今日の湯増し休止」スイッチを押すことにより、23 時までの湯増しを休止させることができます。(☞ 46 ページ)

	症　状	調べるところ・原因	処置・説明
給湯	お湯がぬるい お湯がたりない	マルチエネルギーモニタに「○日後に帰宅」が表示されている。	休止設定で、休止解除をおこなってください。 (☞ 163 ページ)
		運転モードの設定が適正でない。	運転モードを変更して使用してください。 (☞ 61 ページ)
		沸きあげ運転時以外でも、排水口からお湯（水）がでている。	逃し弁の点検をしてください。(☞ 158 ページ) 止まらない場合は、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
		お湯の使用量が多いとき。 追いだきが増えたとき。	追いだき運転やふろ自動運転をおこなうと、貯湯ユニットの貯湯量表示が減ることがあります。 湯増しをしてください。(☞ 44 ページ)
	お湯が出ない	給水専用止水栓が閉じている。	給水専用止水栓を開いてください。
		断水している／給水圧が低い。	水道局へ問い合わせてください。
		配管が凍結している。	お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
	お湯の出が悪い	ガス（石油）給湯機と比べると、若干お湯の出が弱くなります。	水道の圧力を減圧して、一定の水圧に調整しています。
		湯水混合栓の種類によっては蛇口を全開にしてもお湯の出が悪い場合があります。	マルチエネルギーモニタの給湯温度を 5 ～ 10℃高めに設定してご使用ください。(☞ 42 ～ 43 ページ)
		貯湯ユニット内のストレーナにゴミがつまっている。	お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
	給湯温度が変更できない	浴室リモコンの浴室優先スイッチが ON になっている	浴室リモコンの浴室優先スイッチを押してから、給湯温度を変更してください。(☞ 42 ～ 43 ページ)

エラー表示がない場合

	症　状	調べるところ・原因	処置・説明
ふろ	ふろ自動を受け付けない	貯湯量表示が（点滅）を表示している。 貯湯ユニット内のお湯が少ない。	タンク湯増しをおこなって、湯量を確保してからおこなってください。（☞44 ページ）
	ふろ自動運転が途中でとまる	貯湯ユニット内のお湯が少ない。	タンク湯増しをおこなって、湯量を確保してからおこなってください。（☞44 ページ）
		運転モードの設定が適正でない。	運転モードを変更して使用してください。 （☞61 ページ）
	ふろ循環口からボコボコ音がする	気温が低い時、ふろ配管の凍結予防運転をします。	「凍結予防」（☞161 ～ 162 ページ）を参照してください。
	ふろ保温運転をしない ふろ保温運転が途中でとまる	ふろ保温時間が「0h」になっている	ふろ保温時間を「0h」以外に設定してください。 （☞68 ページ）
		貯湯ユニット内のお湯が少ない。	タンク湯増しをおこなって、湯量を確保してからおこなってください。（☞44 ページ）
	追いだきができない	貯湯量表示が（点滅）を表示している。 貯湯ユニット内のお湯が少ない。	タンク湯増しをおこなって、湯量を確保してからおこなってください。（☞44 ページ）
		ふろ循環口のフィルター部がつまっていると追いだきが早く終了します。	ふろ循環口のフィルター部を掃除してください。 （☞156 ページ）
		湯張り中、高温さし湯中、たし湯中、さし水中、配管洗浄中	湯張り等動作が完了してから使用してください。
	追いだきの時間が長い	貯湯ユニット内の湯温が低いとき追いだきに時間がかかります。	高温さし湯をしてください。（☞54 ページ）
	おふろのお湯が少ない おふろのお湯が多い	ふろ湯量の設定が適正でない。	ふろ湯量を再度設定してください。（☞52 ページ） またはたし湯をしてください。（☞56 ページ）
	おふろのお湯の量がいつもと違う	ふろ循環口のフィルターが汚れている。	ふろ循環口のフィルター部を掃除してください。 （☞156 ページ）
	おふろのお湯がぬるい おふろのお湯があつい	ふろ温度の設定が適正でない。	ふろ温度を再度設定してください。（☞51 ページ） または追いだき、高温さし湯、さし水を使用してください。（☞53 ～ 55 ページ）
	自動配管洗浄がはたらかない	オプション設定のふろ自動洗浄が「無」になっている。	オプション設定のふろ自動洗浄を「有」にしてください。（☞68、73 ページ）
		浴槽の排水口にゴミ等がつまり、ゆっくり排水している。	浴槽の排水口を掃除してください。
		ふろ循環口が浴槽の高い位置に取り付けられている場合。 極端に早く排水する場合。 凍結予防運転中に排水した場合。	自動配管洗浄がはたらかないことがありますので、手動で配管洗浄をしてください。 手動で配管洗浄する方法……おふろのお湯を排水した後、さし水を 3 秒以上長押ししてください。
		湯張り後の水位がふろ循環口より 10cm 以上ない場合。	水位をふろ循環口より 10cm 以上にするか、または手動で配管洗浄をしてください。
	浴槽や洗面器具に青いすじがつく	水中に含まれる銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応してできた青色の銅石けんが付着したものです。人体に害はありません。	浴槽用洗剤をスポンジなどにつけてこすり、洗い流してください。こまめに掃除することでつきにくくなります。汚れが落ちない場合は、アルカリ系洗剤等をご使用ください。

エラー表示がない場合

	症　状	調べるところ・原因	処置・説明
マルチエネルギーモニタ・リモコン	マルチエネルギーモニタまたは、リモコンの表示部が点灯しない	AC200V 電源ブレーカーが「OFF」になっている。	電源ブレーカーを「ON」にしてください。
		漏電ブレーカーの電源レバーが「OFF」になっている。	漏電ブレーカーの電源レバーを「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、そのままお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
		停電している。	停電が終わるまで待ってください。
	マルチエネルギーモニタまたは、リモコンの表示が消えている	自動消灯設定になっているため、表示が消えている。 節電のため、マルチエネルギーモニタやお湯を使っていない時には消灯します。（初期設定は1分です。）	どれかスイッチを押すと表示が点灯します（☞20ページ）。 点灯時間は変更できます（☞93、107ページ）。
	マルチエネルギーモニタまたは、リモコンの表示が暗い	マルチエネルギーモニタの明るさの設定を確認する（☞93ページ） リモコンの輝度設定が「暗」になっていないか確認する（☞68、73ページ）	マルチエネルギーモニタの明るさ設定（☞93ページ）で［+］をタップすると明るくなります。 オプション設定で浴室輝度、増設輝度を「明」にすると、浴室リモコン、増設リモコンの表示が明るくなります。（☞68、73ページ）
	音声案内をしない 音声案内が小さい	マルチエネルギーモニタまたはリモコンの音量が「なし」や「小」になっている。	マルチエネルギーモニタまたは、リモコンの音量を「中」「大」などに設定してください。（☞68、73、100ページ）
	マルチエネルギーモニタまたは、リモコンの操作音が出ない	マルチエネルギーモニタまたはリモコンの操作音の設定が「なし」になっている。	マルチエネルギーモニタまたは、リモコンの操作音設定を「あり」にしてください。 （☞68、73、100ページ）

エコキュートの仕様

お願い

● 機種によって仕様が異なることがあります。取扱説明書(追補版)がある場合は、本書とあわせてご確認ください。

[システム]

システム型式	WX-SB37F	WX-SB46F
タイプ	フルオート（一般地）	
適応地域※1	次世代省エネ基準Ⅲ～Ⅴ地域	
適用電力制度※2	季節別時間帯別電灯型／時間帯別電灯型（通電制御型）	
使用電源（相数／定格電圧／周波数）	単相 200V　50 ／ 60Hz	
最大電流	17A	
年間給湯保温効率（JIS）※3	3.3	3.2
沸きあげ温度範囲※4	約 65 ～ 90℃	

[貯湯ユニット]

貯湯ユニット型式	WX-B37F	WX-B46F
設置場所	屋内外兼用型	
タンク容量	370L	460L
水側最高使用圧力（減圧弁設定圧力）	190kPa（170kPa）	
外形寸法（高さ×幅×奥行）	1880mm × 630mm × 730mm	1870mm × 700mm × 795mm
質量／満水時	約 69kg ／約 439kg	約 81kg ／約 541kg
ふろ保温消費電力（50kz ／ 60kz）	循環ポンプ 65W	
制御用消費電力	10W（リモコン消灯時 5W）	

[ヒートポンプユニット]

ヒートポンプユニット型式	WU-B37F	WU-B46F
外形寸法（高さ×幅×奥行）	690mm × 820mm（カバー部 +80mm）× 300mm	
質量	57kg	
中間期標準加熱能力／消費電力※5	4.5kW ／ 0.885kW	6.0kW ／ 1.230kW
冬期高温加熱能力／消費電力※6	4.5kW ／ 1.500kW	6.0kW ／ 2.000kW
中間期標準運転電流※7	5.8A	7.1A
運転音（中間期※5 ／冬期※6）※7	38dB ／ 43dB	42dB ／ 45dB
設置可能最低外気温度	-10℃	
設計圧力　高圧／低圧	14.0MPa ／ 8.5MPa	
冷媒の種類／充填量	CO_2 ／ 0.875kg	

※ 1　次世代省エネルギー基準Ⅲ地域：主に宮城、山形、福島、栃木、新潟、長野県の一部など。／次世代省エネルギー基準Ⅳ地域：主に関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州北部など。／次世代省エネルギー基準Ⅴ地域：主に九州南部など。 また最低気温が対応温度を下回る地域には設置しないでください。
※ 2　季節別時間帯別の対応電力制度は、電力会社により異なります。
※ 3　年間給湯保温効率（JIS）は日本工業規格 JIS C9220：2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。地域条件：運転モードの設定やご使用条件等により変わります。／年間給湯保温効率（JIS）＝ 1 年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量÷ 1 年間で必要な消費電力量／年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件／着霜期高温条件：外気温（乾球温度 / 湿球温度）2℃ /1℃水温 5℃沸きあげ温度 90℃／冬期給湯モード条件時の沸きあげ温度 70℃（460L タイプは 67℃）／着霜期給湯モード条件時の沸きあげ温度 70℃（460L タイプは 67℃）/ 夜間消費電力量比率（冬期給湯モード性能試験条件時）：80%
※ 4　ヒートポンプユニットで沸きあげる温度です。タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。
※ 5　中間期：外気温（乾球温度 / 湿球温度）16℃ /12℃水温 17℃沸きあげ温度 65℃、沸きあげ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※ 6　冬期高温：外気温（乾球温度 / 湿球温度）7℃ /6℃水温 9℃沸きあげ温度 90℃、低外気温時は加熱能力が低下することがあります。沸きあげ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※ 7　運転音は、JIS C9220：2011 に基づき、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

太陽光発電システム、蓄電池システム、マルチエネルギーモニタ

製品の保証

●シャープ販売代理店を通じてご購入されたお客様は、同梱されております保証書の「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。シャープ販売代理店以外でご購入されたお客様は、ご購入先販売店の保証取り決めをご確認ください。
●製造番号はアフターサービス上重要なものですから、製品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
●保証期間
お買い上げの日から1年間です。
ただし、太陽電池モジュールの出力は、最大出力の下限値（最大出力の公称値の90%）の90%までを10年間保証いたします。
例：ND-170AAの場合（放射照度1000W／m^2、モジュール温度25℃で測定）

最大出力の公称値	170.0W
最大出力の下限値	153.0W
最大出力の下限値の90%	137.7W

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
●保証書の記載内容により、お買い上げの販売店または当社サービス会社が修理いたします。
くわしくは保証書をご覧ください。
●保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の点があれば、お買い上げの販売店、またはもよりのお客様相談センター（☞181ページ）にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品について

当社は、この住宅用太陽光発電システムと定置型リチウムイオン蓄電池システムの補修用性能部品を、製造打切後、10年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。なお、移設に要する費用は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときには

マルチエネルギーモニタの表示をご確認のうえ、分電盤内のパワーコンディショナ専用ブレーカーを切って運転を停止したあと、お買い上げの販売店もしくは修理相談センター（☞181ページ）に修理をご依頼ください。お客様ご自身での修理はたいへん危険ですので、絶対におこなわないでください。
●保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規程に従って販売店が修理させていただきます。
●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
●修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修理するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

転居や廃棄されるときは

太陽光発電システムを転居などにより別の場所に移されるとき、または廃棄されるときは、有資格者による電気工事が必要になります。また、電力会社との協議が必要になることがありますので、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
なお、移設や廃棄に要する費用は、お買い上げの販売店もしくは修理相談センター（☞ 181 ページ）にご相談ください。
蓄電池システムを転居などにより別の場所に移されるときや、取りはずされるとき、リサイクルされるときは、有資格者による電気工事が必要になります。また、電力会社との協議が必要になりますので、必ずお買い上げの販売店、またはお客様相談センター（☞ 181 ページ）にご相談ください。

エコキュート、浴室リモコン、増設リモコン（別売部品）

故障、修理については・・・

お買い上げの販売店にご連絡ください。
当社または当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷は、保証期間内でも有料修理となります。

●工事説明書及び工事説明書別紙に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され、事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。

保証について

保証書は、貯湯ユニットに添付されています。「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げいただいた日から 1 年間です。
ただし、冷媒回路（圧縮機、熱交換器およびユニット内配管）は 3 年間、缶体は 5 年間です。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切り後 10 年です。

次のような原因による故障および、事故につきましては、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳しくは保証書をお読みください。）

●誤った使用方法による故障や事故。

●一般家庭用以外（たとえば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。

●水道水以外をご使用になったことに起因する不具合。（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。

●凍結による故障・破損。

●当製品の工事説明書に基づかない施工や、専門業者以外による移動・分解等に起因する故障や不具合。

修理を依頼されるとき

本書の「故障かなと思ったら」（☞ 172 ～ 177 ページ）にしたがって調べてもよくならないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。
保証期間中であれば、保証書の規定に従って無料修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは・・・

お買い上げの販売店にご相談ください。

●修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有償にて修理させていただきます。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。 発信者番号を非通知にされている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

http://www.sharp.co.jp/support/ ■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。

使用方法のご相談など【お客様相談センター】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 （年末年始を除く） ●月曜～土曜：**9:00～18:00** ●日曜・祝日：**9:00～17:00**

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 48 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 190

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
06 - 6792 - 5982	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

修理のご相談など【修理相談センター】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

受付時間 （年末年始を除く） ●月曜～土曜：**9:00～20:00** ●日曜・祝日：**9:00～17:00**

固定電話・携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

0120 - 525 - 365

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

	電 話	FAX
東日本地区	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221

太陽光発電システムについては、上記受付時間内での対応となります。
エコキュートは、上記フリーダイヤルで24時間365日対応しています。

部品購入のご相談は、下記地区別窓口でも承っております。

地区別窓口

サービスセンター/テクニカルセンターなど

■受付時間 月曜～土曜：**9:00～17:40**（祝日など弊社休日を除く）
ただし、沖縄地区は月曜～金曜：**9:00～17:40**（祝日など弊社休日を除く）

地区	窓口	地区	窓口	地区	窓口
北海道	●札 幌 **011-641-4685** 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17	中部	●静 岡 **054-344-5781** 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1	近畿	●大 阪 **06-6794-5611** 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
東北	●仙 台 **022-288-9142** 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27		●名古屋 **052-332-2623** 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5	中国	●広 島 **082-874-8149** 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
関東	●宇都宮 **028-637-1179** 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41		●金 沢 **076-249-2434** 〒921-8801 野々市市御経塚4-103	四国	●高 松 **087-823-4901** 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8
	●東東京 **03-5855-0432** 〒114-0012 東京都北区田端新町2-2-12	近畿	●京 都 **075-672-2378** 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48	九州	●福 岡 **092-572-4652** 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1
	●横 浜 **045-753-4647** 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23		●神 戸 **078-452-7009** 〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町4-12-6	沖縄	●那 覇 **098-861-0866** 〒900-0002 那覇市曙2-10-1

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2013.11）

索引

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

製品登録のお願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉で
ご愛用製品の登録をお願いいたします。（登録無料）

http://iclub.sharp.co.jp/m/

スマートフォンや
携帯電話はこちらから

お問い合わせ先

お問合わせの前にもう一度
「故障かな?と思ったら」（143、172ページ）をご確認ください。

メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ　お問い合わせ　

http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法のご相談など
【お客様相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
0120-48-4649

携帯電話からは、ナビダイヤル
修理のご相談など
【修理相談センター】

0120-525-365

左記フリーダイヤルは、
固定電話・携帯電話・PHSからも
ご利用いただけます。

※非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。詳しくは、取扱説明書181ページをご覧ください。

シャープ株式会社

本　　　　　　　　　社　〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
ソーラーシステム事業本部　〒639-2198 奈良県葛城市薑(ハジカミ)282番1

この取扱説明書は責任ある木質資源を使用した紙を使用しています。
この取扱説明書は植物性大豆油インクを使用しています。

TiNSJ1041SNZZ
13L01.0-K